

禁電子式複写

產業組合關係法規

產業組合中央會

福島支會

265

133

Cz

14

24



# 産業組合關係法規

## 目次

### 一、産業組合關係法規

- 産業組合法
- 産業組合法施行期日ノ件
- 登録稅法ニ關スル件
- 産業組合中央會ニ關スル件
- 産業組合施行規則
- 北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件
- 北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル勅令施行期日ノ件
- 北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル施行規程
- 農工銀行法抄
- 産業組合登記ヲ取扱フ登記所ノ件
- 産業組合登記取扱手續
- 産業組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手数料ノ件
- 一、産業組合模範定款
  - 無限責任何々信用組合定款
  - 有限責任何々購買組合定款
  - 有限責任何々販賣組合定款

明治  
43. 6. 8  
丙寅

一 三三三 二四 二七 二九 二九 三三 三三 三三 三五 五四 六一 六六



特 6  
913  
142

- 無限責任何々生産組合定款
- 有限責任何々販賣組合定款(總代會子股)
- 有限責任何々購買生産販賣組合定款(スルモ)
- 有限責任何々生絲販賣組合定款(スルモ)
- 有限責任何々生絲販賣組合定款(總代會子股)
- 有限責任何々家禽購買販賣組合

三、産業組合聯合會模範定款

- 有限責任何々信用組合聯合會定款
- 保證責任何々販賣組合聯合會定款
- 有限責任何々購買組合聯合會定款
- 保證責任何々生産組合聯合會定款

四、訓令及通牒

- 訓令及通牒
- 産業組合ノ設立及變更申請書式

五、産業組合ノ登記申請書式

- 産業組合登記申請書式

目二

- 七二
- 七七
- 八三
- 九一
- 九八
- 一〇七
- 一一四
- 一二〇
- 一二八
- 一三四
- 一四一
- 一八二
- 一八七

●産業組合法

明治三十三年三月六日  
法律第三十四號

三十九年(四月)法律第四十五號改正  
四十二年(四月)法律第二十七號

第一章 總則

第一條 本法ニ於テ産業組合トハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ノ目的ヲ以テ設立スル社團法人ヲ謂フ

一 組合員ノ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト(信用組合)

二 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ賣却スルコト(販賣組合)

三 産業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ組合員ニ賣却スルコト(購買組合)

四 組合員ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ組合員ヲシテ産業ニ必要ナルモノヲ使用セシムルコト(生産組合)

信用組合ハ組合員外ノモノニシテ組合加入ノ豫約ヲナシタルモノハ出資一口ニ達スルマテノ貯金ヲ取扱フコトヲ得

第二條 産業組合ノ組織ハ無限責任、有限責任及保證責任ノ三種トス

無限責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ連帶無限ノ責任ヲ負擔シ、有限責任組合ニ在リテハ組合員ノ全員カ其ノ出資額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔シ、保證責任組合ニ在リテハ組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員ノ全員カ其ノ出資額ノ外一定ノ金額ヲ限度トシテ責任ヲ負擔ス

第三條 産業組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 産業組合ノ名稱中ニハ其ノ組織及目的ヲ示スヘキ文字ヲ用フヘシ  
産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ス

一



第五條 産業組合ニハ本法ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 産業組合ニハ所得稅及營業稅ヲ課セス

登錄稅法第六條(第一、二項略ス)(明治四十二年四月法律第三十一號改正)

財團法人又ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 法人ノ設立、法人設立後ノ事務所設立、事務所ノ移轉、(民法施行法ニ依リ法人ト認メラレタルモノ、新ニ受クル登記トモ) 毎一件金壹圓

二 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止、登記ノ更正又ハ抹消、解散、清算人ノ選任、解任又ハ變更、清算ノ結了、毎一件金五拾圓

産業組合産業聯合會産業組合中央會ニシテ登記ヲ受クル場合ニハ前二項ノ規定ニ依ル但組合原簿ノ記載ニ付テハ登錄稅ヲ課セス

備考 非常特別稅法ニ依ル登錄稅法ハ稅額金五拾圓ナルトキ金貳拾圓ナルカ故ニ毎一件五拾圓ノモノハ金七拾圓トナリ稅額壹圓ノモノハ五拾圓ナルカ故ニ毎一件壹圓ノモノハ一圓五拾圓トナル(非常特別稅法第二條第七號參照)

### 第二章 設 立

第七條 産業組合ハ七八以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第八條 組合ノ設立者ハ定款ヲ作り之ヲ主タル事務所々在地ノ地方長官ニ差出シ設立ノ許可ヲ請フヘシ

第九條 定款ニハ本法ニ規定アルモノヲ除ク外左ノ事項ヲ記載設立者之ニ署名捺印スヘシ

- 一 目的
- 二 名 稱
- 三 組 織
- 四 事務所
- 五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 六 第一回拂込ノ金額
- 七 剩餘金處分及損失分擔ニ關スル規定

八 準備金ノ額及其積立ノ方法

九 組合員タル資格ニ關スル規定

十 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定

十一 組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定

十二 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

信用組合ノ區域ハ市町村ノ區域以内ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第十條 産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス

第十一條 出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ

第十二條 組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受タタルトキハ遲滯ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第十三條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第十四條 登記スヘキ事項左ノ如シ

一 第九條第一號乃至第五號及第十二號ニ掲ケタル事項

二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其變更

ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 産業組合ハ其ノ設立ノ登記ノ申請ト共ニ左ノ事項ヲ記載シタル組合原簿ヲ其主タル事務所々

在地ノ裁判所ニ差出スヘシ



一 出資ノ總口數

二 拂込ミタル出資ノ總額

三 保証責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名住所、及保証金額

四 無限責任組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名住所

前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ差出シタル帳簿ニ之ヲ準用ス但シ前項第二號ノ事項ニ付テハ定款ヲ以テ一事業年度内一回又ハ數回ニ期日ヲ定メテ其ノ期日後二週間ニ記載ヲ爲スコトヲ得

裁判所ニ差出シタル組合原簿ハ之ヲ登記簿ノ一部ト看做シ其ノ記載ハ之ヲ登記ト看做ス

第十五條ノ二 行政區劃又ハ其名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿又ハ組合原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿又ハ組合原簿ノ記載ヲ變更スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿又ハ組合原簿ノ記載ヲ變更スヘシ

第一項ノ規定ハ事務所々所在地ニ關スル定款ノ規定ニ之ヲ準用ス

第十六條 民法第四十五條第二項、第三項、第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ

同規定中一週間トアルヲ二週間トス

民法第四十五條(第一項略ス)

法人ノ設立ハ其主たる事務所所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

法人設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ二週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

同第四十七條 第四十五條第一項及ヒ前條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其許可書ヲ到達シタル時ヨリ

登記ノ期間ヲ起算ス

同第四十八條 法人ガ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四

十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

(民法第四十六條第一項ニハ設立ノ時登記ヲ爲スヘキ事項アリ)

第三章 組合員ノ權利義務

第十七條 組合員ハ出資一口以上ヲ有スベシ

組合員ノ有スヘキ出資口數ハ十口ヲ超ユルコトヲ得ス

第十八條 組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其持分ヲ讓渡スコトヲ得ス

組合員ニ非サルモノニシテ持分ヲ讓受ケムトスルトキハ加入ノ例ニ依ルヘシ

第二十條 組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス

第二十一條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十二條 新ニ組合ニ加入シタル組合員ハ其ノ加入前ニ生シタル組合ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負擔ス

第二十三條 組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得總會ノ目的及其招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ

提出シテ總會ノ招集ヲ理事ニ請求スルコトヲ得

第二十四條 組合員ニシテ總會ノ招集手續又ハ其決議ノ方法カ法令又ハ定款ニ違背スト認ムルトキハ決

議ノ日ヨリ一箇月内ニ其ノ決議ヲ取消ラ地方長官ニ請求スルコトヲ得

第四章 管理

第二十五條 産業組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定

ムルコトヲ得

第二十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限リ

ニ在ラス



第二十七條 理事又ハ監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十八條 理事及監事ノ選任及解任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第二十九條 理事ハ定款及總會ノ決議錄ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得  
第二十九條ノ二 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、各組合員ノ氏名住所

二、組合員ノ出資口數

三、各組合員ノ拂込ミタル金額及其拂込ノ年月日

四、出資各口ノ取得ノ年月日

五、保証責任組合ニアリテハ各組合員ノ保証金額

第三十條 理事ハ通常 總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且ツ之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第三十一條 理事ハ前條第一項ニ掲ケタル書類及ビ監事ノ意見書ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十二條 民法第四十四條第一項、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ノ理事ニ之ヲ準用ス

民法第四十四條第一項 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責任ス

同 第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ密附行爲ニ別段ノ定メナキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

同 第五十三條 理事ハ總テ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但シ定款ノ規定又ハ密附行爲ノ趣旨ニ違反スルコトヲ得ズ又社団法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

同 第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

同 第五十五條 理事ハ定款、密附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限り特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

同 第六十條 社団法人ノ理事ハ少クとも毎年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

同 第六十一條第一項 社団法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ召集スルコトヲ得

第三十三條 監事ハ理事其ノ他組合ノ事務員ト相兼スルコトヲ得ス

第三十四條 民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

民法 第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ  
一 法人ノ財産ノ狀況ヲ監査スルコト

二 理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト

三 財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不正ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト

四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ召集スルコト

第三十五條 組合カ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト理事トノ間ノ訴訟ニ就テモ亦同シ

第三十六條 總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十七條 組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス但シ組合員ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ



第三十八條ノ一 民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ二 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定款ヲ以テ總會ニ代ルヘキ總會ヲ設クルコトヲ得總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但總會ニ於テハ解散及合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

民法 第六十二條 總會ノ招集ハ少クとも五日前に其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

同 第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ決議ヲナスコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

同 第六十五條第一項 各社員ノ表決權ハ平等ナルモノトス

同 第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲナス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第三十九條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其効力ヲ生セス

第四十條 組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

第四十一條 債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス

第四十二條 前二條ノ規定ハ保證責任組合カ組合員ノ保證金額ヲ減少スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 組合員カ其ノ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ

第四十四條 組合ハ損失ヲ填補シタル後ニ非サレハ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

剩餘金配當ニ關スル制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 組合ハ第五十三條ノ場合ヲ除クノ外持分ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

第四十六條 組合ハ定款ヲ以テ定メタル準備金ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第四十七條 組合ノ事業年度ハ一個年トス

第四十八條 組合ハ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ルコトヲ得ス

第五章 加入及脱退

第四十九條 無限責任組合ニ加入セントスル者ハ總會ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第五十條 定款ヲ以テ組合ノ存立時期ヲ定メタルト否トヲ問ハス組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ六箇月前ニ其豫告ヲ爲スヘシ

前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脱退ス

- 一 組合員タル資格ノ喪失
- 二 死 亡
- 三 破 産
- 四 禁 治 産
- 五 除 名



第五十二條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

除名ハ總會ノ決議ニ依ル但シ除名シタル組合員ニ其旨ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ其組合員ニ對抗スルコトヲ得ス

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 脱退シタル組合員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 退脱シタル組合員ノ持分ハ退脱シタル事業年度ノ終ニ於ケル組合財産ニ依リテ之ヲ定ム但シ定款ノ定ムル所ニ依リ退脱當時ノ財産ニヨリテ之ヲ定ムルコト得

第五十五條 持分ノ拂戻ハ事業年度ノ終ヨリ三個月内ニ之ヲ爲スヘシ但前條但書ノ場合ニ於テハ退脱ノ時ヨリ三ヶ月内ニ之ヲ爲スヘシ

持分拂戻ノ請求權ハ前項ノ期間經過ノ後二個年間にテ行ハサルニ因リテ消滅ス

第五十六條 持分ノ計算ヲ爲スニ當リ組合財産ヲ以テ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ脱退シタル組合員ハ其ノ負擔ニ歸スヘキ損失ヲ拂込ムヘシ

第五十七條 脱退シタル組合員カ組合ニ對スル債務ヲ完済スル迄ハ組合ハ其持分ノ拂戻ヲ停止スルコトヲ得

第五十八條 無限責任組合及保證責任組合ニ在リテハ脱退シタル組合員ハ脱退前ノ組合債權者ニ對シ其ノ脱退ヲ組合原簿ニ記載シタル後二個年間に責任ヲ負擔ス

前項ノ規定ハ特別ノ契約ヲ以テ其期間ヲ延長スルコトヲ妨ケス

前二項ノ規定ハ持分ヲ讓渡シタル組合員ニ之ヲ準用ス

第六章 監督

第五十九條 産業組合ハ主務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十條 監督官廳ハ何時ニテモ理事ヲシテ組合ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ組合ノ事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ及處分ヲ行フ

第六十一條 組合ノ事業又ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲カ定款若ハ法令ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ主務大臣又ハ地方長官ハ總會ノ決議ヲ取消シ理事監督者ハ請算人ノ改選ヲ命シ組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ヲ解散スルコトヲ得

第七章 解散

第六十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル事由ノ發生
  - 二 總會ノ決議
  - 三 組合ノ合併
  - 四 組合員カ七人未満ニ減シタルトキ
  - 五 組合ノ破産
- 第二十八條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス但シ無限責任組合ノ合併ニ付テハ總會ノ同意アルコトヲ要ス

第六十三條 組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外二週間に各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十四條 第四十條及第四十一條ノ規定ハ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條 合併ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其効力ヲ生セズ

第六十六條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間に各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シ



タル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

第六十七條 合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第六十八條 組合ハ總組合員ノ同意ヲ以テ組織ヲ變更スルコトヲ得

組合カ組織變更ニ因リ組合員ノ責任ヲ減少スルトキハ第四十條及ビ第四十一條ニ定メタル手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 民法第七十條ノ規定ハ産業組合ノ解散ニ之ヲ準用ス

民法 第七十條 法人カ其債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ理事者シクハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ理事者ハ直ニ破産ノ宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第八章 清算

第七十條 清算人ハ其職務ノ範圍内ニ於テ理事者ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遅滞ナク財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供托スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遅滞ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムヘシ

第七十四條 清算人ノ解任アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第七十五條 民法第七十三條乃至第八十三條ノ規定ハ産業組合ノ清算ニ之ヲ準用ス但シ同規定中一週

間トアルヲ一週間トス

民法 第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ終了ニ至ルマテ尙ホ存続スルモノト看做ス

同 第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事者其清算人トナル但シ定款若クハ寄附行為ニ別段ノ定メアルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

同 第七十五條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲メ損害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

同 第七十六條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢察官ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

同 第七十七條 清算人ハ破産ノ場合ヲ除ク外解散後一週間内ニ其氏名、住所及解散ノ原因、年月日ノ登記ヲナシ又何レノ場合ニ於テモ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

清算中ニ就職シタル清算人ハ就職後一週間内ニ其氏名住所ノ登記ヲ爲シ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

同 第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ終了
- 二 債權ノ取立及ビ債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行為ヲ爲スコトヲ得

同 第七十九條 清算人ハ其就職ノ日ヨリ二ヶ月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出テ爲サザルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラレルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但シ清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ス清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

同 第八十條 前條ノ期間後ニ申出テタル債權者ハ法人ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡サ、ル財産ニ對シテノミ請求ヲナスコトヲ得

同 第八十一條 清算中ニ法人ノ財産カ其債務ヲ完済スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ清算人ハ直チニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其旨ヲ公告スルコトヲ要ス

清算人ハ破産管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又歸屬權利者ニ引渡シタルモノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

同 第八十二條 法人ノ解散及ビ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス



裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲナスコトヲ得  
同 第八十三條 清算カ終了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

### 第九章 産業組合聯合會及産業組合中央會

第七十六條 産業組合ハ左ノ目的ヲ以テ産業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

- 一 所屬組合ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト  
(信用組合聯合會)
- 二 所屬組合ノ賣却スル物ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ賣却スルコト  
(販賣組合聯合會)
- 三 所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ニ加工シ又ハ加工セシテ所屬組合ニ賣却スルコト  
(購買組合聯合會)
- 四 所屬組合カ其組合員ニ使用セシムル物ヲ所屬組合ニ貸付スルコト  
(生産組合聯合會)

前項第一號ノ聯合會ニ在リテハ信用組合外ノ組合又ハ第二號乃至第四號ノ産業組合聯合會ヲ加入セシムルコトヲ得

第七十七條 産業組合聯合會ハ社團法人トス

産業組合聯合會ノ組織ハ有限责任及保証責任ノ二種トス

保証責任産業組合聯合會ノ所屬組合聯合會ノ保証責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ  
第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第七十九條 産業組合聯合會ノ區域ハ道府縣以内ノ範圍ニ於テ之ヲ定メ定款中ニ記載スヘシ但シ特別ノ事由アルトキハ主ナル事務所所在地ノ地方長官ノ認可ヲ得テ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

主ナル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ異ニスルニケ以上ノ産業組合聯合會カ合併セムトスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第一項但書又ハ前項ノ規定ニ依リ設立シタル産業組合聯合會ノ監督其ノ他ノ職務ハ其主ナル事務所所在地ヲ管轄スル地方長官之ヲ行フ

第八十條 産業組合聯合會ノ理事及監事ハ總會ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ理事及監事ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アルトキハ理事又ハ監事ニ非サル者ヨリ選任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ選任ニ付地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

産業組合聯合會設立當時ノ理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第八十一條 産業組合聯合會ニハ本法ニ規定アルモノヲ除ク外産業組合ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十二條 産業組合中央會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及發達及聯絡ヲ圖ル目的ヲ以テ設立スルコトヲ得

産業組合中央會ハ社團法人トス

産業組合中央會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ事業ノ一部ヲ行フコトヲ得

第八十三條 産業組合中央會ノ名稱中ニハ産業組合中央會ナル文字ヲ用ウヘシ

産業組合中央會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合中央會タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第八十四條 産業組合中央會ハ全國ヲ通シテ一ヶトシ其ノ設立ハ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

産業組合中央會ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 産業組合及産業組合聯合會ハ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

前項以外ノ者ト雖モ定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合中央會ノ會員ト爲ルコトヲ得

第八十六條 産業組合中央會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ



- 一名 稱
  - 二 事務所
  - 三 會員ノ加入及脱退ニ關スル規定
  - 四 會員ノ權利義務ニ關スル規定
  - 五 資産ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 事業ノ執行ニ關スル規定
  - 九 定款變更ニ關スル規定
  - 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其効力ヲ生セス
- 第八十七條 産業組合中央會設立ノ許可アリタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スヘシ
- 登記スヘキ事項左ノ如シ
- 一 目的及第八十二條第三項ノ規定ニ依ル事業ノ種類
  - 二 第八十六條第一項第一號第二號及第十號ニ掲ケタル事項
  - 三 資産ノ總額
  - 四 設立許可ノ年月日
  - 五 理事及監事ノ氏名住所
- 第十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
- 第八十八條 産業組合中央會ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

第八十九條 産業組合中央會ノ理事及監事ハ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ノ理事監事及第八十五條第二項ノ會員ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

第九十條 産業組合中央會ノ總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ會員ノ中ヨリ選出シタル代表者ヲ以テ組織ス但シ第九十二條ニ於テ準用シタル第六十二條第一項第二號ノ總會ハ會員ヲ以テ組織ス

第九十一條 産業組合中央會ハ主務大臣之ヲ監督ス

第九十二條 第三條、第五條、第六條、第七條、第十條、第十五條ノ二、第十六條、第二十六條、第二十七條、第二十九條、第三十條乃至第三十五條、第三十九條、第四十一條、第四十七條、第六十條、第六十一條、第六十二條第一項、第一號、第二號、第四號、第五號、第六十三條、第六十九條乃至第七十五條、第八十條第一項、第九十三條、第九十四條、第九十八條、第九十九條、第一百一條、第一百二條第二項、第一百三條乃至及民法第六十二條、第六十四條ノ規定ハ産業組合中央會ニ之ヲ準用ス

第十章 罰 則

第九十三條 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上參百圓以下ノ過料ニ處セラル

- 一 本法ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
- 二 官廳又ハ總會ニ對シテ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 三 第二十九條第一項及第三十條第一項ノ規定ニ背違シ又ハ第二十九條第一項及第三十條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ若クハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ
- 四 第四十條第四十一條第四十三條乃至第四十六條第四十八條又ハ第七十二條ノ規定ニ違背シタルトキ
- 五 第六十條ノ報告ヲ爲サヌ又ハ檢査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ
- 六 民法第七十九條ノ期間内ニ債權者ニ辨償ヲ爲シタルトキ



七 民法第七十九條又ハ第八十一條ニ定メタル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ  
八 民法第七十條又ハ第八十一條ノ規定ニ違背シタルトキ  
九 組合ノ目的タル事業ニアラサル營利事業ヲ營ミタルトキ  
(民法 第七十條ハ第六十九條、民法第七十九條及第八十一條ハ第七十五條ノ參照ニ出ツ)

第九十四條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

(非訟事件手續法 第二百六條、民法第八十四條、第一千零七條及民法施行法第二十二條及民法第十八條第二項、第二百六十一條、第二百六十二條、第五百三十三條及民法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條第二項、第七十五條第三項、第八十七條及第九十五條第三項ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキモノノ住所地ノ地方裁判所ノ管轄トス)

(本條ニ規定シタル各條ハ民法ニ依ル法人又ハ會社ニ關スル附則ヲ規定シタルモノナリ)  
(同 第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ付シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ)

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ捨事ノ意見ヲ求ムヘシ  
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス  
手續ノ費用ヲ過料ニ處スル旨渡アリタル場合ニ於テハ其旨渡ヲ受ケタルモノ、負擔トシ其他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス抗告費  
判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

同 第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力ヲ有ス  
過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法ノ第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス)

附 則

第九十五條 本法執行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九十六條 産業組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ産業組合聯合會及産業組合中央會ノ登記ニ付テハ其事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

第九十七條 各登記所ニ産業組合登記簿産業組合聯合會登記簿及産業組合中央會登記簿ヲ備フ

第九十八條 組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 定 款

二 地方長官ノ許可書又ハ其認証アル謄本

三 保証責任組合ニアリテハ各組合員ノ保證金額ヲ証スル書面

四 無限責任組合ニアリテハ各組合員ノ加入ヲ証スル書面

第九十九條 事務所ノ新設移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ証スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ許可書

又ハ其ノ認証アル謄本ヲ添附スヘシ

前二項ノ規定ハ組合原簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス

第一百條 出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少ノ登記ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 地方長官ノ認可書又ハ其ノ認証アル謄本

二 第四十條第二項ニ依ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ証スル書面

第一百一條 組合ノ解散ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議ニ因リテ解散シタル

トキハ總會ノ決議録ヲ添附スヘシ

第一百二條 合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第百條ニ掲ケタル書面ヲ添附スヘシ

組合カ命令ニ因リテ解散シタルトキハ登記所ハ監督官職ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第一百三條 第九十八條第一項ノ規定ハ出資一口ノ金額又ハ組合員ノ責任ノ減少組合ノ解散及組合ノ合併



ニ因ル變更、設立又ハ解散ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス  
第百四條 本法ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スヘシ但組合原簿ニ記載シタル  
事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百五條 訴訟事件手續法第百三十六條乃至第百三十八條、第百四十一條乃至第百五十一條、第百五十  
四條乃至第百五十八條、第百六十三條乃至第百六十五條及第百七十五條乃至第百七十七條ノ規定ハ産  
業組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

(非訟事件手續法第百三十六條、清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス)

(同 第百三十七條清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス)

(同 第百三十八條 左ニ掲ケタルモノハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス)

- 一 未成年者
- 二 禁治産者及準禁治産者
- 三 剽奪公權者及停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

(同 第百四十一條 各登記所ニ各商業登記簿見出帳ヲ備フ)

(同 第百四十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閲覧ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之ニ其原本若クハ抄本ヲ交付スヘシ  
登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限リ登記簿ノ附屬書類ノ閲覧ヲ許スヘシ  
郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ原本又ハ抄本ヲ附フトキハ之ヲ送付スヘシ)

(同 第百四十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ爲スヘシ)

(同 第百四十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及ヒ新聞紙上ニ少クモ壹回之ヲ爲スコトヲ要ス  
公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及ヒ新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス)

(同 第百四十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ撰定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告  
スヘシ)

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ハ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ撰定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

(同 第百四十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及  
ヒ其管轄内ノ市町村役場ノ掲示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得)

(同 第百四十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ケ外當事者ノ申請アルニ非サレ  
ズ)

ハ之ヲ爲スコトヲ得ス)

(同 第百四十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコ  
トヲ得)

(同 第百四十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス  
申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名捺印スヘシ

- 一 申請人ノ氏名、住所、會社方申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支店
- 二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所
- 三 登記ノ目的及ヒ事由

四年 月 日

五 登記所ノ表示)

(同 第百五十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其  
他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲ爲スコト能ハサル事由ハ之ヲ証明スルコトヲ要ス)

(同 第百五十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ  
對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス)

(同 第百五十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部ヲ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處  
分ヲ命スルコトヲ得)

(同 第百五十五條 司法大臣ハ敬個ノ登記所ノ管轄ニ關スヘキ商業登記ノ事務ヲ其ノ登記所ニ委任スルコトヲ得)

(同 第百五十六條 登記簿ノ複製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム)

(同 第百五十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條及第廿四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス  
不動産登記法第十條、登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ期間ヲ定メテ其停止ヲ命ス  
ルコトヲ得)

同 第十三條 登記官吏カ其職務ノ執行ニ付申請人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其損害カ登記官吏ノ故意又ハ重大ナル過失



ニ因リテ生シタル場合ニ限リ之ヲ賠償スル責ニ任ス

同 第十八條 登記簿ニハ地方裁判所長其枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ認シ職印ヲ押捺シ且毎葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲スコトヲ要ス

同 第二十條 登記見出帳、共同人名簿及ヒ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スルコトヲ要ス

申請書其他ノ附屬書類ハ申請書受附ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス

同 第二十二條 登記簿及ヒ其附屬書類ハ事務變遷シテ避ケル爲メニスル場合ヲ除ク外登記所外ニ持出スコトヲ得ス但第二十二條第二項ニ掲ケタル書類ニ付テハ裁判所又ハ豫審判事ノ命令又ハ囑託アリタルトキハ此限ニ在ラス

同 第二十四條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ司法大臣ハ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

同 第五十八條 商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

同 第六十三條 商法第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ商號登記ノ抹消ヲ申請スル者ハ其登記上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ証明スルコトヲ要ス

商法第二十四條第一項 商號ノ登記ヲ爲シタルモノカ其商號ヲ廢止シ又ハ之ヲ變更シタル場合ニ於テ其廢止又ハ變更ノ登記ヲ爲サレトキハ利害關係人ハ其登記ノ抹消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

同 第六十四條 前條ノ申請アリタルトキハ登記所ハ登記ヲ爲シタル者ニ對シ其旨ヲ告知シ且一箇月ヨリ長カラサル期間ヲ定メ異議アラハ其期間内ニ之ヲ申立ツヘキ旨ヲ催告スヘシ

前項ノ規定ニ依リ告知及ヒ催告ヲ受クヘキ者又ハ其居所カ知レサルトキハ告知及ヒ催告ハ登記ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル他ノ新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

同 第六十五條 前條ノ規定ニ從ヒテ異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

同 第六十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

同 第六十六條 清算人ノ選任ノ登記ハ申請書ニハ其選任ヲ證明スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

同 第六十七條 清算人ノ解任又ハ變更ノ登記ハ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ清算人ノ解任又ハ變更ノ證明書面ヲ添附スルコトヲ要ス

同 第六十七條 本法ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事、北海道ニ於テハ支廳長、沖繩縣ノ區ニ於テハ區長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

同 第六十七條 北海道ニ於ケル産業組合ニ付テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附 則  
本法施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前産業組合カ裁判所ニ差出シタル組合員名簿ハ組合原簿ト看做ス

産業組合法ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年法律第二十七號ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

登記税法ニ關スル件

明治四十二年八月二十日 勅令第二百十二號

明治四十二年八月二十日 勅令第二百十三號

産業組合中央會ニ關スル件

第一條 産業組合中央會ヲ設立セムトスルモノハ申請書ニ定款ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ發起ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ期限ヲ定メテ會員ヲ募集シ農商務大臣ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ召集シ定款ヲ議定スヘシ

前項ノ定款議定ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ決ス

第三條 創立總會ノ議決權ハ書面又ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

同 第四十二條 法律第三十一號中登録税法第三條ノ二、第六條及第十六條ノ改正ニ關スル規定ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ施行ス



前項ノ規定ニ依リ議決權ヲ行フ者ハ之ヲ出席者ト見做ス  
 第四條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ申請書ニ定款及創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ之ヲ農商務大臣ニ差出シ設立ノ許可ヲ受クヘシ  
 第五條 設立ノ許可アリタルトキハ發起人ハ其ノ事務ヲ理事ニ引繼クヘシ  
 第六條 産業組合中央會ハ産業組合法第八十二條第三項ニ依リ其ノ會員タル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ對シ同法第一條第一項第三號及第四號ノ事業ヲ行フコトヲ得但シ加工ニ關スル事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

◎産業組合法施行規則

明治四十二年(八月二十二日)農商務省令第三十五號改正

第一條 信用組合ノ區域内ニ住居スル者ニ非サレハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス  
 前項ノ豫約者ニ對スル貯金ノ拂戻ハ豫約ノ消滅シタルトキニ限り之ヲ爲スコトヲ得  
 豫約者ハ其ノ貯金カ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ト同額ニ達シタル後ニ非サレハ組合ニ加入スルコトヲ得ス  
 豫約者カ豫約後三箇年ヲ經過シ尙ホ組合員ト爲ルニ至ラザルトキハ組合ハ豫約ノ解除ヲ爲スヘシ  
 第二條 出資一口ノ金額ハ組合ニ在リテハ五拾圓、聯合會ニアリテハ五百圓ヲ超ユルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス  
 第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス  
 第四條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 組合若ハ聯合會カ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徵收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スルモノヨリ増口金ヲ徵收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入ルヘシ脱退シタル組合員又ハ組合若ハ聯合會ニ對シ其ノ持分ノ一部ヲ拂戻スヘキコトヲ定メタルトキハ其ノ殘額ニ付亦同シ  
 第六條 總代會ハ組合ニアリテハ千人以上ノ組合員聯合會ニアリテハ百人以上ノ所屬組合及所屬聯合會ヲ有スルニ非サレハ之ヲ設クルコトヲ得ス  
 總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款ニ總代ノ員數任期及選舉ニ關スル規定ヲ設クヘシ  
 第七條 産業組合法第九十條ノ代表者ハ道府縣毎ニ會員之ヲ選舉スヘシ  
 前條第二項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ之ヲ準用ス  
 第八條 理事及監事ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依ルニ非サレハ給料、報酬又ハ賞與ヲ受クルコトヲ得ス  
 第九條 組合、聯合會及中央會ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス  
 第十條 理事ハ總會又ハ總代會ノ承認ヲ經タル後遲滞ナク産業組合法第三十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ中央會ニ在リテハ農商務大臣ニ差出スヘシ  
 第十一條 組合又ハ聯合會ノ事業報告書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
 一、組合ニ在リテハ組合員ノ職業別並出資口數ノ異動、聯合會ニ在リテハ所屬組合及所屬聯合會ノ種類別ノ數並出資口數ノ異動  
 二、出資拂込ノ總額及剩餘金ヲ以テ出資ノ拂込ニ充テタルトキハ其ノ總額  
 三、損益ノ計算並借入金及其ノ償還  
 四、總會又ハ總代會ノ決議  
 五、事業ノ狀況



六、信用組合又ハ信用組合聯合會ニ在リテハ貸付シ又ハ償還ヲ受ケタル金額及件數受入又ハ拂戻シタル貯金額及貯金ヲ爲シタル組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ數並貯金及貸付金ノ利率、産業組合法第一條第二項ノ豫約ヲ爲シタル信用組合ニ在リテハ豫約者ノ數及其ノ貯金額、販賣組合又ハ販賣組合聯合會ニアリテハ受入又ハ販賣シタル物ノ種目別ノ數量及價額、購買組合又ハ購買組合聯合會ニアリテハ購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額、生産組合ニアリテハ生産シタル物ノ種目別ノ數量又ハ加工若ハ使用ノ功程ヲ表示スヘキ事項、生産組合聯合會ニアリテハ使用ノ功程ヲ表示スヘキ事項

七、處務ノ要件

前項ノ規定ハ中央會ノ事業報告書ニ之ヲ準用ス

第十二條 組合、聯合會又ハ中央會カ借入金ヲ爲サントスルトキハ毎年總會又ハ總代會ニ於テ一事業年度ニ於ケル借入額ノ最高限度ヲ議決スヘシ

前項ノ規定ハ信用組合又ハ信用組合聯合會カ事業年度ニ於ケル一組合員又ハ一所屬組合若ハ一所屬聯合會ニ對シテ爲ス貸付額ノ最高限度ニ付之ヲ準用ス

理事ハ前二項ノ規定ニ依リ議決シタル事項ヲ組合又ハ聯合會ニ在リテハ地方長官ニ中央會ニアリテハ農商務大臣ニ遲滞ナク報告スヘシ

第十三條 出資一口ノ金額又ハ保證金額ノ減少ノ認可申請書ニハ理由書、總會又ハ總代會ノ決議録、財産目録及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第十四條 剩餘金ノ配當ハ持分ノ全部若ハ一部又ハ取扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ス

持分ノ全部若ハ一部ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六歩ヲ超ユルコトヲ得ス

第十五條 合併ノ認可申請書ニハ第十三條ニ掲ケタル書類ノ外合併契約書及合併後存續スル組合若ハ聯合會又ハ合併ニ因リテ設立スル組合若ハ聯合會ノ定款ヲ添附スヘシ

第十六條 組織變更ノ認可申請書ニハ組合ニ在リテハ總組合員、聯合會ニ在リテハ總所屬組合及總所屬聯合會ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附シ組合員又ハ所屬組合及所屬聯合會ノ責任ヲ減少スルトキハ尙ホ第十三條ニ掲ケタル書類ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會カ中央會ニ加入シ又ハ脱退シタルトキハ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第十八條 郡長又ハ郡長ノ職務ヲ行フヘキ者カ産業組合法第六十條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ハムトスルトキハ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 地方長官カ産業組合法第六十條又ハ第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

附 則

第二十一條 本則ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十二條 本則ハ明治三十三年勅令第二百五十五號ニ依リ設立スル産業組合ニハ之ヲ適用セス

●北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件 明治三十三年六月一日勅令第二百五十五號

第一條 本令ハ北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ之ヲ適用ス

第二條 組合ノ組織ハ無限責任トス但シ設立後十年ヲ經タルモノハ北海道廳長官ノ許可ヲ得テ有限責任又ハ保證責任ト爲スコトヲ得



第三條 産業組合ハ二十人以上ニ非サレハ之ヲ設立スルコトヲ得ス

第四條 主務大臣ハ必要ト認ムルトキハ三箇年以内ノ期限ヲ以テ組合創業費ノ一部又ハ全部ヲ其組合ニ貸與スルコトヲ得

第五條 出資ハ勞務ヲ以テ其目的ト爲スコトヲ得

第六條 組合員ノ出資口數ハ一口トス但シ北海道廳長官ノ許可ヲ得タル場合ハ十口以下ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

第七條 組合ノ理事ハ三名以上監事ハ二名以上トス但シ北海道廳長官ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 理事ハ總組合員ノ承諾アルニ非サルハ組合ト同一ノ事業ヲ目的トスル他ノ組合ノ理事ト爲ルコトヲ得ス

第九條 組合ハ毎年事業年度ノ終リ迄ニ總會ノ決議ヲ經テ左ノ事項ヲ北海道廳支廳長ニ報告スヘシ

一 次年度ニ於ケル業務施行ノ方針

二 次年度ニ於ケル負債額ノ最高限度

三 信用組合ニ在リテハ次年度ニ於テ組合員ニ貸付シ得ヘキ金額ノ最高限度

前項第二號ノ負債額ノ最高限度ハ現在負債額ヲ合シテ之ヲ定メ其ノ年度内ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第十條 組合ハ組合員ノ脱退シタル場合ニ於テモ出資ノ外其ノ持分ヲ拂戻スコトヲ得ス

第十一條 存立時期ヲ定メタル組合ニ於テハ其ノ組合ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ヲ除クノ外總組合員ノ同意アルニ非サルハ脱退スルコトヲ得ス

第十二條 組合ハ組合員ノ數二十人以下ニ減シタルトキハ解散ス

第十三條 登記及届書ニ關シ産業組合法ニ於テ定メタルニ週間ノ期間ハ本令ニ於テハ之ヲ三週間トス

第十四條 産業組合法ニ於テ定メタル郡長ノ職務ハ支廳長之ヲ行フ

附 則

本令施行ノ期日ハ内務大臣之ヲ定ム

●北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル

勅令施行期日ノ件 明治三十四年(五月二十一日) 内務省令第十四號

明治三十三年六月勅令第二百五十五號北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル件ハ明治三十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●北海道ニ於テ農業者ノ設立スル産業組合ニ關スル

施行規程 明治三十四年(五月二十一日) 内務省令第十三號

第一條 明治三十三年勅令第二百五十五號ニ依リ設立スル産業組合ノ組合員ハ北海道内ニ土地ヲ所有シ又ハ占有シテ農業ニ従事スル者ニ限ル

第二條 出資一口ノ金額ハ百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ノ金額ノ二十分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第四條 勞務ヲ以テ出資ノ目的ト爲シタルトキハ定款ヲ以テ其ノ價額及出資ノ方法ヲ定ムヘシ

第五條 準備金ノ額ハ出資總額ヲ下ルコトヲ得ス

組合ニ於テ借入金アルトキハ其ノ額ニ達スル迄前項準備金ノ外毎事業年度剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ

第六條 組合カ組合員ヨリ過怠金ヲ徴收スルトキ又ハ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ準備金ニ組入ルコトヲ要ス



第七條 持分ニ對スル剩餘金分配ノ率ハ組合ニ於テ毎年北海道廳長官ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムヘシ  
第八條 明治三十三年勅令第二百五十五號第四條ニ依リ組合創業費ノ貸與ヲ受ケントスル組合ハ左ノ書類ヲ添附シ北海道廳長官ニ申請スヘシ

- 一 貸與金使用ノ費途
- 一 返還期限及返還ノ方法
- 一 財產目錄
- 一 貸借對照表
- 一 事業ノ狀況

第九條 組合カ事業ヲ停止シタルトキ又ハ組合ノ事業又ハ組合財產ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ其ノ他組合ノ行為カ公益ヲ害スルノ虞アルトキハ北海道廳長官ハ返還期限前ト雖モ前條ノ貸與金ヲ返還セシムルコトヲ得

第十條 理事及監事ハ定款ニ依ルニ非ラサレハ給料又ハ報酬ヲ受クルコトヲ得ス但會計事務ニ專任スル理事ニシテ總會ノ決議ヲ經タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 組合ノ事業年度ハ曆年ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 理事ハ產業組合法ノ規定ニ依リ總會ニ提出シタル書類ハ其ノ決議ヲ經タル後遲滞ナク決議書ヲ添ヘ之ヲ北海道廳支廳長ニ差出スコトヲ要ス

登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記シタル事項及其ノ登記ノ年月日ニ付テモ亦前項ニ同シ但組合員名簿ニ記載シタル事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 北海道廳長官又ハ北海道廳支廳長ニ於テ產業組合法第六十條及第六十一條ノ規定ニ依リ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ行ヒタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ北海道廳支廳長ハ北海道廳長官ニ北海道廳長官ハ内務大臣ニ報告スルコトヲ要ス

第十四條 組合ノ事業報告書記載ノ事項及出資額ノ減少組織ノ變更並合併ノ認可申請ニ關シテハ產業組合法施行規則第八條第十條第十二條第十三條ノ規定ヲ準用ス

附 則

本令ハ明治三十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●農工銀行法抄

明治二十九年 (明治三十三年) 法律第八十三號 (法律第四十號ヲ以テ追加)

第七條ノ二 產業組合聯合會又ハ產業組合聯合會ニ加入セサル產業組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

●產業組合登記ヲ取扱フ登記所ノ件

(明治三十三年) 司法省令第二十四號

產業組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テ之ヲ取扱ハシム

●產業組合登記取扱手續

明治三十二年八月十六日 司法省令第十七號

第一條 產業組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニヨリ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條 產業組合聯合會登記簿ハ附錄第一號雛形ニ準シ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 產業組合中央會登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 產業組合登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條 產業組合登記受附帳ハ附錄第四號雛形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第六條 登記所ニハ登記簿、組合原簿、聯合會原簿見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一、謄本抄本證明書交付帳

二、申請書囑託書通知書附屬書類送込帳

三、受領證原符元帳



- 四、決定原本綴込帳
- 五、登記簿原本綴込帳
- 六、登記簿綴込帳
- 七、抗告書類綴込帳
- 八、印鑑簿
- 第七條 前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一ケ年毎ニ別冊ト爲スヘシ
- 第八條 組合原簿ハ附錄第五號乃至第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ  
聯合會原簿ハ附錄第五號及第七號雜形ニ準シ之ヲ調製スヘシ
- 第九條 組合原簿ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用フヘシ
- 第十條 申請人ハ組合原簿ノ表紙ニ署名捺印スヘシ  
組合原簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且毎葉ノ綴目ニ契印ヲナスヘシ
- 前二項ノ場合ニ於テ理事又ハ監事カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル
- 第十一條 無限責任組合及ヒ保證責任組合ノ區域ヲ定メタル場合ニ於テ其區域ニ屬スル行政區畫又ハ大字若シハ字ノ名稱ヲ組合原簿ノ表紙ノ裏面ニ記載スヘシ
- 第十二條 組合原簿カ二冊以上ナルトキハ申請人ハ各冊ノ表紙ニ其冊數ヲ記載スヘシ
- 第十三條 組合原簿聯合會原簿及ヒ印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ  
受附帳及ヒ登記簿原本綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ
- 決定原本綴込帳及抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ  
原本抄本證明書交付帳受領證原符元帳及登記簿綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ
- 前三項ノ帳簿保存期限ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
- 第十四條 産業組合法第九條第二項但書ノ場合ニ於テハ設立登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認

- 證アル原本ヲ添附スヘシ
- 第十五條 組合カ其主タル事務所ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ新所在地ノ登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ更ニ組合原簿ヲ差出スヘシ但組合原簿ニハ現存セル事項ノミヲ記載スヘシ
- 第十六條 産業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ設立ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ定款、總會ノ決議錄又ハ總組合員ノ同意ヲ證スル書面及ヒ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル原本ヲ添附シ且組合原簿ヲ差出スヘシ
- 第十七條 産業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ組合カ其組織ヲ變更シタル場合ニ於テ主タル事務所所在地ノ登記所ニ其登記ヲ申請スルトキハ同時ニ組合原簿ヲ差出スヘシ
- 第十八條 裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テ登記ノ申請書ニハ裁判ノ原本ヲ添附スヘシ
- 第十九條 登記ノ申請書ニハ登記事項ニ付總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄總組合員ノ同意ヲ要スル場合ニ於テハ其同意ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第二十條 産業組合法第九條第二項ニ依ル登記ノ囑託ニ付テハ登録稅ヲ要セス
- 第二十一條 無限責任組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其申請書ニ變更シタル事項ノ記載アル用紙ヲ編綴セル組合原簿ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ但組合員ノ加入ニ因ル組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ハ此限ニ在ラス
- 第二十二條 無限責任組合員ノ加入ニヨリ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ總組合員ノ同意ヲ證スル書面ノ外加入シタル組合員ノ加入ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ  
保證責任組合員ノ加入ニヨリ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ加入シタル組合員ノ保證金額ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
- 第二十三條 前條ノ場合ニ於テハ組合ニ加入シタル組合員ニ付追加組合原簿(甲部用紙)ヲ差出スヘシ



前項ノ場合ニ於テ加入シタル組合員カ多数ナルトキハ申請書ニハ組合原簿ニ掲ケタル筆頭ノ者ノ氏名、住所及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條ノ規定ハ第一項ノ追加組合原簿ニ之ヲ準用ス

第二十四條 前條ノ規定ニヨリ差出シタル追加組合原簿ハ前ノ組合原簿ニ編綴シ登記官吏其綴目ニ契印スヘシ

第二十五條 前三條ノ規定ハ組合員ニ非サル者カ無限責任組合員又ハ保證責任組合ノ持分ヲ讓受ケタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條 第二十三條及ヒ第二十四條ノ規定ハ産業組合法第六十六條ノ場合ニ於テ合併後存続スル無限責任組合又ハ保證責任組合カ組合員ノ増加シタルニヨリ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 第十九條ノ規定ハ組合原簿ノ記載ノ申請ニ之ヲ準用ス

第二十八條 組合カ産業組合法第十五條ノ第二項ノ規定ニ依リ登記書ニ通知ヲナス場合ニ於テハ通知書ニ大字若クハ字又ハ其名稱ニ變更アリタル事由及ヒ其年月日ヲ記載スヘシ

第二十九條 登記官吏カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ受附帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲナシタル組合ノ名稱受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ但通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ通知ヲ爲シタル組合ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第三十條 組合カ其事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ産業組合法第十六條ノ規定ニ依リ同法第十四條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同法第六十六條ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

第三十一條 主タル事務所ニ非サル事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲナシ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

ヌヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ主タル事務所又ハ他ノ主タル事務所ニ非サル事務所アル場合ニハ之ヲ適用セズ

第三十二條 組合ノ理事又ハ監事カ任期満了ノ後再選セラレタルニ因リ變更登記ノ申請アリタルトキハ新ニ選任セラレタルト同一ノ登記及ヒ公告ヲ爲スヘシ

第三十三條 産業組合法第十五條ノ第二項ノ場合ニ於テハ登記簿ニ變更ノ登記ヲ爲シタルトキト雖モ其公告ヲ爲スコトヲ要セズ

第三十四條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ組合原簿ノ表紙ニ登記番號、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第三十五條 組合原簿ハ各組合毎ニ各別ニ之ヲ保存スヘシ但有限責任組合原簿ハ之ヲ編綴スルコトヲ得前項申書ノ場合ニ於テハ合綴シタル帳簿ニ目錄ヲ附スヘシ

第三十六條 組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ前ノ組合原簿中相當部分ノ變更欄ニ其記載ヲナスヘシ

第三十七條 無限責任組合員又ハ保證責任組合員ノ脱退ニヨリ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請アリタルトキハ組合原簿中相當部分ノ變更欄ニ其記載ヲ爲シ脱退シタル組合員ノ氏名ヲ朱抹スヘシ

第三十八條 産業組合法第十五條ノ第二項及ヒ第二項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ無限責任組合原簿及ヒ保證責任組合原簿ノ表紙ノ裏面ニ行政區畫大字若クハ字又ハ其名稱ノ綴アリタルコト及ヒ其年月日ヲ記載シ其表紙ノ裏面ニ記載シタル行政區畫大字若クハ字又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

第三十九條 前條ノ規定ニ依リテ大字若クハ字又ハ其名稱ヲ變更シタルトキハ産業組合法第十五條ノ第二項ノ規定ニ依ル組合原簿ノ記載ノ變更ヲ爲シタルモノト看做ス



第四十條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ甲部用紙變更用紙カ記載ヲナスヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其組合原簿ニ甲部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ變更欄ノ記載ヲナスヘシ  
前項ノ手續ヲナシタルトキハ前用紙及ヒ繼續用紙中適當ノ場所ニ便宜ノ方法ヲ以テ交互參着ノ符號ヲ附記スヘシ

前用紙中他ノ變更欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ記載スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ記載ヲナスヘシ  
前三項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第四十一條 無限責任組合原簿又ハ保證責任組合原簿ノ乙部用紙中或組合員ノ變更欄カ記載ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ登記官吏ハ其組合原簿ニ乙部ノミノ繼續用紙ヲ編綴シ之ニ其組合員ノ氏名住所等ヲ移シタル上變更欄ニ變更ノ記載ヲナスヘシ  
前條第二項及ヒ第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條 第四十條ノ規定ハ有限責任組合原簿ニ之ヲ準用ス

第四十三條 産業組合法第七十九條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本同條第二項ノ場合ニ於テハ主務大臣ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十四條 産業組合法第八十條第一項但書ノ場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ地方長官ノ認可書又ハ其認證アル謄本ヲ添附スヘシ

第四十五條 登記官吏カ産業組合聯合會ノ登記ノ申請書ヲ受取リタルトキハ産業組合登記受附帳ニ記入スヘシ

第四十六條 産業組合聯合會ノ登記及ヒ産業組合聯合會原簿ノ記載ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外産業組合登記及ヒ産業組合原簿ノ記載ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十七條 第十八條乃至第二十條第二十八條乃至第三十三條及ヒ第四十五條ノ規定ハ産業組合中央會

ノ登記ニ之ヲ準用ス

第四十八條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第六條第七條、第九條乃至第二十條、第二十三條乃至第三十三條、第四十四條、第四十六條ノ規定ハ産業組合、産業組合聯合會及ヒ産業組合中央會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十九條 本令ハ明治四十二年法律第二十七號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條 明治三十三年司法省令第二十九號産業組合登記取扱手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第五十一條 本令施行前ニ設立ノ登記ヲナシタル組合カ産業組合法第十五條第一項第一號及ヒ第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ組合原簿ノ記載ノ變更ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ更ニ本令ニ定メタル組合原簿ヲ差出スヘシ

前項ノ組合原簿ニハ變更前ノ出資總口數及ヒ拂込ミタル出資ノ總額ヲ記載スヘシ

第五十二條 本令施行前ニ登記シタル事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

第五十三條 本令施行前ニ調製シタル産業組合登記簿ハ既ニ登記ヲ爲シタルモノナルト否トヲ問ハス當分ノ内其儘之ヲ使用スルコトヲ得

(不動産登記施行細則 第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ  
(登記所ハ要中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見稱リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ但區裁判所出張所ノ帳簿ハ管轄區並  
判所ヨリ之ヲ請求スヘシ  
豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得)

同 第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ  
(同 第十二條 受付番號ハ一ヶ年毎ニ更新スヘシ)



(同) 第二十條 事變ヲ避ケル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

(同) 第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送付スヘキ命令又ハ囑託アリタルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

(同) 第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ速滞ナク其事由、年月日、滅失セシ登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告知ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所ニ申報スヘシ但區域裁判所出張所ノ申報ハ管轄區域裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受タルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

不動産登記法第二十三條登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ三ヶ月ヨリ少カラサル期間ヲ定メ其ノ期間内ニ登記ノ回復ヲ申請スル者ハ尙ホ其登記簿ニ於ケル順位ヲ有スヘキ旨ヲ告示スルコトヲ要ス

(同) 第二十三條 登記簿及其附屬書類ノ滅失スル處アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

(同) 第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區域裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區域裁判所ヲ經由スヘシ

(同) 第二十七條 印鑑複製ノ様式及ヒ貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

(同) 第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

不動産登記法第二十一條第二項 手数料ノ外郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ送付ヲ請求スルコトヲ得

(同) 第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取りタルトキハ受附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附書類ヲ記載シタル上受附書類ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

(同) 第三十五條 登記法ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其ノ末尾ニ左ノ認印文ヲ記載シタルモノヲ添付シテ認印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ捺捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り並ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス

前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃紙紙ヲ用ユヘシ

(同) 第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト認印スヘシ

前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

(同) 第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閱覽ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

(同) 第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登録ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ハ不動産ニ關スル登記ヲ受ケルニ必要ナル登録稅額ナルカ故ニ省略ス但シ産業組合法第六條ヲ照スヘシ

(同) 第三十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴リニ認印スヘシ但登記者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ認印ヲ以テ足ル

(同) 第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取りタルトキハ速滞ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査スヘシ

(同) 第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

(商業登記取扱手續 第六條 法律ニ依リ登記ノ申請書ニ捺印スヘキ者ハ豫メ其印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但登記ノ申請ニ付キ委任ニ因リ代理ヲ爲ス者ハ此限ニ在ラス)

(同) 第七條 印鑑ハ附錄第二十一號離形ニ依リ之ヲ複製スヘシ

附錄第二十一號

(用紙厚紙五寸横二寸)

郡市町村番地

氏 名

何年何月生

印鑑

(注意) 會社ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ會社ノ營業所ノ所在地會社ノ商號並ニ代表者ノ資格ヲ記スヘシ

(同) 第九條 登記ノ爲メ當事者ノ提出シタル申請書其他ノ書面ニシテ登記所ニ保存スヘキモノハ之ニ登記簿ノ冊數及ヒ其丁數ヲ記載シ登記簿ノ區別ニ從ヒ提出年月日、順序ヲ追ヒテ編號スヘシ

(同) 第十條 登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽又ハ登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ



(同 第十一條) 登記簿又ハ附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ説明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其關係ヲ説明スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スヘシ

一 登記簿ノ種類 二 閲覧セシト欲スル登記事項 三 登記所ノ表示 四 年月日

(同 第十二條) 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一 登記簿ノ種類 二 謄本又ハ抄本ヲ請求スル登記事項 三 手数料ノ金額 四 登記所ノ表示 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

(同 第十三條) 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スルモノハ申請書ニ通テ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ付シ年月日ヲ記載シ署名捺印シ且登記ノ印ヲ捺捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

(同 第十四條) 登記ノ申請ハ申請人又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

(同 第十五條) 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的申請人ノ氏名(會社カ申請人ナリトキハ其商號) 受附ノ年月日及ヒ受附費

號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

(同 第十六條) 申請其他ノ書面ノ受領証ニハ受付ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

(同 第十七條) 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

(同 第十八條) 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトヲシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交又スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交又スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縦線ヲ引テ餘白ト分界スヘシ

(同 第十九條) 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱線スヘシ

(同 第二十條) 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱線スヘシ

(同 第二十三條) 非訟事件手續法第四拾八條(既出)ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

(同 第二十四條) 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ノ編號セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ノ編號セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

(同 第二十五條) 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其他ノ物ノ數量年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀ミ得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

(同 第二十六條) 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

(同 第二十七條) 登記ノ申請人ハ登記簿ニ交付ヲ請求スルコトヲ得

登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ記録第二十二號雜形(省略)ニ依リ登記簿ニ交付スヘシ

(同 第二十八條) 商業登記簿ノ見出帳ニハイロハ順ニ二枚リ豫メイノ部ヨリスノ部マテ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編號セル登記簿ノ冊數丁數及登記番號ヲ記入スヘシ

(同 第二十九條) 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出ヲ朱線スヘシ

(同 第三十條) 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、後見人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱線スヘシ

(同 第三十一條) 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及附屬書類又ハ其謄本ナシ登記所ニ移送スヘシ 但登記簿ノ謄本ニハ現在セル登記ノミヲ附寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

(同 第三十二條) 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類及其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登



記簿ニ登記ヲ移メヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表  
示ヲ爲シ前登記番號モ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

(同 第三拾三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セズ)

(同 第四十四條 會社方其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖  
スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ通用セズ

(同 第四拾六條 登記ノ申請所ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ  
記載シタル原本ヲ添附スヘシ  
登記官吏方書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其原本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ)

附錄第一號

産業組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

枚

地方裁判所長

| 登記ノ第一欄 |    | 第二欄 |   | 第三欄 |   | 第四欄 |   | 第五欄 |   | 第六欄 |   | 第七欄 |   | 第八欄 |   | 第九欄 |   | 第十欄 |   | 第十一欄 |   | 第十二欄 |  |
|--------|----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|------|---|------|--|
| 年月日    | 登記 | 官印  | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿    | 簿 | 簿    |  |
| 明治年月日  | 登記 | 官印  | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿    | 簿 | 簿    |  |
| 明治年月日  | 登記 | 官印  | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿    | 簿 | 簿    |  |
| 明治年月日  | 登記 | 官印  | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿    | 簿 | 簿    |  |
| 明治年月日  | 登記 | 官印  | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿   | 簿 | 簿    | 簿 | 簿    |  |















|   |   |              |   |   |              |
|---|---|--------------|---|---|--------------|
| 更 | 變 | 組合員ノ<br>氏名住所 | 更 | 變 | 組合員ノ<br>氏名住所 |
| 更 | 變 | 組合員ノ<br>氏名住所 | 更 | 變 | 組合員ノ<br>氏名住所 |

丁

附錄第六號

無限責任何々組合ノ組合原簿

監理事

附錄第七號

保證責任何々組合ノ組合原簿

監理事

|   |   |   |   |                   |    |
|---|---|---|---|-------------------|----|
| 更 | 變 | 更 | 變 | 口ノ出<br>數總資        | 稱名 |
| 更 | 變 | 更 | 變 | ノル拂<br>總出込<br>額資々 |    |

丁







本模範定款カ從來ノモノト異ナル主要ノ點ハ信用組合カ組合員外ノ者ニシテ組合加入ノ豫約ヲ爲シタルモノ、貯金ヲ取扱フ場合及組合原簿記載ノ變更ニ關スル規程ヲ設ケタルコト金利ヲ底下シタルコト等ナリ信用組合外ノ産業組合ノ模範定款ハ既ニ公示セラレアルモ今後其定款ヲ作成シ又ハ變更セントスルトキハ本模範定款及聯合會模範定款ヲモ参照スヘシ

### 無限責任何々信用組合定款

#### 第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トス
- 本組合ハ加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フ
- 第二條 本組合ハ無限責任何々信用組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ無限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
- 第六條 組合員ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル加入豫約者ノ資格亦同シ
- 第七條 組合員又ハ加入豫約者ハ他ノ信用組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス
- 第八條 本組合ノ存立時期ハ三十ヶ年トス
- 第九條 本組合ノ財産ニ付組合員ノ存スル持分ハ其ノ拂込済出資額ニ應スルモノトス
- 第二章 出資及積立金
- 第十條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス
- 第十一條 出資ハ一面ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス但シ第四十八條第三項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十二條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口毎ニ左ノ各號ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲ナスモノトス

- 一、每月末金貳拾錢宛拂込ムコト
- 二、毎年一月末及六月末金壹圓宛拂込ムコト
- 三、第一回拂込後一ヶ年内ニ金額ヲ拂込ムコト
- 第十三條 出資拂込ヲ怠リタルトキハ期日後百ニ付其拂込ムヘキ金額ノ二分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス
- 第十四條 産業組合法第五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲スヘキ産業組合原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取細メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス
- 第十五條 本組合ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ソルモノトス
- 第十六條 過怠金及第五十四條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス
- 第十七條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス
- 第十八條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得
- 第十九條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預ケ入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若クハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得又但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

#### 第三章 機 關

- 第二十條 本組合ニ理事三名監事二名ヲ置ク
- 理事ハ組合長一名ヲ互選ス
- 組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其代理者一名ヲ定ム



第二十一條 理事ノ任期ハ三ヶ年トシ監事ノ任期ハ一ヶ年トス但シ再選ヲ妨ケス  
組合長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ  
補欠選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十二條 辭任其ノ他ノ事由ニヨリ理事又ハ監事ニ欠員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫  
スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補欠選舉ヲ爲スモノトス  
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補欠選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス  
通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク  
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ  
二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告  
スル爲メ必要ト認メタルトキ  
三、組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其ノ召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集  
ヲ請求シタルトキ

第二十四條 總會ノ召集ハ少クシテモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス  
前項ノ通知書ニハ召集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非ラサレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス  
第二十六條 總會ノ議長ハ第二十三條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外組合長之ニ當タル組合長事故アル  
トキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十三條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ召集シタル監事之ニ當タル其ノ多數ナル  
場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル  
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十七條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス  
第二十八條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス  
決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム  
第三十條 本組合ニ信用評定委員三名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス  
信用評定委員ノ任期ハ一ヶ年トス但シ再選ヲ妨ケス

第三十一條 信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得  
信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十二條 信用評定委員ハ一月及七月定會ヲ開キ組合員各自ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス  
信用程度表ハ理事之ヲ保管シ役員ノ外閱覽スルコトヲ得サルモノトス

第三十三條 理事、監事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス  
理事、監事及信用評定委員ハ正常ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十四條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス  
書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第三十五條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十六條 組合員カ貸付ヲ請求シタルトキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ調査シ貸付クヘキ金



額及其ノ方法ヲ定ムルモノトス

第三十七條 貸付金ノ辨濟期限ハ一ケ年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三ケ年内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條 貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第三十九條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ組合員ニ對シ期限前ト雖モ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條 貯金ハ一回金壹錢以上トス

加入豫約者ノ貯金ハ一人ニ付投資一口ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ス  
貯金ノ利息ハ毎年六月末及十二月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ル、モノトス

第四十一條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金ニ付テハ年一割以下  
二、貯金ニ付テハ年七分以下

第四十二條 組合ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第四十三條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第四十四條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ拂除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第四十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備ヲ以テス

第四十六條 組合ノ財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各組合員間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ出資額ニ應スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第四十七條 組合ニ加入セントスルトキハ申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス理事前項ノ申込書ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス

總組合員ノ同意アリタルトキハ理事ハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十八條第三項、第五十條及第五十二條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十八條 加入豫約ノ申込アリタルキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス  
加入豫約者ノ貯金額ハ現在組合員ノ出資一口ニ對スル拂込金額ノ最小額ニ達シタル後ニ非サレハ之ヲ組合ニ加入セシムルコトヲ得ス

第四十七條ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ準用ス但シ此ノ場合ニ於テ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ全部ヲ出資拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第四十九條 加入豫約者カ第五十三條第二號又ハ第三號ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ豫約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第五十條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非ラサルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外第四十七條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス  
第五十一條 組合員カ脱退セントスルトキハ少クモ其ノ事業年度末十ヶ月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十二條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ遲滞ナク加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス



第五十三條 組合員カ左ノ理由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟又ハ利息ノ支拂ヲ忘リ期限後一ヶ月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ

二、組合ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三、犯罪其ノ他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十四條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ニ止ムルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第五十五條 組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附則

第五十六條 組合設立當時ノ理事監事及信用評定委員ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|        |   |   |
|--------|---|---|
| 理事     | 何 | 某 |
| 理事     | 何 | 某 |
| 理事     | 何 | 某 |
| 監事     | 何 | 某 |
| 信用評定委員 | 何 | 某 |
| 信用評定委員 | 何 | 某 |
| 信用評定委員 | 何 | 某 |

有限責任購買組合模範定款

農商務省明治三十三年十二月一日官報登載

第二章 總則

第一條 本組合ハ農事及ヒ生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ有限責任何何購買組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何町及ヒ何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何街地ニ置ク

第六條 組之員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第七條 本組合ノ存立時期ハ二十年トス

第八條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ特別積立金ニ付キテハ組合ヨリ購買シタル物品ノ價格其他ノ財産ニ付キテハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及ヒ準備金

第九條 出資一口ノ金額ハ金拾五圓トス

第十條 出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付金壹圓五拾錢トス

第十一條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ左ノ一ニ依リ出資ノ拂込ヲ爲スコトヲ得

一、出資各口ニ付キ毎月末金參拾錢以上拂込ムコト

二、出資各口ニ付キ毎年一月末及ヒ六月末金壹圓五拾錢以上宛拂込ムコト

三、第一回拂込後一箇年以内ニ全額ヲ拂込ムコト

第十二條 組合員其出資ノ拂込ヲ忘リタルトキハ期日後一日ニ付キ其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十三條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一ヲ積立ツル



第十四條 加入金、過怠金及ヒ第四十八條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルモノトス

第十五條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及ヒ組員ニ配當又ハ分配スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ殘餘アルトキハ之ヲ特別配當金及特別積立金トナスモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ使用スルコトヲ得

第十七條 準備金及ヒ特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關  
第十八條 本組合ニ理事及ヒ監事各三名ヲ置ク  
理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス  
補缺選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場  
合ニ限リ臨時總會ニ於テ補缺選舉ヲ爲スモノトス  
總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス  
通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク  
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ其招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス  
前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス  
第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必  
要ト認ムルトキハ出席組員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及ヒ監事之ニ捺印スルヲ要ス  
第二十六條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十七條 理事及ヒ監事ハ名譽職トス  
理事及ヒ監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十八條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス  
書記ハ理事及ヒ監事ノ命ヲ承ケテ庶務ニ從事ス  
第二十九條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

第四章 事業ノ執行  
第三十條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十一條 本組合ニ於テ取扱フ物品ハ左ノ如シ  
一 肥料、種苗、農具、家畜、蠶種

二 糠、油、紙  
三 其他總會ノ決議ヲ經タル物品



第三十二條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其注文ニ應シ取扱物品ヲ便宜購買スルモノトス

第三十三條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ニ依ル

第三十四條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第三十五條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遅滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第三十六條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其代金ヲ仕拂フコトヲ要ス但止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六箇月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ利息ヲ附スルモノトス其利率ハ理事之ヲ定ム

第三十七條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立ツシムルコトヲ得

第三十八條 理事ハ組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、コトヲ得

第三十九條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及ヒ損失填補

第四十條 剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得

剰餘金ノ配當ハ組合員ノ持分ニ應スルモノトス

前項ノ配當率ハ年四分以下トス

第四十一條 特別配當金ハ組合員カ其事業年度内ニ購買シタル物品ノ價格ニ應シ之ヲ配當ス但其金額ハ

第十五條ノ殘餘金ノ十分ノ七トス

第四十二條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及ヒ脱退

第四十三條 新ニ組合員タラントスル者ハ申込書ニ加入金五拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタル時ハ其旨加入者ニ通知シ第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條 組合員カ持分ヲ讓渡サントスルトキハ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第四十五條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末十箇月前ニ其旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十六條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直チニ組合員タラントスルトキハ加入金ヲ差出スコトヲ要セシム

第四十七條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込及購買物品ノ代金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其義務ヲ履行セサルトキ

二 組合ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ

三 組合ノ事業ヲ妨クルノ所爲アリタルトキ

四 犯罪其他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第四十八條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込済出資額ニ止ルモノトス但死亡、禁治産其他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 組合ノ解散



第四十九條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第五十條 本組合設立當時ノ理事及ヒ監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 |
| 何   | 何   | 何   | 何   | 何   | 何   | 何   | 何   | 何   | 何   |
| 某   | 某   | 某   | 某   | 某   | 某   | 某   | 某   | 某   | 某   |

有限責任販賣組合模範定款

(農商務省明治三十四年十一月三十日官報登載)

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ組合員ノ委託ヲ受ケ其生産シタル農産物ヲ販賣スルヲ以テ目トス
- 第二條 本組合ハ有限責任何何販賣組合ト稱ス
- 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
- 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村、何村、及ヒ何町トス
- 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町(何村)何番地ニ置ク
- 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル
- 第七條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ特別積立金ニ付キテハ販賣シタル物品ノ價額其他ノ財産ニ付キテハ拂込済出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及ヒ準備金

- 第八條 出資一口ノ金額ハ金貳拾圓トス
  - 第九條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付キ金參圓トス
  - 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資各口ニ付キ毎年二月末及ヒ八月末金貳圓以上宛拂込ムモノトス
  - 第十條 組合員其出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス
  - 第十一條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ二分ノ一ヲ積立ツルモノトス
  - 第十二條 加入金、過怠金及第五十一條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルモノトス
  - 第十三條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及ヒ組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙ホ殘餘アルトキハ之ヲ特別積立金ト爲シ損失填補ニ充ツルモノトス
  - 第十四條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若クハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス
- 第三章 組合ノ機關
- 第十五條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク
  - 理事ハ組合長一名ヲ互選ス
  - 第十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス
  - 補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス



第十七條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場  
合ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス  
第十八條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス  
通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク  
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第十九條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス  
前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十條 總會ハ總組合員ノ二分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十一條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必  
要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十二條 總會ノ決議ハ理事之ヲ作リ議長及ヒ監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十四條 理事ノ内一名ハ有給職トシ其他ノ理事及ヒ監事ハ名譽職トス  
理事及監事ハ正當ノ事由ヲシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 本組合ニ検査人何名ヲ置キ總會ノ承認ヲ經テ理事之ヲ任免ス  
検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及ヒ數量ノ査定其他技術上ノ事務ニ從事ス

第二十六條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス  
書記ハ理事及ヒ監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第二十七條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第二十八條 本組合ニ於テ取扱フ物品ハ麥、米、大豆、菜種及ヒ柑橘トス但總會ノ決議ニ依リ他ノ農産物  
ヲ取扱フコトヲ得

第二十九條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ賣却スルコトヲ得ス

第三十條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各組合員ノ生産物ニ付キ報告ヲ徴シ又ニ必要ナル調査ヲ爲スコト  
ヲ得

第三十一條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其品等及ヒ數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知  
スルモノトス

品等査定ノ標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十二條 組合員ハ其賣却セントスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第三十三條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但其額ハ  
物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付參錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ拂フコトヲ要ス

第三十四條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付キ總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス

第三十五條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ラス毎月末各品等ニ付キ  
之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス  
假渡ヲ受ケタル組合員ニ付キテハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス



第三十六條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付キテハ其後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其代金ヲ配分スルモノトス

第三十七條 受取物品中組合ニ於テ調製、儀裝其他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付キテハ別ニ手数料ヲ徴シ代金配分ノ時之ヲ差引クモノトス

前項ノ手数料ノ率ハ總會ノ承認ヲ經テ理事之ヲ定ム

第三十八條 本組合ハ何停車場附近ニ倉庫ヲ置ク

第三十九條 物品受取後ノ危險ハ組合ノ負擔トス

第四十條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ル、モノトス

第四十一條 左ニ掲ケタル事項ハ總會ノ決議ニ經ルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

- 一 不動産ノ取得、讓渡及ヒ其他ノ處分
- 二 訴訟行爲

第四十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及ヒ損失填補

第四十三條 剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ各組合員ノ拂込済出資額ニ應シ年五分以下トス

第四十四條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及ヒ脱退

第四十五條 新ニ組合員タラントスル者ハ申込書ニ加入金ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨加入者ニ通知シ出資ノ第一回拂込ヲ爲サシメタル後組合員名

簿ニ記載スルコトヲ要ス

第四十六條 第一年度ノ加入金ハ一口ニ付キ金貳拾錢トシ以後ハ毎年通常總會ニ於テ組合財産ノ増減ニ應シ其額ヲ定ム

第四十七條 組合員持分ヲ讓渡サントスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス  
持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及ヒ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十八條 組合員脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末六箇月前ニ其旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十九條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相続人カ直チニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相続人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相続人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ者ト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第五十條 組合員左ノ事由ノ一ニ當タルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一箇月以上ニ其義務ヲ履行セサルトキ
- 二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ
- 三 第二十九條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ
- 四 組合ノ事業ヲ妨クノ所爲アリタルトキ
- 五 犯罪其他ノ所爲ニ因リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十一條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込済出資額ニ止マルモノトス但死亡、禁治産其他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス



第七章 解散

第五十二條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附則

第五十三條 本組合設立ノ當時理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 理 | 事 | 何 | 某 |
| 理 | 事 | 何 | 某 |
| 理 | 事 | 何 | 某 |
| 監 | 事 | 何 | 某 |
| 監 | 事 | 何 | 某 |
| 監 | 事 | 何 | 某 |

無限責任生産組合模範定款

(農務省)明治三十四年十一月三十日官報登載

第一章 總則

第一條 本組合ハ蠶室、蠶具、消毒器、繭乾燥室、及ヒ繭貯藏庫ヲ備ヘ之ヲ組合員ニ使用セシムルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ無限責任何何生産組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ無限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住居シ且獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第七條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ拂込済出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及ヒ準備金

第八條 出資一口ノ金額ハ金貳拾五圓トス

第九條 出資ノ第一回拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス但新ニ加入スル者ニ付キテハ現在組合員ノ拂込済出資額ト同額トス

第十條 第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付キ毎年八月中ニ金五圓ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十一條 組合員其出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第十二條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一ヲ積立ツルモノトス

第十三條 加入金、過怠金及ヒ第四十五條ニ依リテ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十四條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル殘額ハ少クトモ二分ノ一ハ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

第十五條 特別積立金ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ消却及ヒ總會ノ決議ニ依リテ臨時ノ支出ニ使用スルモノトス

第十六條 準備金及ヒ特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十七條 本組合ニ理事三名、監事一名ヲ置ク



理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十七條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十八條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ缺員ヲ生ノタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場

合ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第十九條 總會ハ通常總會及ヒ臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及ヒ招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十條 總會ノ招集ハ少クとも五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

第二十二條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當タル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但總會ニ於テ必

要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十三條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十四條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作リ議長及ヒ監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十六條 理事及ヒ監事ハ名譽職トス

理事及ヒ監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十七條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ技術員ヲ任用スルコトヲ得

第二十八條 本組合ニ書記二名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及ヒ監事ノ命ヲ承ケテ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第二十九條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十條 消毒器、乾燥室又ハ貯藏庫ヲ使用セントスルトキハ組合員ハ使用ノ期日及ヒ時間ヲ記載シ

テ理事ニ申出ルコトヲ要ス但シ消毒器ヲ使用セントスルトキハ露室ノ面積並置具ノ數、乾燥室又ハ貯

藏庫ヲ使用セントスルトキハ爾ノ數量ヲ附記スルコトヲ要ス

理事ハ前項ノ申出ニ依リ各組合員ノ使用ノ期日及ヒ時間ヲ定メテ豫メ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十一條 組合員ハ出資一口毎ニ一事業年度内乾燥室ヲ使用シテ生菌二十貫迄ヲ乾燥シ及ヒ貯藏庫

ヲ使用シテ乾菌七貫目迄ヲ貯藏スルコトヲ得

第三十二條 給合員消毒器、乾燥室又ハ貯藏庫ヲ使用シタルトキハ其使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

消毒器附屬ノ藥品ニ付キテハ別ニ實費ヲ支拂フコトヲ要ス

第三十三條 前條ノ使用料及ヒ實費ハ使用ヲ終リタル後一箇月以内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

組合員前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付キ其支拂フヘキ金額ノ千分ノ三ニ當タル過怠金ヲ

徴收ス

第三十四條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若シタハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム但シ使用料ニ關スル規定ハ總會ノ承認ヲ經ルコトヲ



要ス

第五章 剰餘金分配及ヒ損失分擔

第三十六條 剰餘金ハ準備金及ヒ特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ各組合員ノ出資額ニ應シ年五分以下トス

第三十七條 組合財産カ組合ノ債務ヲ完済スルニ足ラサルトキハ組合員ハ出資額ニ應シ損失ヲ分擔スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及ヒ脱退

第三十八條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年一月乃至三月中ニ加入申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス

第三十九條 新ニ加入シタル組合員ハ加入金ヲ差出スコトヲ要ス  
加入金ノ額ハ前事業年度末ニ於ケル各組合員ノ出資ニ對スル持分額ヨリ其拂込済出資額ヲ控除シタル額ニ依リ出資一口毎ニ之ヲ定ム

第四十條 理事加入申込書ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求ムルコトヲ要ス  
總組合員ノ同意アリタルトキハ理事ハ其旨加入者ニ通知シ出資及ヒ加入金ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

理事ハ豫メ定メタル利息ノ支拂ヲ約セシメテ二箇年以内前項ノ拂込ノ延期ヲ許諾スルコトヲ得但出資金額拾圓加入金五圓ニ滿タサルトキハ此限ニ在ラス

第四十一條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サントスル者アル場合ニハ理事ハ讓受人カ組合員ナルトキハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ承諾シ讓受人カ組合員ニ非サル者ナルトキハ書面ヲ以テ總組合員ノ同意ヲ求メ其同意アリタル後直チニ其旨讓渡人及ヒ讓受人ニ通知シ且ツ組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十二條 組合員脱退セントスルトキハ少クモ其事業年度末十箇月前ニ其旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十三條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直チニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第四十四條 組合員左ノ事由ノ一ニ當タルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス  
一 出資、加入金ノ拂込又ハ使用料實費ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其義務ヲ履行セザルトキ  
二 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ  
三 犯罪其他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第四十五條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込済出資額ニ止ルモノトス

第四十六條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第四十七條 本組合設立當時ノ理事及ヒ監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|    |   |
|----|---|
| 理事 | 何 |
| 理事 | 何 |
| 理事 | 何 |
| 監事 | 何 |
|    | 某 |
|    | 某 |
|    | 某 |
|    | 某 |

有限 何々販賣組合 (農商省調査三十九年) 摸範定款 (八月十七日官報掲載)



第一章 總 則

(普通ノ販賣組合模範定款ニ依ルヘシ)

第二章 出資及ヒ準備金

(同 前)

第三章 組合ノ機關

第十五條 本組合ニ理事五名監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長副組合長各一名ヲ互選ス

第十六條 組合長ハ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十七條 組合長ハ左ノ區分ニ從ヒ理事ヲ指定シテ組合ノ事務ヲ分掌セシム

一 物品ノ受入保管

二 物品ノ數量及品等ノ檢定

三 物品ノ販賣

四 會計及庶務

第十八條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補欠選舉ニヨリ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スルマテ仍其職務ヲ行フモノトス

第十九條 辭任其他ノ事由ニヨリ理事又ハ監事ニ欠員ヲ生シタルトキハ通常總代會ヲ俟ツコト能サル場

合ニ限リ臨時總代會ニ於テ補欠選舉ヲ爲スモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補欠選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十一條 本組合ハ産業組合法第三十八條ノ二ニヨリ總代會ヲ設ク

第二十二條 總代ノ員數ハ何人トシ左ノ選出區域内ニ於ケル組合員ニ於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ各

一人ヲ互選ス

一、何村大字何

二、何 村

三、何町大字何

四、何

理事、監事及本組合ノ事務員ハ總代タルコトヲ得ス但シ世話掛ハ此限ニアラス

第二十三條 總代ノ選舉ハ理事ノ指定シタル一人又ハ數人ノ組合員之ヲ管理シ組合員中ヨリ管理者ノ指

定シタル二人以上ノ立會人ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第二十四條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報

告スヘシ

第二十五條 總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

辭任其他ノ事由ニ因リ總代ニ欠員ヲ生シタルトキハ遲滞ナク補欠選舉ヲ爲スモノトス

第十八條第二項第三項及第二十條ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第二十六條 總代ハ其選出區域内ニ於ケル組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコ

トヲ得

第十九條 第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス



第二十七條 總代会ハ通常總代会及臨時總代会ノ二種トス

通常總代会ハ毎年一回何月之ヲ開ク

臨時總代会ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三、總代又ハ總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シテ申請シタルトキ

第二十八條 總代会ノ招集ハ少クとも五日前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十九條 總代会ハ總代ノ半数以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總代会ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及監事ノ選任及解任定款ノ變更及除

名ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十條 總代会ノ議長ハ組合長又ハ副組合長之ニ當ル組合長副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ一

人之ニ代ル但總代会ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席總代中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第三十一條 總代ハ二人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十二條 總代会ノ決議ハ理事之ヲ作リ議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十三條 總代会ノ議事ニ關スル細則ハ總代会ニ於テ之ヲ定ム

第三十四條 解散又ハ合併ノ決議ヲナサントスルトキハ總會ヲ招集ス

總代会ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ適用ス但シ其決議ハ出席シタル組合員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコ

トヲ要ス

組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十五條 本組合ニ左ノ事務員ヲ置ク

一、検査人 何名

二、書記 何名

三、世話掛 何名

事務員ハ組合長之ヲ任免ス但検査人ニアリテハ理事ノ合議ヲ要ス

第三十六條 検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ數量及品等ノ檢定其他技術上ノ事務ニ従事ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

世話掛ハ組合業務ノ執行上必要アル場合ニ總代選出區域毎ニ組合員中ヨリ一人又ハ數人ヲ選任シ其ノ

區域内ノ事務ヲ掌ラシム

第四章 事業ノ執行

(普通ノ販賣組合模範定款ニ依ルヘシ)

第五章 剰餘金處分及損失填補

(同 前)

第六章 加入及脱退

(同 前)

第七章 解散

(同 前)

第八章 附則

(同 前)

農商務省訓令第四十三號



本邦ノ蠶絲業ハ漸ク以テ發達シ今日ノ盛況ヲ觀ルニ至レルハ頗ル喜フヘシト雖深ク其實況ヲ查察スレハ  
 之カ經營ノ方法等ニ於テ改善ヲ加フヘキモノ亦尠シトセス就中其經濟組織ノ如キハ多クハ舊慣ヲ墨守シ  
 未ダ著シク進步ノ實ヲ認ムル能ハサルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

惟フニ産業組合ハ産業及經濟ノ發達ヲ圖ル爲極メテ必要ナル組織ナリ殊ニ多數ノ小企業者共同シテ此ノ  
 組合ヲ設立スルコトハ最モ獎勵スヘキコトニ屬ス蠶絲業タル其事業概テ規模狹少ナルモノナルヲ以テ此  
 等ノモノ共同シテ此組織ヲ利用スルトキハ其ノ信用ヲ鞏固ニシ事業ノ改善ヲ致シ現時重要ノ輸出品タル  
 生絲ヲシテ益々其ノ聲價ヲ高フセシメ因テ以テ其ノ產額ヲ増進セシメ其ノ効能洵ニ顯著ナルモノアルヘ  
 シ地方應ハ宜シク當業者ヲ指導シ其ノ設立ヲ促シ以テ斯業ヲ改善シ國富ノ増進ヲ致スコトヲ努ムヘシ

明治三十九年十二月二十九日

農商務大臣 松岡 毅

蠶種業ニ關スル産業組合中購買組合ハ蠶種、種苗、肥料、農器具、蠶病消毒用器具又ハ藥品等ノ購入ニ  
 生産組合ハ蠶室蠶病消毒用器具、殺蛹若ハ乾繭裝置、蠶種若ハ繭貯藏裝置等ノ使用ニ又ハ繭ノ加工ニ販  
 賣組合ハ繭、蠶絲、蠶種等ノ販賣ニ(加工シテ販賣スル場合アリ)、信用組合ハ蠶種業ニ要スル資金ノ融通  
 及零碎ノ貯蓄ニ、購買組合若ハ販賣組合ト兼營シ必要ナル資金ノ融通ニ及生産組合ト兼營シテ貯  
 蓄金ノ利用ニ應用スルヲ得ヘシ其ノ何レノ組合ヲ設クヘキカノ問題ハ地方ノ事情及蠶絲家ノ業体ニ依リ  
 一律ヲ以テ論シ難シ依テ左ニ三種ノ場合ヲ想像シテ定款ヲ作レリ

- 一、養蠶ヲ爲シ産繭ヲ乾燥シ販賣セントスル養蠶家ノ設立スル購買生産販賣組合
- 二、生産シタル生絲ノ揚返シヲ爲シ東裝荷造ヲ爲シテ販賣セントスル製絲家ノ販賣組合
- 三、千五百人以上ノ組合員ヲ有シ總會ヲ設ケテ總會ニ代ユル場合ニ於テ販賣組合

有限責任、無限責任及保證責任ノ三種組織ノ適否ハ組合ノ種類、區域、組合員ノ資格、地方ノ事情等ニ

依リ一定セズ茲ニハ有限責任ノミヲ示セリ

有限責任何々購買生産販賣組合模範定款

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的ト爲ス
    - 一、産業ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
    - 二、産業ニ必要ナル物ヲ備ヘ之ヲ組合員ニ使用セシムルコト
    - 三、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル繭ヲ販賣スルコト
  - 第二條 本組合ハ有限責任何々購買生産販賣組合ト稱ス
  - 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
  - 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス
  - 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
  - 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ養蠶ヲ爲ス者ニ  
 限ル
  - 第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス
  - 第八條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
    - 一、出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
    - 二、準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
    - 三、特別積立金ニ對シテハ組合ヨリ購買シ並組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價格及組合ニ支拂ヒタ  
 ル使用料ノ額ヲ合算シタル金額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ案分シテ控



除シ持分ヲ算定ス  
組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第九條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス

第十一條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ミツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年七月迄ニ金貳圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ毎年七月三十一日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

第十三條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ忘リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十四條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金過怠金及第六十五條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ剩餘ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十六條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル剩餘ノ少ナクモ二分ノ一ハ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル備設費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

剩餘金ヨリ準備金、特別積立金ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ之ヲ配當金ト爲スモノトス

第十七條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十八條 本組合ニ理事三名監事二名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三、總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス



總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及監事ノ選任及解任定款ノ變更、除名、解散及合併ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第二十五條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十六條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作リ議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事ノ内一名ハ有給トシ其他ノ理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本組合ニ技術員何名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術上ノ事務ニ從事ス

第三十條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十一條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章 事業ノ執行

第三十二條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十三條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ルモノトス

第三十四條 理事ハ總會ノ承認ヲ經テ組合員ノ飼育スル蠶ノ名稱ヲ指定スルコトヲ得

第三十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

購買ノ部

第三十六條 本組合ニ於テ購買スル物品左ノ如シ  
一、肥料、種苗、農器具、蠶種蠶病消毒用藥品  
二、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十七條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非レサハ組合外ヨリ前條ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ス

第三十八條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應ジ第三十六條ノ物品ヲ便宜購買スルモノトス

第三十九條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第四十條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第四十一條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナシ之ヲ引取ルコトヲ要ス

第四十二條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六ヶ月ヲ超ヘサル期間中代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付何歩以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ附スルモノトス

第四十三條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

生産ノ部

第四十四條 本組合ニ備フル物件左ノ如シ  
一、蠶室、農器具、蠶病消毒用器具、蠶種貯藏裝置、殺蛹又ハ乾繭裝置、乾繭貯藏裝置、  
二、其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物



第四十五條 前條ニ掲ケタル物ノ使用ニ關スル手續ハ總會ノ決議ヲ以テ別ニ之ヲ定ム

第四十六條 組合員ハ組合ノ裝置ヲ使用シテ出資一口毎ニ一事業年度内生爾何貫迄ヲ殺蝟、乾燥シ及乾爾何貫迄ヲ貯藏スルコトヲ得

但裝置ニ餘裕ニアルトキハ此制限ニ依ラサルコトヲ得

第四十七條 組合員組合ニ備付タル物ヲ使用シタルトキハ總會ニ於テ定メタル場合ニ限り使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十八條 前條ノ使用料ハ使用ヲ終リタル後一箇月以内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

組合員前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ三ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

販賣ノ部

第四十九條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ乾爾トス但シ生爾ノ儘販賣スルコトアルヘシ

第五十條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第五十一條 組合員組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 組合員ハ其ノ賣却セントスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十三條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十四條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル日歩合金ヲ收納ス

第五十五條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十六條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサル物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十七條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第五章 剩餘金處分及損失填補

第五十八條 剩餘金ハ準備金及特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合ヨリ購買シ並組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額及組合ニ支拂ヒタル使用料ヲ合計シタル金額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十九條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第六十條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入金參拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第六十一條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サムトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及ヒ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス



第六十二條 組合員脱退セムトスルトキハ少クモ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十三條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第六十四條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ購買物品ノ代金若クハ使用料ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 組合ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ
- 三 組合ヨリ借受ケタル物ヲ他人ニ使用セシメ又ハ自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ヲ組合ニ對シ自己ノ生産物ナリト偽リタルトキ
- 四 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ
- 五 第三十七條又ハ第五十條ノ規定ニ違背シ物品ヲ購買又ハ販賣シタルトキ
- 六 組合ノ事業ヲ妨ケル所爲アリタルトキ
- 七 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六十五條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ已ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 組合ノ解散

第六十六條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附 則

第六十七條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|    |   |   |
|----|---|---|
| 理事 | 何 | 某 |
| 理事 | 何 | 某 |
| 理事 | 何 | 某 |
| 監事 | 何 | 某 |
| 監事 | 何 | 某 |

有限責任何々生絲販賣組合模範定款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル生糸及製糸ノ副産物ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス

第二條 本組合ハ有限責任何々生糸販賣組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村及何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ居住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ生糸製造ヲ爲ス者ニ限ル

第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス

第八條 本組合ノ存立時期ハ三十箇年トス

第九條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム



一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス  
 二 準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス  
 三 特別積立金ニ對シテハ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應スルモノトシ年度毎ニ之ヲ算定加算ス  
 組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ案分シテ控除シ持分ヲ算定ス  
 組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第十條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス  
 第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス  
 第十二條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年七月末及十一月末迄ニ各金壹圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス  
 第十三條 産業組合法第十五條第一項第一號第二號ノ事項ニ付テハ毎年十一月三十日迄ニ一回ニ取纏メヲ記載ヲ爲スモノトス  
 第十四條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス  
 第十五條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス  
 第十六條 加入金過怠金及第五十三條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス  
 第十七條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ特

別積立金ト爲スモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

第十八條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ又ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十九條 本組合ニ理事三名、監事二名ヲ置ク  
 理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第二十條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス  
 補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十一條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス  
 第二十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ



- 三 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ
- 第二十三條 總會ノ招集ハ少クモ五日前ニ書面ヲ以テ之ヲ組合員ニ通知スルコトヲ要ス  
前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス
- 第二十四條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス  
前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス  
理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更、除名、解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 第二十五條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得
- 第二十六條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス
- 第二十七條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス
- 第二十八條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム
- 第二十九條 理事ノ内一名ハ有給トシ其ノ他ノ理事及監事ハ名譽職トス  
理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ解任スルコトヲ得ス
- 第三十條 本組合ニ検査人何名ヲ置キ理事ノ合議ニ依リ組合長之ヲ任免ス  
検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ生糸ノ検査其他技術上ノ事務ニ從事ス
- 第三十一條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス  
書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第三十二條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四章 事業ノ執行

- 第三十三條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル
- 第三十四條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ生糸及製糸ノ副産物トス
- 第三十五條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス
- 第三十六條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス
- 品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム
- 第三十七條 本組合ニ生糸揚返器械ヲ備フ  
組合員ヨリ受取リタル生糸ハ前項ノ器械ヲ以テ揚返ヲ爲シタル後束裝荷造ヲ爲シ之ニ本組合ノ證券ヲ付スルモノトス
- 第三十八條 組合員ハ其ノ賣却セントスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス
- 第三十九條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム  
前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス
- 第四十條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス
- 第四十一條 一ヶ月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ラス毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス  
假渡ヲ受タル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス
- 第四十二條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ



代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第四十三條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

第四十四條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剰餘金處分及損失填補

第四十六條 剰餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシテ之ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十八條 新ニ組合員タラムトスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入金貳拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サルトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメタルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十條 組合員脱退セムトスルトキハ少シトモ其事業年度末六箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十一條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相続人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相続人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サスシテ之ヲ被相続人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此ノ

場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第五十二條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス  
一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ  
二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ  
三 第三十五條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ  
四 組合ノ事業ヲ妨タル所爲アリタルトキ  
五 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十三條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治產其ノ他總會ニ於テ止ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

除名若ハ轉任ノ爲メ又ハ死亡ノ爲メ脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム此ノ場合ニ於ケル轉任又ハ死亡ノ爲メ脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込済出資額及前年度末ニ於タル準備金及特別積立金ニ對スル持分ヲ拂戻スモノトス但シ第五十一條ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラヌ

第七章 組合ノ解散  
第五十四條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人トナル

第八章 附 則

第五十五條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事 某某  
理事 某某  
理事 某某



理事 何何  
監事 何某

### 有限責任何々生絲販賣組合

(産業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ケルモノ) 模範定款

#### 第一章 總則

- 第一條 本組合ハ組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル生糸及製糸ノ副産物ヲ販賣スルヲ以テ目的ト爲ス
  - 第二條 本組合ハ有限責任何々生糸販賣組合ト稱ス
  - 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
  - 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村、何村及何村(何縣何郡何村同縣同郡何村)トス
  - 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
  - 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ居住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ生糸製造ヲ爲ス者ニ限ル
  - 第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス
  - 第八條 本組合ノ存立時期ハ三十箇年トス
  - 第九條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
    - 一 出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
    - 二 準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
    - 三 特別積立金ニ對シテハ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應スルモノトシ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ案分シテ控除シ持分ヲ算定ス
- 組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

#### 第二章 出資及準備金

- 第十條 出資一口ノ金額ハ金拾圓トス
- 第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金壹圓トス
- 第十二條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年七月末及十一月末迄各金壹圓以上ヲ拂込ムコトヲ要ス
- 第十三條 産業組合法第十五條第一項第一號第二號ノ事項ニ付テハ毎年十一月三十日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス
- 第十四條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一二當ル過怠金ヲ徴收ス
- 第十五條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス
- 第十六條 加入金過怠金及第六十一條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルモノトス
- 第十七條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配當スヘキ金額ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ特別積立金ト爲スモノトス
- 第十八條 特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總代會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得
- 第十九條 準備金及特別積立金ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總代會ノ承認ヲ經タル他方債證券ヲ買入レ又ハ總代會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

#### 第三章 組合ノ機關

第十九條 本組合ニ理事五名監事二名ヲ置ク



理事ハ組合長副組合長各一名ヲ互選ス

第二十條 組合長ハ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十一條 組合長ハ左ノ區分ニ從ヒ理事ヲ指定シテ組合ノ事務ヲ分掌セシム

一 物品ノ受入保管

二 物品ノ數量及品等ノ檢定

三 物品ノ販賣

四 會計及庶務

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十三條 辭任其他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ屬員ヲ生シタルトキハ通常總代會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總代會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總代會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但シ總代會ノ決議ニ依リ理事ノ一部ヲ有給ト爲スコトヲ得

第二十五條 本組合ハ產業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク

第二十六條 總代ノ員數ハ何人トシ左ノ選出區域内ニ於ケル組合員ニ於テ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ各一人ヲ互選ス

一 何村大字何

二 何 村

三 何町大字何

四 何

理事、監事及本組合ノ事務員ハ總代タルコトヲ得ス但シ世話掛ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十七條 總代ノ選舉ハ理事ノ指定シタル一人又ハ數人ノ組合員之ヲ管理シ組合員中ヨリ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第二十八條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第二十九條 總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

辭任其他ノ事由ニ依リ總代ニ屬員ヲ生シタルトキハ遲滯ナク補闕選舉ヲ爲スモノトス

第三十條 總代ハ其ノ選出區域内ニ於ケル組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條 總代會ハ通常總代會及臨時總代會ノ二種トス

通常總代會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ產業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

第三十二條 總代會ハ總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シテ請求シタルトキ

第三十三條 總代會ハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス



總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更及除名ノ決議ハ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條 總代會ノ議長ハ組合長又ハ副組合長之ニ當ル組合長副組合長共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席總代中ヨリ之ヲ互選スルコトヲ得

第三十五條 總代ハ二人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十六條 總代會ノ決議ハ理事之ヲ作リ議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十七條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十八條 解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サントスルトキハ總會ヲ招集ス總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス但シ其ノ決議ハ出席シタル組合員ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十九條 本組合ニ左ノ事務員ヲ置ク

一 検査人 何 名

二 書記 何 名

三 世話掛 何 名

事務員ハ組合長之ヲ任免ス但シ検査人ニ在リテハ理事ノ合議ヲ要ス

第四十條 検査人ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ數量及品等ノ檢定其ノ他技術上ノ事務ニ従事ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

世話掛ハ組合業務ノ執行上必要アル場合ニ總代選出區域毎ニ組合員中ヨリ一人又ハ數人ヲ選任シ其ノ區域内ノ事務ヲ掌ラシム

### 第四章 事業ノ執行

第四十一條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第四十二條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ生糸及製糸ノ副産物トス

第四十三條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セスシテ前條ノ物品ヲ販賣スルコトヲ得ス

第四十四條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總代會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第四十五條 本組合ニ生糸湯返器械ヲ備フ

組合員ヨリ受取リタル生糸ハ前項ノ器械ヲ以テ湯返ヲ爲シタル後東裝荷造ヲナシ之ニ本組合ノ證券ヲ付スルモノトス

第四十六條 組合員ハ其ノ賣却セムトスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第四十七條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十八條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總代會ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十九條 一箇月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラズ毎月末

各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハザリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ

代金中ヨリ先ヅ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十一條 物品受取後ノ危険ハ組合ノ負擔トス

百三



第五十二條 組合ニ餘裕金アルトキハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第五十三條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五十四條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツハキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其年度ニ於テ組合員ニ配付シタル物品代金ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第五十六條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年何月中ニ申込書ニ加入金貳拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第五十七條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サルトスルトキハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第五十八條 組合員脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六ヶ月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十九條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人

ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セズ

第六十條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込ヲ怠リ期限後一ヶ月以内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルマキ

三 第四十三條ノ規定ニ違背シテ物品ヲ賣却シタルトキ

四 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

五 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第六十一條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁

治産其他總代會ニ於テ止ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂

戻スモノトス

除名若ハ轉住ノ爲又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム

此ノ場合ニ於ケル轉住又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込出資額及前年度末ニ於ケル準備

金及特別積立金ニ對スル持分ヲ拂戻スモノトス但シ第五十九條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第七章 組合ノ解散

第六十二條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル

第八章 附 則

第六十三條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコトヲ左ノ如シ但第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 |
| 何  | 何  | 何  | 何  | 何  | 何  | 何  |
| 某  | 某  | 某  | 某  | 某  | 某  | 某  |



農商務省訓令第八號

道 廳 府 縣

家禽飼養ノ事業ハ農家ノ副業トシテ簡易ニ行ハレ且ツ其收益鮮少ニアラザルヲ以テ之ガ獎勵ニ就テハ曩ニ屢々訓示スル所アリ近頃飼養者ノ増加ヲ見ルニ至レルモ其ノ生産ハ未ダ需要ヲ充タスコト能ハズ概近海外ヨリ輸入スル鶏卵ノ價額一年壹萬圓ヲ超ヘ尙且漸次増加スルノ景況ヲ呈セリ本邦家禽業ノ萎靡振ハサル所以ヲ察スルニ在來禽種ハ劣等ニシテ採卵用又ハ肉用トシテ不適當ナルト飼養管理方法ノ宜シカラサルトニ依リ且飼養者ガ其ノ生産物ヲ適當ノ價格ヲ以テ販賣スルノ難キニ職由セサルハナシ故ニ斯業ノ發達ヲ企圖セムニハ之ニ從事スルモノヲシテ販賣組合ヲ設立セシメ共同シテ其ノ生産物ヲ市場又ハ消費者ニ販賣セシメハ仲介者ニ利益ヲ齎斷セラル、弊無ク能ク各自ノ利益ヲ増進スルコトヲ得ム加之尙斯業ニ關シ信用組合購買組合生産組合ヲ設立セシメバ資金ノ融通餘財ノ貯蓄家禽及飼料ノ購買機械ノ使用等ニ利便ヲ得テ斯業ハ堅實ニ農家ノ副業ト爲ヌコトヲ得ベシ

往年家禽ノ改良及其飼養獎勵ノ唱導セラル、ヤ鶏一羽數拾圓卵一顆數圓ノ高價ヲ以テ賣買スルモノアルニ至リ却テ家禽業ノ發達ヲ沮害セリ今ヤ農商務省ハ海外ヨリ禽種ヲ輸入シ之ヲ蕃殖シテ漸次一般希望者ニ頒タムトス抑々家禽ノ貴ブベキハ實益的ナルニ在リ決シテ種類ノ珍奇ニ非ヌ又姿體ノ美ト羽毛ノ麗トニ非ズ要スルニ其ノ純粹種ナルト雜種ナルトヲ問ハズ卵ノ多産ト肉ノ豐饒トニ在ルナリ宜シク家禽業ニ關スル産業組合ノ設立ヲ獎勵スルニ際シ家禽飼養ノ目的ヲ怠ル勿カラシメ家禽業者ヲシテ既往ノ惡轍ヲ履マズ健全ナル發達ヲ遂ケシムルコトヲ期スベシ

明治四十年四月二十九日

農商務大臣 松岡康毅

有限責任何々家禽購買販賣組合模範定款

(明治四十年四月二十九日官報)

第一章 總 則

- 第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的ト爲ス
    - 一、種禽種卵及養禽ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト
    - 二、組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル家禽卵及養禽副産物ヲ販賣スルコト
  - 第二條 本組合ハ有限責任何々家禽購買販賣組合ト稱ス
  - 第三條 本組合ノ組織ハ有限責任トス
  - 第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村何村及何村トス
  - 第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク
  - 第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住スル年齢十五歳以上ノ男子又ハ女子ニシテ養禽ヲ爲ス者ニ限ル
  - 第七條 組合員ハ本組合ト同一ノ目的ヲ有スル他ノ組合ニ加入スルコトヲ得ス
  - 第八條 組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
    - 一、出資額ニ相當スル財産ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
    - 二、準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
    - 三、特別積立金ニ對シテハ組合ヨリ購買シ及組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價格ヲ合計シタル金額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 組合ニ損失アリタル時ハ之ヲ填補シタル組合財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ案分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條第二項ニ依リ特別積立金ヲ設備費ノ償却又ハ臨時ノ支出ニ使用シタル場合ニ於テ亦同シ



組合財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資口數ニ應シ持分ヲ算定ス

第二章 出資及準備金

第九條 出資一口ノ金額ハ金五圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五拾錢トス

第十一條 第一回ノ拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年一月末及七月末迄ニ各金拾錢以上ヲ拂込ムコトヲ要ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テハ毎年七月三十一日迄ニ一回ニ取纏メテ記載ヲ爲スモノトス

第十三條 組合員其ノ出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十四條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ三分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金過怠金及第六十條ニ依リ一部ノ拂戻ヲ爲シタル持分ノ剩餘ハ之ヲ準備金ニ繰入ル、モノトス

第十六條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル剩餘ノ少ナクトモ二分ノ一ハ特別積立金トシテ之ヲ積立ツルモノトス

特別積立金ハ損失填補又ハ組合ノ事業ニ必要ナル設備費ノ償却ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ事業資金ノ融通其ノ他ニ之ヲ利用シ又ハ臨時ノ支出ニ之ヲ使用スルコトヲ得

剩餘金ヨリ準備金、特別積立金ヲ控除シテ尙殊餘アルトキハ之ヲ配當金ト爲スモノトス

第十七條 準備金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ總會ノ承認ヲ經タル地方債證券ヲ買入レ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス

第三章 組合ノ機關

第十八條 本組合ニ理事三名監事二名ヲ置シ

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期満了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ニ於テ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一月一回之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三、總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タザルト

キハ十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス



理事及監事ノ選任及解任、定款ノ變更除名解散及合併ノ決議ハ總組合員半數以上出席シタル四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

第二十四條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル但シ總會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席組合員中ヨリ之ヲ互選スルトコトヲ得

第二十五條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第二十六條 總會ノ決議ハ理事之ヲ作リ議長及監事之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事ノ内一名ハ有給トシ其他ノ理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ理由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本組合ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第三十條 理事ハ總會ノ決議ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十一條 本組合ニ世話掛何名ヲ置キ組合員中ヨリ之ヲ委嘱ス

世話掛ハ理事ノ指定ニ依リ組合業務ノ執行上必要ナル事務ヲ掌ルモノトス

第四章 事業ノ執行

第三十二條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マテ十二月三十一日ニ終ル

第三十三條 組合ニ餘裕金アルトキハ總會ノ承諾ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十四條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

購買ノ部

第三十五條 本組合ニ於テ購買スル物品左ノ如シ

一 種禽、種卵

二 孵卵及育雛用器具器械、飼禽用器具器械

三 飼料、藥品

四 其他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十六條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合外ヨリ前條ノ物品ヲ購買スルコトヲ得ス

第三十七條 理事ハ組合員ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應シ第三十五條ノ物品ヲ便宜購買スル者トス

第三十八條 組合員ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第三十九條 理事ハ必要アルトキハ時期ヲ指定シテ組合員ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第四十條 組合員組合ヨリ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

第四十一條 組合員ハ物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ六ヶ月ヲ超ヘサル期間代金支拂ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ附スルモノトス

第四十二條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシムルコトヲ得

販賣ノ部

第四十三條 本組合ニ於テ販賣スル物品ハ家禽、卵、羽毛及糞トス

第四十四條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ組合ニ委託セシメテ前條ノ物品ヲ販賣スル事ヲ得ス

第四十五條 理事ハ組合員カ物品ヲ組合ニ差出スヘキ時期ヲ指定スルコトヲ得



第四十六條 組合カ組合員ヨリ物品ヲ受取リタルトキハ其ノ數量及品等ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス

前項ノ査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

受取物品中品等不良ナルモノハ之ヲ組合員ニ返付スルコトヲ得

第四十七條 組合員ハ其ノ賣却セントスル物品ニ付代價又ハ賣却ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第四十八條 組合員ハ組合ニ物品ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付何錢以内ニ於テ理事ノ定メタル日歩ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十九條 本組合ハ組合員ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ定メタル歩合金ヲ收納ス

第五十條 販賣シタル物品ノ代金ハ組合ニ於テ現金ヲ受取リタルト否トニ拘ハラヌ毎年六月末及十二月末ノ二期ニ分チ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物品ノ數量ニ應シテ之ヲ配分スルモノトス

假渡ヲ受ケタル組合員ニ付テハ前項ノ場合ニ於テ差引計算ヲ爲スモノトス

第五十一條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハサリシ物品ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第五十二條 物品受取後ノ危險ハ組合ノ負擔トス

第五十三章 剩餘金處分及損失填補

第五十三條 剩餘金ハ準備金及特別積立金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ組合員ニ配當スルコトヲ得ス

前項ノ配當ハ其ノ年度ニ於テ組合ヨリ購買シ及組合ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額ヲ合計シタル金額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス

第五十四條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第五十五條 新ニ組合員タラントスル者ハ毎年十二月中ニ申込書ニ加入金貳拾錢ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載ヲ爲スコトヲ要ス

第五十六條 組合員其ノ持分ヲ讓渡サルトスルトキハ理事ノ承諾ヲ要ス

持分ノ讓受人組合員ニ非サル者ナルトキハ加入金及出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外前條ノ規定ヲ適用ス

第五十七條 組合員脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六ヶ月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十八條 死亡ニ依リ脱退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシメテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス此場合ニ於テハ加入金ヲ差出スコトヲ要セス

第五十九條 組合員左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一 出資ノ拂込又ハ購買物品ノ代金ノ支拂ヲ怠リ期限後一ヶ月以内ニ其義務ヲ履行セサルトキ

二 組合ヨリ購買シタル物品ヲ轉賣シタルトキ

三 自己ノ生産シタルモノニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ

四 第三十六條又ハ第四十四條ノ規定ニ違背シ物品ヲ購買又ハ販賣シタルトキ

五 組合ノ事業ヲ妨クル所爲アリタルトキ

六 犯罪其ノ他ノ所爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

百十三



第六十條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ニ止マルモノトス但シ死亡、禁治産其ノ他總會ニ於テ已ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

除名若ハ轉住ノ爲又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ拂戻スヘキ持分ハ脱退當時ノ財産ニ依リ之ヲ定ム此場合ニ於ケル轉住又ハ死亡ノ爲脱退シタル組合員ニ對シテハ拂込済出資額及前年度末ニ於ケル準備金及特別積立金ニ對スル持分ニ相當スル金額ヲ拂戻スモノトス但第五十八條ノ場合ニ於テハ此限ニアラス

第七章 組合ノ解散

第六十一條 本組合解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第六十二條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|     |   |
|-----|---|
| 理 事 | 何 |
| 理 事 | 何 |
| 理 事 | 何 |
| 監 事 | 何 |
| 監 事 | 何 |
| 某   | 某 |
| 某   | 某 |

有限責任何々信用組合聯合會定款

(農商務省調査明治四十三年三月十七日官報登載)

第一章 總 則

第一條 本會ハ所屬組合及所屬聯合會ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及時金ノ便宜ヲ得セシムルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ有限責任何々信用組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス

第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 所屬組合又ハ所屬聯合會ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スルモノニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ付所屬組合及所屬聯合會ノ有スル持分ハ其ノ拂込済出資額ニ應スルモノトス

第八條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ一事業年度ニ於ケル借入最高金額ヲ議決シタルトキハ遲滞ナク本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第九條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並ニ所屬組合又ハ所屬聯合會ノ區域理事及監事ノ氏名住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合又ハ所屬聯合會ハ毎月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第十條 出資一口ノ金額ハ金參百圓トス

第十一條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金參拾圓宛拂込ムモノトス

第十二條 出資ノ拂込ヲ忘リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當タル過意金ヲ徴收ス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金過意金第四十五條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス



第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲ス  
モノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若  
ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スル  
コトヲ得

第三章 機 關

第十八條 本會ニ理事五名監事三名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三ヶ年トシ監事ノ任期ハ一ヶ年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫ス  
ルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ  
二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告  
スル爲メ必要ト認メタルトキ

三、所屬組合及所屬聯合會ノ五分ノ一ヨリ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ  
總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合及所屬聯合會ニ通知スルコトヲ要ス  
前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合及所屬聯合會ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ  
之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合及所屬聯合會ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲ス  
コトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキ  
ハ理事ノ互選ニ依ル

第二十六條 總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得  
總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十七條 總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得  
決議ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十八條 理事ハ每事業年度ノ始及必要ト認ムル場合ニ於テ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ貸付クハキ最



高金額ヲ定メ信用程度表ヲ作成スルコトヲ要ス

信用程度表ハ理事之ヲ保管シ監事ノ外閲覧スルコトヲ得サルモノトス

第二十九條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 所屬組合又ハ所屬聯合會ニ對スル貸付ニ付テハ信用程度表ニ依リ其ノ信用ヲ査定シ貸付ク

ヘキ金額及其ノ方法ヲ定ムルモノトス

第三十三條 貸付金ノ辨濟期限ハ一ケ年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三ケ年内ニ於テ之

ヲ定ムルコトヲ得

第三十四條 貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第三十五條 本會ニ於テ取扱フ貯金ハ一回金五圓以上トス

貯金ハ預入ノ日ヨリ起算シ拂戻ノ前日迄ノ日數ヲ計算シテ利息ヲ附スルモノトス

貯金ノ利息ハ毎年六月末及十二月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ル、モノトス

第三十六條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一、貸付金ニ付テハ年九分以下

二、貯金ニ就テハ年七分五厘以下

第三十七條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第三十八條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補

第三十九條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第四十條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退

第四十一條 本會ニ加入セントスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲ケル書類ヲ添附シテ理事ニ差出

スコトヲ要ス

一、定款ノ謄本

二、最近ニ作成シタル貸借對照表

三、産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組

合及所屬聯合會名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十二條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十二條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスルモ

ノカ所屬組合又ハ所屬聯合會ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規

定ヲ準用ス

第四十三條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末六ケ月前ニ其旨

ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十四條 所屬組合又ハ所屬聯合會カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス



一、出資ノ拂込過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟又ハ利息ノ支拂ヲ怠リ期限後一ヶ月内ニ其義務ヲ履行セサルトキ

二、本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三、信用ヲ失ヒタルトキ

第四十五條 所屬組合又ハ所屬聯合會脫退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込濟出資額ニ止ムルモノトス

前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合又ハ聯合會ニ對スル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第四十六條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第四十七條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事 何  
理 事 何  
理 事 何  
理 事 何  
理 事 何  
理 事 何  
監 事 何  
監 事 何

某 某 某 某 某 某 某 某

保證責任何々販賣組合聯合會定款  
（農商務省調査明治四十三年三月十八日官報登載）

第一章 總 則

第一條 本會ハ所屬組合ノ委託ヲ受ケ其賣却スル物ヲ賣却スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ保證責任何々販賣組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス

第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何町何番地ニ置ク

第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スル販賣組合又ハ販賣組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ對スル所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二 準備金ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三 特別積立金ニ對シテハ其年度ニ於テ本會ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價格ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

四 其他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シテ之ヲ算定ス

五 本會ニ損失アリ其未タ填補ヲ爲サ、ル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ

控除シ其特別積立金ヲ以テ足ラサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル本會財産ノ科目ニ對スル前年度末ニ於ケル持分ニ按分シテ

控除シ持分ヲ算定ス第十六條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ

本會財産カ出資額ヨリ減少シタルキトハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第八條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並ニ所屬組合ノ區域、理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス



第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金貳百圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金五拾圓ツ、拂込ムモノトス

第十一條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十二條 産業組合法第十五條第一號及第二號ノ事項ニ就テ爲スヘキ産業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取纏メテ其後二週間内ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金、過怠金、第五十四條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若ハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第十八條 本會ニ理事三名監事二名ヲ置ク理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期満了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲メ必要ト認メタルトキ

三 所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ召集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ召集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲メ理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ



届出ツルコトヲ要ス其代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アル時ハ理事ノ互選ニ依リ第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當タル其多數ナル場合ニ於テハ其互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及數量ノ査定其ノ他技術ニ關スル事務ニ従事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ米及麥トス但シ總會ノ決議ニ依リ他ノ農産物ヲ取扱フコトヲ得

第三十三條 所屬組合ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ本會ニ委託セズシテ本會ニ於テ取扱フ物品ヲ賣却スルコトヲ得ス

第三十四條 理事ハ所屬組合ノ取扱物品ニ付報告ヲ徴シ又ハ事業執行上必要ナル場合ニ於テ所屬組合ノ書類帳簿ノ閲覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 所屬組合ヨリ物品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ理事ハ技術員ヲシテ其品等及數量ヲ査定セシメ之ヲ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

品等査定ノ標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第三十六條 所屬組合ハ委託シタル物品賣却ノ代價又ハ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第三十七條 所屬組合カ本會ニ物品ヲ引渡シタルトキハ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其額ハ物品時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ代金拂渡ノ時期迄百圓ニ付參錢以下ニ於テ理事ノ定メタル日步ヲ徴收ス

第三十八條 一個月中ニ販賣シタル物品ノ代金ハ買受人ヨリ之ヲ受取リタルト否トニ拘ハラヌ毎月末各品等ニ付之ヲ計算シ委託シタル物品ノ數量ニ應シ之ヲ各所屬組合ニ配分スルモノトス

假渡金ハ代金配分ノトキ差引計算ヲ爲スモノトス

第三十九條 物品受取當月中ニ賣却スルコト能ハザリシ物品ニ付テハ其後ニ賣却シタル同品等物品ノ代金中ヨリ先ツ其代金ヲ配分スルモノトス

第四十條 本會ハ所屬組合ニ拂渡スヘキ物品ノ代金ニ付總會ノ決議ニ依リ定メタル歩合金ヲ徴收ス

第四十一條 受取物品中組合ニ於テ調製、俵裝其他勞費ヲ加ヘタルトキハ別ニ手数料ヲ徴シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

前項ノ手数料ノ率ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第四十二條 本會ハ何々停車場附近ニ倉庫ヲ置ク

第四十三條 物品受取后ノ危險ハ本會ノ負擔トス



第四十四條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス  
第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第四十六條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス  
剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額及其年度ニ於テ本會ニ委託シテ販賣シタル物品ノ價額ニ應シテ之ヲ爲ス  
モノトス但シ拂込濟出資額ニ對スル配當ノ率ハ年五分以下トス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシテ次ニ準備金ヲ以テス

第四十八條 各所屬組合ノ保證金額ハ出資一口ニ付金貳百圓トス

第四十九條 本會ノ財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬組合間ニ於ケル損失分  
擔ノ割合ハ其保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第五十條 本會ニ加入セントスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲ケル書類ヲ添附シテ理事ニ差出  
ヌコトヲ要ス  
一 定款ノ謄本  
二 最近ニ作製シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代会ノ決議録ノ謄本  
申込書ニハ設立許可ノ年月日並ニ理事及監事ノ氏名住所ヲ附記スルコトヲ要ス  
理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合  
名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第五十一條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十一條 持分ヲ讓渡サントスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケントスル者  
カ所屬組合ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス

第五十二條 所屬組合カ脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末十ヶ月前ニ其旨ヲ理事ニ豫告スル  
コトヲ要ス

第五十三條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス  
一 出資ノ拂込又ハ過怠金ノ納付ヲ怠リ期限後一個月内ニ其義務ヲ履行セザルトキ  
二 組合員ノ生産シタル物ニ非サル物品ノ販賣ヲ委託シタルトキ  
三 第三十三條ノ規定ニ違反シタルトキ  
四 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ  
五 信用ヲ失ヒタルトキ

第五十四條 所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ニ止ムルモノトス  
前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其拂込濟出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解 散

第五十五條 本會解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第五十六條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事 何 某  
理 事 何 某  
監 事 何 某  
監 事 何 某



有限責任何々購買組合聯合會定款 (農商務省調査明治四十三年三月十九日官報登載)

第一章 總 則

第一條 本會ハ所屬組合ノ購買スル物ヲ購買シテ之ヲ所屬組合ニ賣却スルヲ以テ目的トス  
第二條 本會ハ有限責任何々購買組合聯合會ト稱ス  
第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス  
第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡何都及何郡ノ三郡トス  
第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク  
第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主ナル事務所ヲ有スル購買組合又ハ購買組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ對スル所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込濟出額累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三 特別積立金ニ對シテハ其年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル物品ノ價額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 四 其他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資累計額ニ應シ之ヲ算定ス
- 五 本會ニ損失アリ其未タ填補ヲ濟サ、ル前持分ヲ拂戻ストキハ特別積立金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ其特別積立金ヲ以テ足ラサルトキハ準備金ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス  
本會ニ損失アリタルトキハ之ヲ填補シタル本會財産ノ科目ニ對スル前年度額ニ於ケル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス第十六條ノ規定ニ依リ特別積立金ヲ臨時ノ支出ニ處分シタル場合亦同シ  
本會財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シテ持分ヲ算定ス

第八條 產業組合法第九條第一項第一號乃至第十號第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並ニ所屬組合ノ區域理事及監事ノ氏名、住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月末限リ取纏メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金貳百圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付キ金貳拾圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金貳拾圓宛拂込ムモノトス

第十一條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十二條 產業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲スヘキ產業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取纏メテ其後二週内ニ之ヲ爲スモノトス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十四條 加入金過怠金、第四十八條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サ、ル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議ニ依リ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ何々信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若クハ一個人ニ預入



レ又ハ之ヲ以テ國債證券若クハ地方債證券ヲ買入ルノ他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認  
ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

### 第三章 機關

第十八條 本會ニ理事三名監事二名ヲ置ク  
理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從テ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期マテ猶豫ス  
ルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議

決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ態アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告  
スル爲メ必要ト認メタルトキ

三 所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集  
ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ招集ハ少クモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ召集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲メ理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ  
届出ツルコトヲ要ス其代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當タル會長事故アルトキ  
ハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ召集シタル監事之ニ當タル其多數ナル場  
合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ取扱物品ノ品等及數量ノ査定其ノ他技術ニ關スル事務ニ從事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

百卅一



第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル  
第三十二條 本會ニ於テ取扱フ物品左ノ如シ

- 一 肥料、種苗及農具
- 二 米、麥及食糧
- 三 其他總會ノ決議ヲ經タル物品

第三十三條 前條ノ物品ハ理事ノ見込又ハ所屬組合ノ注文ニ依リ之ヲ購買スルモノトス

第三十四條 理事ハ所屬組合ノ取扱物品ニ付報告ヲ徴シ又ハ事業執行上必要ナル場合ニ於テ所屬組合ノ書類帳簿ノ閱覽ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 所屬組合ハ理事ノ承認ヲ經ルニ非サレハ本會ニ於テ取扱フ物品ヲ本會外ヨリ購買シ又ハ本會ヨリ購買シタル物品ヲ本組合員ニ非サル者ニ賣却スルコトヲ得ス

第三十六條 組合ニ賣却スル物品ノ代價ハ市場ノ小賣價額以下ニ於テ理事之ヲ定ム

第三十七條 理事必要ト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬組合ニ注文物品ノ見積代金ノ一部ノ前拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條 所屬組合カ物品引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス  
前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一週間内ニ引取リヲ爲サルトキハ物品購入代價ノ十分ノ一ニ當タル過

慮金ヲ徴收ス此場合ニ於テハ本會ニ於テ其買賣契約ノ解除ヲ爲スコトヲ妨ケス

第三十九條 所屬組合ハ物品受取ト同時ニ其代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ六個月ヲ超エサル期間代金支拂ノ延期ヲ許スコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ相當ノ利息ヲ徴收スルモノトス

第四十條 本會ノ溢餘金ハ何々信用組合聯合會又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ル、コトヲ得ス

第四十一條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分及損失填補  
第四十二條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス  
剩餘金ノ配當ハ拂込濟出資額及其年度ニ於テ本會ヨリ購買シタル物品ノ價額ニ應シテ之ヲ爲スモノトス但シ拂込濟出資額ニ對スル配當ノ率ハ年五分以下トス

第四十三條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第六章 加入及脱退  
第四十四條 本會ニ加入セントスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲タル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款ノ謄本  
二 最近ニ作成シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本  
申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十五條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十五條 持分ヲ讓渡サントスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓渡ントスルモノカ所屬組合ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス



第四十六條 所屬組合カ脱退セントスルトキハ少クトモ其事業年度末六個月前ニ其旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十七條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス  
一 出資ノ拂込過怠金ノ納付又ハ購買物品代金ノ支拂ヲ怠リ期限後一ヶ月内ニ其義務ヲ履行セザルトキ

二 第三十五條ノ規定ニ違反シタルトキ  
三 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ  
四 信用ヲ失ヒタルトキ

第四十八條 所屬組合カ脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其拂込済出資額ニ止ムルモノトス  
前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其拂込済出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解 散

第四十九條 本會解散シタルトキハ理事其清算人ト爲ル

第八章 附 則

第五十條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理 事 何  
理 事 何  
理 事 何  
監 事 何  
監 事 何  
某 某 某 某 某

保證責任何々生産組合聯合會定款

(農商務省調査  
明治四十三年三月二十四日官報登載)

第一章 總 則

第一條 本會ハ所屬組合カ其組合員ニ使用セシムル物ヲ所屬組合ニ貸付スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ保證責任何々生産組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス

第四條 本會ノ區域ハ何縣何郡何郡及何郡ノ三郡トス

第五條 本會ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 所屬組合ハ本會ノ區域内ニ主タル事務所ヲ有スル生産組合又ハ生産組合ノ事業ヲ兼營スル組合ニ限ル

第七條 本會ノ財産ニ付所屬組合ノ有スル持分ハ其拂込済出資額ニ應スルモノトス

第八條 産業組合法第九條第一項第一號乃至第十號第十二號及同法第十五條第一項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項並所屬組合ノ區域理事及監事ノ氏名住所ニ變更アリタルトキハ所屬組合ハ毎月末限リ取極メ本會ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金參百圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金百圓トス第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付毎年二月末迄ニ金五拾圓宛拂込ムモノトス

第十一條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其拂込ムヘキ金額ノ二百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス

第十二條 産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ニ付テ爲ヌヘキ産業組合聯合會原簿ノ記載ノ變更ハ毎年十二月三十一日ニ之ヲ取極メテ其後二週間内ニ之ヲ爲ヌモノトス

第十三條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツ



ルモノトス、

第十四條 加入金、過意金、第四十六條ノ規定ニ依リ拂戻ヲ爲シタル持分ノ殘額及拂戻ヲ爲サル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス

第十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ配當金又ハ特別積立金ト爲スモノトス

第十六條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十七條 準備金及特別積立金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行若クハ一個人ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券若クハ地方債證券ヲ買入ル、ノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第十八條 本會ニ理事三名監事二名ヲ置ク

理事ハ會長一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其代理者一名ヲ定ム

第十九條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但再選ヲ妨ケス

會長ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會開會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十一條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、理事カ必要ト認メタルトキ

二、監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ不整ノ廉アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲メ必要ト認メタルトキ

三、所屬組合ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及其召集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請求シタルトキ

第二十二條 總會ノ召集ハ少クトモ七日前ニ書面ヲ以テ所屬組合ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ召集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十三條 所屬組合ハ本會ノ總會ニ出席セシムル爲理事ノ互選ニ依リ代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其代表者ニ變更アリタル場合亦同シ

第二十四條 總會ハ所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條 總會ノ議長ハ第二十一條第三項第二號ノ場合ヲ除クノ外會長之ニ當ル會長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

第二十一條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總會ヲ召集シタル監事之ニ當ル其多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第二十六條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス



第二十七條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第二十八條 理事及監事ハ名譽職トス

理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第二十九條 本會ニ技術員何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

技術員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ技術ニ關スル事務ニ從事ス

第三十條 本會ニ書記何名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第三十一條 本會ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十二條 本會ハ種畜孵卵器其ノ他總會ノ承認ヲ經タル物品ヲ備フルモノトス

第三十三條 所屬組合カ前條ノ物品ヲ借受ケ之ヲ組合員ニ使用セシムトスルトキハ借入ノ期日及期間ヲ申込書ニ記載シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ貸付ノ期日及期間ヲ定メ之ヲ組合ニ通知スルコトヲ要ス

第三十四條 所屬組合カ第三十二條ノ物品ヲ借受ケタルトキハ總會ニ於テ定メタル使用料ヲ支拂フコトヲ要ス

使用中物品ヲ損壞若ハ傷害シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定メタル辨償金ヲ差出スコトヲ要ス

第三十五條 前條ノ使用料ハ其使用ヲ終リタルトキ辨償金ハ理事カ辨償ノ請求ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ二週間内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

前項ノ支拂ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ支拂フヘキ金額ノ千分ノ二ニ當タル過怠金ヲ徴收ス

第三十六條 本會ノ餘裕金ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行又ハ一個人ノ外他ニ之ヲ預入ルコトヲ得ス

第三十七條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第三十八條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込濟資額ニ應シ其ノ率ハ年五分以下トス

第三十九條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十條 各所屬組合ノ保證金額ハ出資一口ニ付金參百圓トス

第四十一條 本會ノ財産ヲ以テ其債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第四十二條 本會ニ加入セントスルトキハ申込書ニ加入金貳圓及左ニ掲クル書類ヲ添附シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一、定款ノ謄本

二、最近ニ作成シタル貸借對照表

三、産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名住所ヲ附記スルコトヲ要ス

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ効力ハ第四十三條ノ場合ヲ除ケノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第四十三條 持分ヲ讓渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受クムトスルモノカ所屬組合ニ非ザルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外前條第一項乃至第三項ノ規定ヲ準用ス



第四十四條 所屬組合カ脱退セムトスルトキハ少クトモ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第四十五條 所屬組合カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

一、出資ノ拂込過怠金ノ納付、使用料又ハ第三十四條第二項ノ辦償金ノ支拂ヲ怠リ期限後一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二、借受物品ヲ組合員外ノ者ニ轉貸又ハ使用セシメタルトキ

三、借受物品ノ返還ヲ怠リタルトキ

四、本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

五、信用ヲ失ヒタルトキ

第四十六條 所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ニ止ムルモノトス前條ノ規定ニ依リ除名セラレタル組合ニ對スル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ノ半額ニ止ム

第七章 解 散

第四十七條 本會解散シタルトキハ理事其清算人トナル

第八章 附 則

第四十八條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

|    |   |   |
|----|---|---|
| 理事 | 何 | 某 |
| 理事 | 何 | 某 |
| 理事 | 何 | 某 |
| 監事 | 何 | 某 |
| 監事 | 何 | 某 |

訓 令 及 通 牒

内訓第八號

産業組合及産業組合聯合會取扱手續左ノ通り定ム

右内訓ス

明治四十二年十二月十三日

各 郡 市 長 宛

福 島 縣 知 事

産業組合及産業組合聯合會取扱手續

第一條 産業組合又ハ産業組合聯合會ヲ設立セントスルモノアルトキハ定款ニ通テ添へ申請セシムヘシ前項ノ場合ニ於テ信用組合ノ區域カ二市町村以上ニ涉リ又ハ聯合會ノ區域カ二道府縣以上ニ涉リタルトキハ若クハ事業年度カ曆年ニ依ラサルトキハ其事由ヲ具申セシムヘシ

第二條 出資一口ノ金額五拾圓ヲ超ユルカ又ハ聯合會ノ出資一口ノ金額五百圓ヲ超ユル組合ノ設立ノ申請アルトキハ其必要ナル事由ヲ詳記セシメ且意見ヲ具申スヘシ

第三條 既設組合又ハ聯合會ニシテ前項ニ該當スル定款ノ變更ノ認可ヲ申請スルモノアルトキ亦同シ

第四條 聯合會設立ノ申請アルトキハ別記第一號ニ列記シタル事項ニ關スル調査書ヲ添へ意見ヲ具申スヘシ

第五條 産業組合臺帳及産業組合聯合會臺帳ヲ備へ別記第二號ニ列記シタル事項ヲ記載スヘシ

第六條 組合又ハ聯合會ニシテ成績佳良ナルモノ又ハ事業經營上困難ニ陥リタルモノト認メタルモノアルトキハ別記第三號ノ事項ヲ隨時報告スヘシ

第六條 解散ノ届出ヲ受ケタルトキ又ハ事業ヲ休止シタルモノアルトキハ其事由ヲ具シテ進達シ又ハ其



狀況ヲ報告スヘシ

第七條二組合ヨリ提出シタル事業報告書貸借對照表財産目錄剩餘金處分案等ノ書類ヲ受理シタルトキハ各組合毎ニ別記第四號様式ニ準シ其成績ヲ摘錄シタル後之ヲ進達スヘシ

附 則

明治三十三年七月二十三日訓第一五五號三十六年一月六日訓秘第一號三十八年十二月四日內訓第一〇號同年十二月四日付發商第二二八號產業組合臺帳ニ關スル通牒ハ本令公布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第一號

一各聯合會ニ通スル事項

- (イ) 聯合會設立ノ必要ニ關スル事情
- (ロ) 事業實行ノ方法其他事業ニ關スル計劃ノ概要及將來ノ見込並事業上特ニ便宜ヲ得若クハ障害ト爲ルヘキ事情アレハ其事情
- (ハ) 區域内ニ於テ加入ノ資格アル組合又ハ聯合會及設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會ノ種類ノ數並加入ノ見込ナキ組合又ハ聯合會アレハ其種類別數及其事情
- (ニ) 設立當時ノ理事監事タルヘキ者ノ性行及社會上ニ於ケル地位並經歷ノ概要
- 二、信用組合聯合會ニ關スル特別事項
  - (イ) 設立當初ニ於ケル加入スヘキ組合又ハ聯合會カ最近三ケ年間ニ於テ爲シタル毎年度ノ借入金ノ總額並借入ヲナシタル組合又ハ聯合會ノ數
  - (ロ) 設立當初ニ於テ加入スヘキ組合又ハ聯合會ノ最近三ケ年間ニ於ケル毎年度末ニ於ケル預金ノ總額又ハ有價證券ノ價額並預金又ハ有價證券ヲ有スル組合又ハ聯合會ノ數
- 三、購買組合聯合會ニ關スル特別事項

設立當初ニ於テ加入スヘキ組合カ聯合會ノ取扱フヘキ重ナル物品ニ付最近三ケ年間ニ於テ購買シタル物品ノ各年度ニ於ケル種目別ノ價額又ハ數量

販賣組合聯合會ニ關スル特別事項

設立當初ニ於テ加入スヘキ組合カ聯合會ノ販賣スヘキ重ナル物品ニ付最近三ケ年間ニ於テ販賣シタル物品ノ各年度ニ於ケル種目別ノ價額又ハ數量

第二號

- 一、名稱
- 二、組織
- 三、區域
- 四、事務所
- 五、目的
- 六、設立許可年月日
- 七、出資一口ノ金額
- 八、出資拂込ノ方法
- 九、存立時期
- 十、事業年度
- 十一、解散ノ事由及解散ノ年月日
- 十二、理事監事ノ住所及氏名

(注意) 理事監事ノ住所氏名ヲ記載スヘキ帳簿ハ之ヲ別ニ作成スルヲ妨ケス

用紙ハ美濃判大ノ紙料ニ限ル

第三號

- 一、組合設立前ノ地方ノ狀況
- 二、設立ノ事情
- 三、設立以來ノ組合員ノ職業別ノ數出資拂込及組合財産ノ狀況
- 四、事業執行ノ方法並事業上特ニ便宜ヲ得若クハ障害トナリタル事情
- 五、事業ノ成績特ニ組合員ノ産業經濟及德義等ニ及ホセル效果並他ニ及ホセル影響
- 六、將來ノ計劃
- 七、事業經營上困難ニ陥リタル組合ニ付テハ第一號乃至第四號ノ事項ノ外困難ニ陥リタル原因並ニ復興ノ見込

第四號様式



一各種組合ニ通スル様式

何責任何々組合成績報告書

事務所 縣 郡 村 番地  
 年度 自何年何月至何年何月 何年度

百四十四

| 組合員及出資口數 |      | 組合員數 |      | 出資口數 |      |
|----------|------|------|------|------|------|
| 職業別      | 組合員數 | 職業別  | 組合員數 | 職業別  | 出資口數 |
| 農業       |      | 農業   |      | 農業   |      |
| 工業       |      | 工業   |      | 工業   |      |
| 商業       |      | 商業   |      | 商業   |      |
| 水産業      |      | 水産業  |      | 水産業  |      |
| 林業       |      | 林業   |      | 林業   |      |
| 雜業       |      | 雜業   |      | 雜業   |      |
| 計        |      | 計    |      | 計    |      |

備考欄ニ加入シタルモノノ數及職業別數ヲ  
 本欄中ニ附記スヘシ聯合會ニアリテハ組合員  
 數ノ欄ニハ組合員數又ハ聯合會ノ種類ニ組合  
 員數ノ欄ニハ組合員數又ハ聯合會ノ種類ニ記載  
 スヘシ

| 貸借對照表 |     | 貸借對照表 |     |
|-------|-----|-------|-----|
| 貸借    | 貸借  | 貸借    | 貸借  |
| 貸付金   | 借入金 | 貸付金   | 借入金 |
| 預金    | 預入金 | 預金    | 預入金 |
| 土地    | 土地  | 土地    | 土地  |
| 建物    | 建物  | 建物    | 建物  |
| 什器    | 什器  | 什器    | 什器  |
| 現金    | 現金  | 現金    | 現金  |
| 計     | 計   | 計     | 計   |

| 損益計算  |        | 損益計算  |        |
|-------|--------|-------|--------|
| 損     | 益      | 損     | 益      |
| 貸付金利息 | 雜收入    | 貸付金利息 | 雜收入    |
| 預金利息  | 國債證券利息 | 預金利息  | 國債證券利息 |
| 土地收入  | 雜收入    | 土地收入  | 雜收入    |
| 借入金利息 | 雜收入    | 借入金利息 | 雜收入    |
| 諸給料   | 雜收入    | 諸給料   | 雜收入    |
| 旅費    | 雜收入    | 旅費    | 雜收入    |
| 通信費   | 雜收入    | 通信費   | 雜收入    |
| 雜費    | 雜收入    | 雜費    | 雜收入    |
| 計     | 計      | 計     | 計      |

本年度ノ借入金額ニ付テハ其元本ハ其利率ノ種類  
 ニ從ヒ其欄中ニ記載スヘシ

二信用組合ニ關スル様式 (信用組合ニ付テハ「二」ノ様式ニ依リ作成シタルモノノ  
 外本様式ニ依リ作成シタルモノヲ差出スヘシ)

| 貸付金及其償還 |    | 貸付金及其償還 |    |
|---------|----|---------|----|
| 別區      | 金額 | 別區      | 金額 |
| 有擔保     |    | 有擔保     |    |
| 無擔保     |    | 無擔保     |    |
| 計       |    | 計       |    |

(注意) 物上擔保付貸付ニ非サルモノハ無擔保貸付中ニ算入スヘシ  
 貸付ノ目的擔保ノ種類ヲ本欄ニ附記スヘシ

| 貯蓄     |       | 貯蓄     |       |
|--------|-------|--------|-------|
| 前年度末現在 | 本年度受入 | 前年度末現在 | 本年度受入 |
| 金額     | 金額    | 金額     | 金額    |
| 人員     | 人員    | 人員     | 人員    |
| 計      | 計     | 計      | 計     |

| 利率     |        | 利率     |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 前年度末現在 | 本年度受入  | 前年度末現在 | 本年度受入  |
| 年歩又ハ日歩 | 年歩又ハ日歩 | 年歩又ハ日歩 | 年歩又ハ日歩 |
| 計      | 計      | 計      | 計      |

| 約者ノ貯蓄  |       | 約者ノ貯蓄  |       |
|--------|-------|--------|-------|
| 前年度末現在 | 本年度受入 | 前年度末現在 | 本年度受入 |
| 金額     | 金額    | 金額     | 金額    |
| 人員     | 人員    | 人員     | 人員    |
| 計      | 計     | 計      | 計     |

百四十五



三、販賣組合ニ關スル様式(販賣組合ニ付テハ「」ノ様式ニ依リ作成シタルモノ、外本様式ニ依リ作成シタルモノヲ差出スヘシ)

| 種目                                | 前年度末現在 |    | 本年度受入高 |    | 本年度販賣高 |    | 本年度末現在高 |    |
|-----------------------------------|--------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
|                                   | 數量     | 價額 | 數量     | 價額 | 數量     | 價額 | 數量      | 價額 |
| 計                                 |        |    |        |    |        |    |         |    |
| 加工ヲナシタル場合ニ於テハ生産組合ノ例ニ準シ本欄中ニ相當附記スヘシ |        |    |        |    |        |    |         |    |

加工ヲナシタル場合ニ於テハ生産組合ノ例ニ準シ本欄中ニ相當附記スヘシ

四、購買組合ニ關スル様式(購買組合ニ付テハ「」ノ様式ニ依リ作成シタルモノ、外本様式ニ依リ作成シタルモノヲ差出スヘシ)

| 種目          | 前年度末現在 |    | 本年度購買高 |    | 本年度賣却高 |    | 本年度末現在高 |    |
|-------------|--------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
|             | 數量     | 價額 | 數量     | 價額 | 數量     | 價額 | 數量      | 價額 |
| 備考          |        |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ物ルタシ却買ハ又買購 |        |    |        |    |        |    |         |    |
| 額價ハ又量數ノ別自   |        |    |        |    |        |    |         |    |

五、生産組合ニ關スル様式(生産組合ニ付テハ「」ノ様式ニ依リ作成シタルモノ、外本様式ニ依リ作成シタルモノヲ差出スヘシ)

| 種目     | 前年度末現在高 |    | 本年度委託高 |    | 本年度加工高 |    | 本年度末現在高 |    |
|--------|---------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
|        | 數量      | 價額 | 數量     | 價額 | 數量     | 價額 | 數量      | 價額 |
| 備考     |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又量數ノ使用 |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 程功ノ用使  |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 用      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 使      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 工      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 加      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 生産     |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 加      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 工      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 若      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| モ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 價      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 額      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 物      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ル      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| タ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| シ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 買      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 購      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 別      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 自      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ノ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 量      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 數      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| ハ      |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 又      |         |    |        |    |        |    |         |    |



金ヲ爲メガ如キ前途ニ支障ヲ來スノ憂アルモノ或ハ主タル目的ノ事業ヲ遂行セサルモノモ有之候ニ付爾今既設組合ニ對シテハ是レカ監督ヲ嚴行セラルト同時ニ組合ヨリ提出スル毎年度事業報告書貸借對照表財產目錄其他ノ書類ニ就キテハ調査ヲ遂ケラレ候上御進達可相成ハ勿論組合ノ設置認可申請ニ對シテハ果シテ法律ニヨリ保護ヲ受クルノ必要アリヤ其他左記各項ニ對スル貴官ノ意見ヲ具シ御進達有之度承旨此段及通牒候也

明治卅六年二月廿一日

各郡市長宛

內務部長

- 一、組合ノ設置ハ新設ナリヤ若シ或ハ既設團體ノ組織ノ變更ナリトセバ其成績
- 二、豫定地區內組合員タルヘキモノ、員數其職業資產ノ程度購買又ハ販賣スヘキ貨物ノ數量並ニ價格
- 三、信用組合ニアリテハ資金使用ノ概目地區內ノ金融利率並ニ設立者ノ信用及資産
- 四、生産組合又ハ生産購買販賣等ノ兼業組合ニアリテハ生産物ノ種目別ノ數量價格並ニ加工又ハ使用料其他組合ノ收支計算書ヲ添付セシムヘキコト
- 五、其他組合ノ設置ヲ必要トスル理由

農第一一四一號

今般産業組合員名簿記載事項ノ變更登記ニ付登録稅ヲ要スルヤ否ヤニ關シ別紙ノ通り司法省ト往復致候參考迄及通牒候也

明治三十五年十二月二十三日

農商務省農務局長

農第一〇八六號

産業組合員名簿ノ登記ニ關シ別紙寫ノ通り長野縣知事ヨリ照會有之候處右名簿ニ關スル一切ノ登記ニ付テハ産業組合法第六條第二項但書ニ依リ當然登録稅ヲ免除セラル、モノト被存候條事實御取調ノ上可然

御取計相成候様致度此段及照會候也

明治三十五年十一月四日

農商務總務長官 安廣伴 一郎

司法省總務長官波多野敬直

甲四第八四號

産業組合員名簿記載ニ關シテハ産業組合法第六條第二項ニ依リ同法第十五條第二項各號ノ變更又ハ組合員加入脱退ノ場合ニ於ル組合員名簿記載ノ變更ト雖登録稅ヲ課セサルハ勿論ノ義ト存候然ルニ長野地方裁判所ニ於テハ司法省令第二十九號産業組合登記取扱手續第十條第十二條第二項ノ場合ハ登録稅ヲ要スル越キテ以テ現ニ登録稅ヲ徵シツ、アリ右ノ如ク登記取扱手續ヨリ登録稅ヲ課セラル、ニ於テハ各組合ハ頗フル困難ヲ感シ産業組合ノ消長ニ偉大ノ關係ヲ及ボス機被存候俟右ニ對スル御意見承知致シ度果シテ前段ノ如ク組合員名簿記載ノ變更ノ場合ト雖モ登録稅ヲ要セサル義ニ候ハ、其筋へ御交渉相成度差掛候義モ有之候ニ付至急御回答相成度此段及照會候也

明治三十五年十月二十五日

長野縣知事

農務局長 宛

司法省刑第一〇五二號

本年一月四日農發第壹〇三八六號ヲ以テ産業組合員名簿ノ登記ニ關スル件ニ付御照會ノ越了承右ハ御意見ノ通りニ被存候ニ付其旨長野地方裁判所長へ通牒致置候此段及回答候也

明治三十五年十二月三日

司法省總務長官 波多野 敬直

農商務總務長官安廣伴 一郎 殿

受第一〇二二號

一月二十七日商發第壹九四號ヲ以テ産業組合模範定款獨立ノ生計ニ付御照會之趣了承右ハ戶主ト家



族タルトヲ問ハヌ又同居ト別居トヲ問ハヌ自己ノ收支ヲ以テ生計ヲ營ムモノヲ意味スル義ニ有之候條右様御承知相成度此段及回答候也

明治三十六年二月六日

福島縣知事有田義賢殿

農商務省農務局長 和田彦次郎

一月廿六日付商第一三八號ヲ以テ産業組合財産目録ノ様式ニ關シ御照會ノ趣了承右財産目録作成ノ要ハ組合財産ノ現狀ヲ明ニスルニ在リテ動産不動産債權債務其他一切ノ財産ヲ記載スヘキモノニ有之(商法第二十六條第一項參照)隨テ簿記法ニ基キタル貸借對照表中ノ貸方ヲ直ニ財産目録トスルハ其趣旨ヲ誤ルモノニ有之候條右様御了知相成度此段及回答候也

明治三十六年二月九日

農商務省農務局長

登第六五九號

産業組合事務取扱上必要有之候ニ付向後産業組合設立許可報告相我候際ハ設立者ノ職業別(農工商鐵水産林業等)數御調査ノ上共ニ報告相成候條致度此段及通牒候也

明治三十七年十月四日

農商務省農務局長 農學博士 酒匂常明

農發第一〇九號

本年勅令第二百一號ヲ以テ政府ニ於テ産業組合ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ爲ヌ時ハ隨意契約ニ依ルヲ得ルコト、定メラレ候處右勅令ハ政府カ物品購入ノ上可成生産者ト接近シ正當ノ價格ト少キ手數トニ依リ適良ノ物品ヲ得ルヲ以テ直接ノ目的ト爲ヌハ勿論ニ候ヘ共一方ニ於テハ産業組合ノ發達ニ資スル所以ノ有カナル方法ニ有之候之ニ就テハ切實ニ販賣組合或ハ生産販賣組合等ノ設立經營ヲ督勵シ以テ生産者ノ利益ヲ保護シ産業ノ進歩ヲ圖ルト共ニ奸誦者ノ之ヲ惡用スルコトナキ權防禦ヲ加フルコト必要ニ有之殊ニ組合ヨリ供給スル物品ノ品質分量價格納期等政府ノ期待スル所ニ協ハサルニ於テハ勅令ノ精神ヲ貫徹ス

ル能ハサル義ニ候間御注意相成度右依命此段及通牒候也

明治三十八年九月二十七日

農商務次官 和田彦次郎

明治三十七年十一月二十六日

內務部 長

各郡市長宛

商第三四八號

産業組合設立請可申請書御進達ノ際ハ設立者各自ノ職業ヲモ取調添申相成候條三十六年二月二十一日內農一六〇五號ヲ以テ通牒致置候處往々詳細ナル取調ヲ缺キ候向有之處理上差支候ニ付今後設立者ヲシテ必ズ其ノ職業ヲ明記セシメラレ度此段及通牒候也

收商第二七一七號

明治三十九年十月十五日

第三部 長

各郡市長宛

各種産業組合ヨリ提出スル毎年度事業報告書剩餘金處分貸借對照表財産目録中從來不備ノ廉多ク常ニ數次ノ照復ヲ重ネ候次第ニシテ事務整理上不便不尠候ニ付左ニ從來屢々照會ヲ要シタル不備ノ點列記候條御參照ノ上向後一層御注意相煩度尙報告書提出方遲延ノ向不尠候條併テ御注意相成度承旨此段及通牒候也

追テ貴官ニ於テ組合ノ監督ヲナシタル場合ハ事業報告書進達ノ場合ニ其年月日及其概況ヲモ附記相成候條致度候也

一、財産目録ニハ資産ニ屬スル分ノミナラス負債(償還ヲ要スルモノ例ハ貯金借入金、未支拂利子等ノ如ク)ニ屬スル分ヲモ掲記スヘキニモ拘ラヌ負債ニ屬スル分ノ記載漏ノモノアリ又各勘定科目ノ内容ノ説明ヲ缺クモノアリ



- 二、貸借對照表ニ記載セル金額ガ財産目録剩餘金處分及他ノ項中ニ記載セル金額ト一致セザルモノアリ
- 貸方及借方ノ合計カ内譯ト一致セザルモノアリ
- 三、貸付金及借入金ヲナシタルニモ拘ラズ總會ノ決議中産業組合法施行規則第九條ノ事項ニ付決議ヲ缺クモノアリ（施行規則第九條ノ事項ニ就テハ借入金及貸付金トモ現存金額アル場合ニハ其金額ヲ包含セシメタル最高金額ヲ定ムヘキガ故ニ其年度ニ於テ借入及貸付ヲナサザルトキト雖モ決議ヲナシ置クノ要アリ）
- 四、總會ノ決議中記載セラレタル産業組合法施行規則第九條ノ事項ニ付其金額ノ記載漏ノモノアリ
- 五、死亡シタル組合員ノ相續人ガ直ニ加入ヲ申込タルトキニ於テ持分ノ讓渡ノ法ニ依リテ處理シタルモノ即チ無限責任ノ組合ニアリテハ總會組合員ノ同意ヲ經スシテ單ニ總會ノ決議ヲ以テ之ガ承認ヲ與ヘタルモノアリ
- 六、信用組合ニアリテ貸付金ノ利率カ定款規定ノ制限利率ヲ超過スルモノアリ
- 七、販賣購買生産組合ニアリテ産業組合法施行規則第八條ノ事項ニ付記載漏若クハ數字ノ單位ニ付脱書ノモノアリ
- 八、剩餘金ノ處分方カ定款ニ違背スルモノ例ヘハ定款ニ何等ノ規定ナキニ不拘役員ノ報酬後期繰越等ニ處分セルモノアリ
- 九、剩餘金ヨリノ處分シタル準備金ノ額カ剩餘金ノ四分ノ一ニ充タサルモノアリ
- 十、剩餘金處分中直ニ剩餘金高ヲ記載シ總會金總損金ノ記載ヲ缺クモノアリ
- 十一、各項中ノ數字ニ付不突合ノモノアリ

發商第二八二號

明治三十九年十二月二十二日

各郡市長宛

肥料ノ共同購入ニ就テハ夫々御獎勵ノ事トハ存候得共農民ノ多數ハ品質ノ鑑定ニ暗キ爲ニ品質不良ナルモノヲ買込ムカ如キ遺憾不勸候ニ付爾後産業組合ニ限リ購入セムトスル肥料ノ成分量十貫ノ價格製造者ノ住所氏名ヲ記載セル願書ニ現品（凡二百目）ヲ添ヘテ之カ分拆ヲ願出候場合ニハ分拆ノ成績其他參考トナルヘキ事項ヲ通知可致候ニ付一般ニ周知セシメラレ度尙左記事項ノ如キハ御垂示御勸奨相成候様致度依命此段及通牒候也

追テ右ニ關スル運搬費ハ組合ノ負擔ニ付御了知相成度尙右購入時期ハ大抵一定致候ニ付自然分拆取込ノ場合モ有之ヘキニ付少クモ購入二十日前ニ申出候様御取計相成度併テ申進候也

- 一、成分購入ノ方法ヲ探ルコト
- 一、現品授受ノ場合ニハ量目ヲ檢スルコト

收商第一四七五號

明治四十年五月九日

第三部長

各郡市長宛

農商務省ニ於テ先年農務局調査ニ係ル信用組合、販賣組合、購買組合、生産組合ノ摸範定款ヲ公示相成近時更ニ蠶糸業家畜業ニ關スル摸範定款ヲ公示相成候ニ就テハ其應用上疑義ヲ生シ候向モ有之哉ニ候處右ハ定款ノ規定ニハ種々ノ方法アリ一率ヲ以テ利害ヲ論スヘカラザルカ故ニ特別ノ事業及場合ニ就テハ特別ノ例ヲ示サレタルニ外ナラズサレバ例ヘハ蠶糸業ニ關スル販賣組合ヲ超サムトセバ一般ニ新制定ノ定款ニ依ル方宜敷カラムト存候ヘ共亦先年公示ノ摸範定款ニ依ルヲ拒ム趣言ニハ無之又他業者ニシテ蠶糸業ノ摸範定款ニ準據スルヲ適當ト認ムルモノニアリテハ亦之ニ倣フテ制定スルハ固ヨリ差支無之要スルニ實際ノ狀況ニ依リ最適當ナルモノヲ探テ應用致候様希冀致候猶今後右ノ例ニ依リ他ノ摸範定款ヲ公示



相成タル場合モ有之候ハ、同様御承知相成度右其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之爲念此段及通牒候也

收商第二六五號

明治四十年十月十日

各 郡 市 長 宛

内 務 部 長

産業組合ノ設置ニ關シテハ御勸奨ノ結果漸次發達ノ機運ニ際會シ已ニ縣下各郡市ヲ通ジテ百十五ノ組合數ヲ見ルニ至リ候處是等組合ノ健全ナル發達ヲ遂ケシムルニハ一面ニ嚴密ナル監督ヲ要スルハ申ス迄モ無之是等ノ監督ニ關シテハ疑ニ申進候次第モ有之候如ク組合ヨリ提出スル書類ニ付充分ナル調査ヲ遂ケラル、ハ勿論尙貴職ニ於テ尠クモ毎年一回以上概要左記ノ各項ニ付御監督ノ上十日以内ニ其實況御報告相成度此段依命及通牒候也

産業組合監督事項

- (一) 組合員數及出資口數ノ異動並其事情
  - イ 法第四十九條第五十條等ニ抵觸セサルヤ
- (二) 出資拂込金額並ニ其狀況
  - イ 法第四十三條第四十五條第五十四條第五十五條第五十六條ニ抵觸セサルヤ
- (三) 積立金及借入金
  - イ 準備金特別積立金其他ノ積立金及其處分方法第四十五條第四十八條等ニ抵觸セサルヤ
  - ロ 借入先及其利率
- (四) 事業ノ實況
  - イ 事業カ目的通り執行サレアルヤ否ヤ
  - ロ 物品及金錢ノ出納カ確實ナルヤ否ヤ

- (ハ) 証憑書類ノ完備セルヤ否ヤ
- (ニ) 信用組合ニアリテハ信用程度表作成ノ有無及其信用査定ノ標準
- (ホ) 組合ノ事業カ地方産業經濟及民風等ニ及ホシタル影響
- (ヘ) 經營上困難ヲ感セル事情
- (ト) 其他必要ナル事項
- (五) 帳簿ノ設備
  - イ 各種ノ帳簿完備セルヤ否ヤ
  - ロ 記帳カ的確ナルヤ否ヤ
- (六) 登記事項ノ整否
  - イ 法第十三條第十四條第十五條等ニ抵觸セサルヤ否ヤ
- (七) 理事及監事職務執行ノ狀況
  - イ 理事ハ適法ニ職務ヲ執行シテ履行規則第八條等ニ抵觸セル行爲ナキヤ
  - ロ 監事ノ職務執行カ法第三十四條第三十五條等ニ抵觸セル行爲ナキヤ
- (八) 總會ノ招集及決議ノ適否
  - イ 招集及決議カ法第三十三條第三十八條第三十六條第三十七條第三十八條等其他定款等ニ抵觸セサルヤ
  - ロ 決議録ノ調製及其記載ノ事項ノ確否
- (九) 處務ノ狀況
  - イ 履行規則第十條第十二條第二十條等ニ依リ報告又ハ届出等カ遲滞ナク履行サレアルヤ否ヤ
  - ロ 法第二十九條第三十條第三十一條等ニ依リ事務所ニ備ヘ置ク書類及一般書類ノ編纂ト整理トノ實況
- (十) 一般財産ノ狀況



(イ)現金保管、預金等ノ貯況  
 (ロ)必要アルトキハ監査當時ノ貸借對照表ヲ作成セシムルコト  
 (ニ)組合事務取扱及事業經營上注意シタル事項  
 收商第一一二二號

明治四十年四月十七日

農工銀行 監理官

福島縣農工銀行頭取宛

産業組合ニ對スル資金貸出方ニ關シテハ二月二十日付發商第三九號ヲ以テ本縣第三部長ヨリ通牒相成居候次第モ有之候處今般農工銀行法改正セラレ有限責任及保證責任ノ産業組合ニ對シテモ無抵當貸付ヲナシ得ルコト、相成候ニ付テハ其貸付ニ際シテハ組合ノ基礎資力信用等ニ關シ最モ周密ナル調査ヲナシ其資力及信用ノ程度ヲ斟酌シ決シテ不相應ナル融通ヲナサ、ル様可致旨大藏省ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付テハ擬ニ通牒ノ趣旨ニ依リ本縣へ御打合相成候へ勿論貴行ニ於テモ特ニ御留意相成度此段及通牒候也住第五四六七號

今般農工銀行法改正セラレ有限責任及保證責任ノ産業組合ニ對シテモ無抵當貸付ヲ爲シ得ルコト、相成候ニ付テハ其貸付ニ際シ營業者ヲシテ組合ノ基礎資力信用等ニ關シ最モ周密ナル調査ヲナシムルハ勿論其資力信用ノ程度ヲ斟酌シ決シテ不相應ナル融通ヲナサシメサル様貴官ニ於テ充分御督勵相成度依命此段及御通牒候也

明治四十年四月十日

大藏省 理財局長

福島縣農工銀行監理官宛

發商第三九號

明治四十年二月十五日

第三部長

### 農工銀行頭取宛

現下中小産業者ノ經濟及産業ノ發達上産業組合ノ必要ナル機關タルコトハ今更申迄モ無之已ニ本縣内ニモ九十餘ノ組合設置セラレ漸ク發達ノ機運ニ相向ヘ來候處是等ハ設立日尙淺キヲ以テ事業執行上資金不足ノ結果貴行ニ對シ借入方申込候モノ多數有之哉ニ相聞ニ申候付テハ可成融資ノ便宜ヲ與ヘラレ候様御取計相煩度尤モ是等ノ融資方法モ組合ノ實況及實方ニ相當スルハ越ニ申進候マテモ無之組合ノ實況ニ付必要ノ儀モ有之御打合相成候ハ、當應ニ於テモ右ノ實況判明候丈ハ可申進候尙組合ニ就テハ當應ニ於テモ充分ナル監督ヲ加ヘ居候次第ニシテ右監督上必要ノ儀有之候ニ付其貸出結了候ハ、其金額及期限並ニ組合名稱共御通報相煩ハシ度此段及照會候也

追テ許御決定前豫メ御内報相煩候様致度併セテ及照會候也

收商第一一二三號

明治四十年四月十六日

第三部長

各郡市長宛

現下中小産業者ノ經濟及産業ノ發達上産業組合ノ必要ナル機關タルコトハ今更申迄モ無之已ニ本縣内ヘモ百餘ノ組合設置セラレ漸ク發達ノ機運ニ相向來候處是等ハ設立日尙淺キヲ以テ事業執行上資金不足ノ結果借入金ヲ爲スモノ多々有之哉ニ承知致候然ルニ今回農工銀行法改正セラレ有限責任及保證責任ノ産業組合ニ對シテモ該銀行ヨリ無抵當貸付ヲ爲シ得ルノ途ヲ開カレ候處右ハ地方生産業ノ發達ヲ獎勵スルノ趣旨ニ出テタルハ勿論ノ儀ニ有之候モ組合ノ基礎鞏固ナラズ信用確實ナラザルニモ拘ラズ猥リニ借入金ヲナスカ如キハ却テ産業ノ發達ヲ阻害スルノ恐ナキニアラサルヲ以テ勉メテ自營獨立ノ經營ヲナシムルハ申迄モ無之借入金ヲナシタルモノニアリテモ完全ニ其債務ヲ履行シ組合全般ノ信用ヲ傷タルカ如キコト無之様常ニ注意監督ヲ加ヘラレ度依命此段及通牒候也



府 縣

今般農工銀行法ヲ改正シ有限責任及保證責任ノ産業組合ニ對シテモ該銀行ヨリ無抵當貸付ヲ爲シ得ルノ途ヲ開カレヌリ右ハ地方生産業ノ發達ヲ獎勵スルノ趣旨ニ出タルハ勿論ナルモ地方生産業ノ金融機關ハ其自衛上之カ貸付ニ當リテ最慎重ナル注意ヲ要ス若シ産業組合ノ基礎鞏固ナラヌ其信用確實ナラサルモノニ對シ猥リニ貸付ヲナスカ如キハ一面ニ於テハ銀行ヲシテ危險ノ地位ニ立タシメ他ノ一面ニ於テハ却テ産業ノ發達ヲ阻害スルノ恐ナキ能ハス是レ法律改正ノ趣旨ニ添ハサルモノナリ故ニ銀行ハ之カ貸付ヲ爲スニ際シ組合ノ基礎及信用ノ程度ニ關シ最モ周密ルナ調査ヲ爲シ其ノ資力信用ノ程度ニ應ジテ最安全ナリト認ムル範圍内ニ於テヌルニアラサレハ其融通ヲ爲サヌ又組合ニ於テハ完全ニ其債務ヲ履行シ組合全般ノ信用ヲ傷クルカ如キコトナカラシムルコトヲ要ス如斯シテ以テ改正法律ノ圓滿ナル施行ヲ爲シ萬々遺憾ナカラシメムコトヲ期スヘシ

右訓令ス

明治四十年四月十日

大藏大臣  
內務大臣  
農商務大臣

收勸第二五八二號

明治四十一年五月十八日

內務部長

各郡市長宛

産業組合ノ理事監事ノ任期ニ就テハ法律ニ於テ一定期間ヲ示スト共ニ定款ヲ以テ例外ノ規定ヲ爲シ得ルコトニ相成居候へ共濫リニ理事監事ノ任期ヲ延長スレハ法律カ任期ヲ定メシムル趣旨ニ違反スルノミナラヌ事業經營上諸種ノ弊害ヲ醸スノ虞ナシトモサルニ付爾後理事ニ就テハ六少年監事ニ就テハ三ケ年ヲ超エサル範圍内ニ於テ其必要ニ應シ適當ニ任期ヲ定メシメ候様致度旨主務省ヨリ通牒有之候條御承知相成度尤モ特別ノ事情有之萬止ムヲ得サル場合ニ於テハ以上ノ期間ニ於テ適當ノ任期ヲ定メシメ差支無之候條右標準ニ依リ御取扱相成度依命此段及通牒候也

收勸第三三一四號

明治四十一年六月十七日

內務部長

各郡市長宛

産業組合ノ名稱中其目的ヲ示スヘキ文字トシテハ産業組合法第一條括弧中ノ文字ヲ用フルコトヲ要シ其間ニ何等文字ノ挿入ヲ許サ、ル義ニ有之旨主務省ヨリ特ニ注意有之候間右御了知相成度尙從來ノ組合ニシテ右ニ反スル名稱ヲ附スルモノハ時期ヲ見計ヒ變更方御取計相成度依命此段及通牒也

追テ兼營ノ組合ニ付テハ何々信用購買販賣生産組合トシ中間ニ挿入シタル組合ノ文字ハ除クヘキモノニ有之候條爲念申添候也

收勸第三四〇〇號

明治四十一年六月二十七日

內務部長

各郡市長宛

近來信用組合ニ於テ組合員外ノモノニ貸付ヲナシ購買組合ニ於テ組合員外ノモノニ物品ヲ賣却シ生産組



合ニ於テ組合員ノ生産シタルモノニアラサル物ニ加工シ若クハ組合員外ノ者ニ物品ノ使用ヲ爲サシメ販賣組合ニ於テ組合員ノ生産シタルモノニ非ル物ノ販賣ヲ爲ス等ノ事實間々有之哉ニ聞及ヒ候處右ハ獨リ法律ニ違反セル不都合ノ行爲タルニ止マラス善良ナル効果ヲ奏セル他ノ産業組合ノ發達上阻害ヲ來スコトニモ相成國家産業獎勵ト勘カラサル支障有之候條右等ノ如キ不都合無之様平常充分監督可致旨主務省ヨリ特ニ注意ノ次第モ有之候條貴官ニ於テモ管下産業組合ノ事業經營ニ關シテハ充分御監督相成萬一産業組合法第六十條及第六十一條ニ依リ適當ナル處措ヲ要スルモノト被認候場合モ有之候ハハ其事情詳細ニ御報告相成得此段依命及通牒候也

收勸第三七七四號

明治四十一年七月十日

各郡市長宛

內務部長

六月十七日付收勸第三三二四號ヲ以テ産業組合ノ名稱中其目的ヲ示スヘキ文字ノ用例ニ付及通牒置候處追書ノ兼營組合ニ於テモ勿論中間何等ノ文字ヲモ挿入スル能ハサル儀ニ有之候從テ「無限責任大川購買(兼及併ニ)販賣組合」「有限責任大川毛筆販賣及原料購買組合」等ノ如キ◎点ノ分ハ挿入シ得サル儀ニ有之候(其之ニ反シ「大川有限責任毛筆販賣購買組合」「無限責任大川信用販賣組合」又ハ有限責任信用生産組合大川社)ト云フカ如ク有限責任ナル文字ノ前後若クハ「何々組合」ナル文字ノ下ニ特權ノ名稱ヲ示スヘキ文字ヲ挿入スルハ支障無之儀ニ有之候處該通牒ニ對シ住々質議ノ向モ有之候條爲念此段及通牒候也

收勸第四一一一號

明治四十一年八月六日

內務部長

各郡市長宛

産業組合法施行規則第八條第七號ニ依リ購買組合又ハ購買事業經營ノ組合ヨリ提出スル事業報告書中購買又ハ賣却シタル物ノ種目別ノ數量及價額ノ記載方ニ就テハ其物品ノ種類多クシテ煩雜ヲ感スルモノハ便宜上左記ノ通り記載セシムルモ差支無之旨主務省ヨリ通牒有之候條可然御取計相成度此段及移牒候也

記

一、物品ハ産業用品ト生計用品トニ分チ總額ヲ記スルコト但數量ヲ合計シ能ハサルモノ又ハ合計スルモ無意義トナルモノニ付テハ價額ノ合計ノミヲ記スルコト

二、物品名稱ハ悉ク各別ニ列記スルコト

三、物品中重ナルモノニ付テハ可成別ニ其數量及價格ヲ附記スルコト

注意 右ハ購買組合又ハ購買事業兼營ノ組合ニ就テノミ適用シ販賣組合生産組合ニ付テハ從前ノ儘トス

收勸第四七六七號

明治四十一年九月十日

內務部長

各郡市長宛

組合員カ産業組合ヨリ受クル配當金中納戻ノ性質ヲ有スルモノハ所得稅ヲ賦課セラルコトナキモ所得ノ性質ヲ有ルモノニ付テハ所得稅法第四條第三號中ノ所謂「此法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法入ヨリ受ケタル配當金」ニ該當シ第三種所得稅ヲ賦課セラルヘキモノニ有之候尤モ配當金中所得ノ性質ヲ有スルヤ否ヤハ各種組合ノ各組合員カ受クモノニ付キ審査スヘキモノニ有之候條御參考迄ニ及通牒候也



収勸第四六七七號

明治四十一年九月八日

各 郡 市 長 宛

內 務 部 長

百六十二

地主カ農業ニ關スル何等ノ行爲ヲナサズ單ニ其所存地ヲ貸付シ其地代トシテ小作米ヲ取得スル場合ニ於テ其米ノ生産者ト云フコトヲ得サルコトハ勿論ノ儀ニ據ヘ共地主ニシテ當時其所有地ノ生産ニ付企業者ノ如ク干與シテ小作米ヲ收納スル者ハ其收納米ニ付自ラ生産シタルモノトシテ取扱候事ニ省議決定致候旨其筋ヨリ通牒有之候ニ付テハ販賣組合組合員トシテ地主ヲ加入セシムルモノニ付テハ右ニ依リ相當處理相成候様致度依命此段及通牒候也

官吏産業組合ノ役員トナルノ件

四十一年十一月岐阜縣知事ヨリ內務大臣秘書官宛問合ニ對スル回答

客月二十九日付農第一三一六號ヲ以テ官吏ニシテ産業組合ノ役員タラシトスル者本屬長官ノ許可ヲ得ルノ議ニ付御照會ノ處産業組合ハ營利ノ目的ニテ成立スルモノニアラサルニ付許可ヲ受クニ及ハスト存候尤モ其組合ヨリ給料ヲ得ントスル場合ニ於テハ官吏服務規律第十三條ニ據ルハ勿論ノ義ニ有之候段此及回答候也

産業組合ノ事務所ヲ組合ノ區域外ニ設置スル件

京都府伺四十一年二月三日農務局長回答

一月三十一日付京第一九七號ヲ以テ御照會ノ趣了承右産業組合ノ事務所ハ可成可其區域内ニ設置スルヲ肝要トスレトモ止ム得サル場合ニ於テハ區域外ニ設シモ支障無之此段及回答候也

産業組合カ蠶種製造ヲナス件

明治四十一年六月二十三日農務局長通牒

蠶病豫防法ニ就テハ自ラ蠶兒ノ飼育ヲ爲サズ全然他人ヨリ譲受タル繭ノミヲ以テ蠶種ヲ製造スルモノハ之ヲ蠶種製造者ト認メサルコトニ省議決定相成居隨テ産業組合カ蠶種ノ製造行爲ヲナスハ蠶種製造者タル組合員ニ代テ其生産シタル繭ニ加入スル場合ノミニシテ總テノ場合ニ於テ組合自ラ蠶種製造者タルコト能ハサル義ニ有之候處從來蠶種製造者タリシ組合員カ往々産業組合ヲシテ蠶種製造ノ届出ヲナシメ其實ニ於テ組合員カ蠶種ヲ製造シテ脱税ノ手段ニ供スル向キ有之候哉ニ聞及候條右様ノ義無之様豫メ營業者ヘ御注意相成度此段及通牒候也

發勸第二一號

明治四十二年一月十二日

內 務 部 長

各 市 長 宛

産業組合設立上ニ付テハ多年御勸奨ノ結果客年末ニ於テ漸ク百七十五ヲ算スルニ至リ現下地方産業及經濟界ノ爲メ喜フヘキ現象ニ有之候之ヲ各郡市別スルトキハ別表ノ通りニシテ今後設立セラルヘキモノ多々有之義ト被思料候然ルニ是等組合ノ事業經營ニ關シ時々主任者ヲ派シ調査セシメ候ニ創立日尙淺ク何レモ法令ニ通曉セサルモノ多キヲ以テ或ハ事務ノ整理ヲ欠キ或ハ組合員ノ少數ナルト資金ノ少額ナル等ノ關係ヨリ主タル目的ノ事業ヲ遂行セサルモノ有之候様見受ケラレ候過去ノ事實ニ徴スルニ三ヶ年位ハ組合ノ基礎建設ニ要シ五ヶ年位ニ至ツテ成績ノ觀ルヘキモノ普通ニ有之此間ニ處スル役員等ノ苦心モ諒トスヘキモノ有之様被存候ニ付テハ此際貴官ニ於テハ四十年十月十日付收商第二六五號通牒ノ趣旨ニ依リ一層ノ監督ヲ加ヘラレ且時々講話又ハ講習等ニ依リ指導ヲ加ヘ健全ナル發達ヲ遂ケ以テ漸ク其産業ヲ失ハントスル中産以下ノモノヲ救済シ社界上ノ弊害ヲ未發ニ防遏スルノ方法相立候様致度將又今後設

百六十三



置セントスル組合ニ對シテハ三十六年二月二十一日付内商第一六〇五號ヲ以テ及通牒候外左記合項ニ關シテハ特ニ御留意相成新設ノ申請ニ付テハ御意見具申相成度尙組合ヨリ提出スル毎事業年度報告書貸借對照表財産目錄剩余金處分案其他ノ書類ニ對シテハ充分調査ヲ遂ケ御進達相成候様致度此段承旨及通牒候也

記

一、組合ノ區域ハ信用組合ニアリテハ特別ノ理由アルモノ、外一村(市町)以上ニ涉ルヘカラサルモ其他ハ制限ナキヲ以テ數ヶ村ニ及ブモノアリ區域ヲ最モ狭小ニシテ一大字内ニニケノ組合ヲ見ルカ如キハ町村自活ノ發達ヨリ見ルモ面白カラサルヲ以テ自今可成一村少ナクモ一大字以上ニヨリ設置候様致度若シ右ニ據リ難キ事由有之候ハ、其事由具申相成度  
二、組合ハ七人以上ナルトキハ法人ノ資格アルモ過去ノ事實ニ徵スルニ三十人以下ノ組合ニアリテハ活動ヲ爲スコト能ハサルノミナラス生産組合又ハ販賣組合等ニアリテハ或ハ收支ノ計算不相立事業ヲ半途ニ休止スル等ノ場合ナントセサルヲ以テ爾今可成三十人以上ヨリ申請相成候様致度  
收勸第四四八二號  
明治四十二年三月二十五日

内務部長

各郡市長宛

産業組合中信用組合ニ於テ資金ノ融通ヲナサンカ爲メ約束手形ヲ發行(振出)ノ向モ有之候處右ハ借入金ノ方法タルニ過キサルモノナレハ他ノ借入金ト合算シテ産業組合施行規則第九條ニ規定セル「借入ルコトヲ得ヘキ最高金額」制限ヲ超過スルコト得サル越其節ヨリ通牒有之候條御含ミノ上監督上不都合無之候御注意相成度依命此段及通牒候也

商第五九〇五號

保險類似事業取締ニ關シテハ屢ニ及照會置候次第モ有之候處近時産業組合中其目的ニ非サル保險類似ノ事業ヲ營ミ又ハ組合業務ノ傍之ヲ兼營セントスルモノ有之候ニ付テハ將來組合設立ノ許可并ニ定款變更ノ認可ニ際シテハ特ニ此点ニ留意セラレ法規ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アルモノニ對シテハ其中請ヲ却下シ又ハ相當變更セシムル等適宜ノ御措置相成候様致度爲念此段御通牒候也  
明治四十二年七月五日

農商務省農務局長 岡 忠 治  
農商務省商工局長 大久保 利 武

知事宛

農第一〇五五七號

近時産業組合ノ發達ニ伴ヒ弊害ノ之ニ隨伴スルモノアルハ頗ル遺憾トスル所ニ有之候既ニ昨年モ之カ監督方ニ關シ通牒ヲ以テ注意致置キ候處本年ニ至リテモ亦販賣組合ニシテ組合員外ヨリ物品ヲ購買シテ之ヲ販賣シタルモノアリシカ爲メ物議ヲ惹起スニ至リタルハ他ノ一般産業組合ノ發達上遺憾ニ堪ヘサル次第ニ有之候惟フニ全國産業組合中ニハ往々法規ノ精神ヲ了解セス或ハ名ヲ産業組合ニ籍リテ其特典ニ浴シ或ハ法規ノ認メタル範圍ヲ超越シテ業務ヲ營ムカ如キモノ無之ヲ保シ難ク如此組合ニ對シテハ嚴密ニ之ヲ監督シテ弊害ヲ防止スヘキハ勿論違反者ニ對シテハ斷然タル處分ヲ行ヒ之カ弊害ヲ防遏スルハ目下ノ急務ト被存候條組合ノ指導獎勵ニ執掌セラルト共ニ其弊害ノ防止監督ニ付テハ一層ノ御注意煩度依命此段再應及通牒候也  
明治四十二年八月三十日

農商務次官 押 川 則 吉

知事宛

收勸第四六九六號

明治四十二年九月二十一日

内務部長



各 郡 市 長

産業組合監督方ニ付テハ客年六月二十七日收勸第三四〇〇號通牒ヲ以テ及注意置候處全國多數組合中ニ  
ハ尙販賣組合ニシテ組合員外ヨリ物品ヲ購買シテ販賣シタルモノアリシカ爲メ物議ヲ惹起スニ至リタル  
モノ有之趣ヲ以テ特ニ其筋ヨリ注意有之當管内ニハ萬如斯弊害等無之被存候ヘ共或ハ法規ノ精神ヲ了解  
セズ不知不識法規ノ認メタル範圍ヲ超越シテ業務ヲ營ムカ如キモノ無之ヲ保チ難ク候條嚴密ニ之カ監督  
ヲ爲スヘク苟クモ違反行爲アルニ於テハ詳細御報告相成度依命此段及通牒候也

發勸第五四六號

明治四十二年十二月二十八日

各 郡 市 長

內 務 部 長

産業組合總會開會月日届出ノ件豫テ及通牒置候處爾今届出ノ要無之候條御管下各組合ヘ御示達相成度依  
命此段及通牒候也  
收勸第六八八四號

明治四十二年十一月二十七日

各 郡 市 長

內 務 部 長

各種産業組合ニ於テハ一事業年度中少クモ一回以上ノ總會ヲ開クベキ規定ニ相成居候ニ拘ハラズ創立初  
年ニアリテハ多クハ總會ヲ開カズ從テ産業組合法施行規則第十二條ノ借入金並ニ貸出金(信用組合ノミ)  
額ノ報告ヲナサズシテ事業ヲ開始シ而シテ事業報告書中ニモ之ガ記載ヲナサザル向不尠取扱上支障有之  
候ニ付右創立初年ニアリテハ臨時總會ヲ開キ其金額ヲ議決シ必ズ報告候條貴郡内各産業組合ニ御注意相  
成度此段及通牒候也

○福島縣告示第六百六十五號

明治三十九年(八月)福島縣告示第四六九號産業組合法施行規則第十條ニ依リ各種組合又ハ聯合會ヨリ提

出スヘキ書類ノ様式左ノ通り改ム

明治四十二年十二月十日

報 告 書

福 島 縣 知 事

本組合明治何年度財産目録貸借對照表及事業報告書並ニ剩餘金處分案總會ニ於テ別冊ノ通り承認ヲ得候  
此段及報告候也

明治 年 月 日

何々責任何々組合

理 事

某 某

福 島 縣 知 事 宛

財産目録様式 (信用組合ノ例其他ノ組合モ之ニ準ス)

資 産

口 數

拂込未済出資金

種 類 及 各 金 額

貸 付 金

種 類 及 各 金 額

預 金

地 目 及 各 面 積

土 地

種 類 及 各 金 額

建 物

種 類 及 各 金 額

什 器

種 類 及 各 金 額

何 々 金

種 類 及 各 金 額

現 金

種 類 及 各 金 額

合 計

種 類 及 各 金 額

貯 蓄 金

種 類 及 各 金 額

豫 約 者 ノ 貯 蓄 金

種 類 及 各 金 額

豫 約 者 ノ 貯 蓄 金

種 類 及 各 金 額



借入金  
何件  
何金  
何圓

何件  
何金  
何圓

何件  
何金  
何圓

何件  
何金  
何圓

何件  
何金  
何圓

貸借對照表様式

(信用組合ノ例其他ノ組合モ之ニ準ス)

| 種目      | 貸  |   | 借  |   |
|---------|----|---|----|---|
|         | 金額 | 方 | 金額 | 方 |
| 拂込未済出資金 |    |   |    |   |
| 貸付金     |    |   |    |   |
| 土地      |    |   |    |   |
| 預金      |    |   |    |   |
| 何證券     |    |   |    |   |
| 建物      |    |   |    |   |
| 什器      |    |   |    |   |
| 何々      |    |   |    |   |
| 現金      |    |   |    |   |
| 合計      |    |   |    |   |
| 種目      |    |   |    |   |
| 出資金     |    |   |    |   |
| 貯金      |    |   |    |   |
| 豫約者ノ貯金  |    |   |    |   |
| 借入金     |    |   |    |   |
| 準備金     |    |   |    |   |
| 特別積立金   |    |   |    |   |
| 何々      |    |   |    |   |
| 何々      |    |   |    |   |
| 本年度剩餘金  |    |   |    |   |
| 合計      |    |   |    |   |

注意 物件及證券ノ價額ハ時價ヲ以テ表示スヘシ

明治何年第何回事業報告書

何郡(市)町(村)字番地  
何々責任何組合

本組合明治何年何月何日ヨリ何月何日ニ至ル事業ノ成績ヲ蒐集シ茲ニ報告ス

一、職業別組合員數及出資口數ノ異動

| 職業別 | 前年度末現在 |      | 本年度増加 |      | 本年度減少 |      | 本年度末現在 |      |
|-----|--------|------|-------|------|-------|------|--------|------|
|     | 組合員數   | 出資口數 | 組合員數  | 出資口數 | 組合員數  | 出資口數 | 組合員數   | 出資口數 |
| 農業  |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 工業  |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 商業  |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 水産業 |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 林業  |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 雜業  |        |      |       |      |       |      |        |      |
| 計   |        |      |       |      |       |      |        |      |

注意

- 一、豫約者ヨリ加入シタルモノ、數及職業別ノ數ヲ附記スヘシ
- 二、本年度増加トアル欄ニハ從來組合員ニシテ出資口數ヲ増加シタルモノヲモ加算記入スヘシ



三、聯合會ヨリ提出スル書類ニハ職業別ノ欄ニハ「組合又ハ聯合會ノ種類別」ヲ「組合員數」ノ欄ニハ組合又ハ聯合會ノ數字ヲ記入スヘシ  
 四、出資口數ノ讓渡及職業ニ異動ヲ生シタルモノハ其旨備考ニ明記スヘシ  
 二、出資ノ拂込

|         |         |        |        |         |
|---------|---------|--------|--------|---------|
|         | 前年度末現在高 | 本年度拂込高 | 本年度拂戻高 | 本年度末現在高 |
| 各自拂込    |         |        |        |         |
| 剩餘金ヨリ拂込 |         |        |        |         |
| 計       |         |        |        |         |

注意

一、「剩餘金ヨリ拂込」欄ノ本年度拂込高ハ前年度剩餘金處分ニ據リ配當セラレタル剩餘金ヲ記載スルモノトス  
 二、本年度拂戻高ノ記載ハ實際拂戻ヲシタル年度ニ屬スル分ヲ記載スヘキモノナルヲ以テ本年度末現在高ニハ當該年度ニ脱退シタル者ニ拂戻スヘキ金額ヲ包含スルヲ以テ其ノ旨ヲ附記スヘシ  
 (當該年度内ニ脱退シタル者ニハ法第五十五條但書ノ場合ヲ除クノ外其年度内ニ拂戻ヲナスコトヲ得ス)  
 三、借入金及其償還

|         |        |        |         |
|---------|--------|--------|---------|
| 前年度末現在高 | 本年度借入高 | 本年度償還高 | 本年度末現在高 |
|         |        |        |         |

四、準備金及各種積立金

|       |         |        |        |         |
|-------|---------|--------|--------|---------|
| 準備金   | 前年度末現在高 | 本年度積立高 | 本年度處分高 | 本年度末現在高 |
| 特別積立金 |         |        |        |         |
| 何々積立金 |         |        |        |         |
| 計     |         |        |        |         |

注意 本年度ノ借入高ニ付テハ其元本ノ利率ハ其利率ノ種類ニ從ヒ記載スヘク又借入先ヲモ記入スヘシ  
 注意 本年度積立高欄ニハ加入金過怠金及脱退者ニ對スル持分ノ拂戻ノ殘額及前年度(四十二年度報告ニアリテハ四十一年度)剩餘金ヨリ處分セラレタル積立金ヲ加算記載スヘシ本年度處分高欄ニハ持分拂戻トシテ拂戻シ又ハ其他ニ處分シタル金額ヲ記載スヘシ  
 内譯

|                |       |      |       |
|----------------|-------|------|-------|
| 準備金            | 本年度積立 | 準備金  | 本年度處分 |
| 加入金            |       | 損失填補 |       |
| 過怠金            |       | 持分拂戻 |       |
| 脱退者ニ拂戻シタル持分ノ殘額 |       | 何々   |       |



|                |  |            |  |
|----------------|--|------------|--|
| 前年度剰餘金ヨリ處分シタル額 |  |            |  |
| 特別積立金本年度積立     |  | 何々積立金本年度處分 |  |
| 前年度剰餘金ヨリ處分シタル額 |  | 損失填補       |  |
| 何々             |  | 持分拂戻       |  |
| 何々積立金本年度積立     |  | 何々積立金本年度處分 |  |
| 何々             |  | 何々         |  |

五、總會又ハ總代會ノ決議

總會又ハ總代會ノ種類開會ノ時期施行規則第十二條ノ借入金貸付金最高金額其他決議ノ要領等ヲ記スヘシ

注意 本事業報告書ノ承認ヲナスヘキ總會又ハ總代會ニ於ケル事項ハ翌年度ノ事業報告書中ニ記載ス

六、事業ノ狀況及損益ノ計算

(イ)信用組合

(一)事業ノ狀況 事業年度内ニ於ケル貸付金及貯金取扱ノ繁閑、資金需給ノ狀況、資金使用ノ重ナル産業及其金額ノ概數並其産業ニ與ヘタル効果其他組合ノ事業經營ニ關スル事項等ヲ列記スヘシ

(二)損益ノ計算

|   |   |   |    |   |   |   |    |   |   |   |    |
|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|----|
| 利 | 種 | 目 | 金額 | 損 | 種 | 目 | 金額 | 失 | 種 | 目 | 金額 |
|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|----|

|        |   |   |       |   |   |
|--------|---|---|-------|---|---|
| 貸付金利息  | 何 | 圓 | 貯金利息  | 何 | 圓 |
| 預金利息   | 何 | 圓 | 借入金利息 | 何 | 圓 |
| 國債證券利息 | 何 | 圓 | 諸給料   | 何 | 圓 |
| 何々     | 何 | 圓 | 旅費    | 何 | 圓 |
| 雜收入    | 何 | 圓 | 通信費   | 何 | 圓 |
| 前年度繰越金 | 何 | 圓 | 何々    | 何 | 圓 |
| 合 計    | 何 | 圓 | 合 計   | 何 | 圓 |

差引剰餘金

何 圓

(ロ)販賣組合

(一)事業ノ狀況 事業年度内ニ組合員ヨリ受入タル貨物ノ數量並ニ其價格カ如何ナル狀況ニテ何レノ方面ニ取引セシヤ其名稱又ハ氏名及受ケタル利益若シタハ損失シタル等ノ事由其他購買組合ノ例ニ準シ詳記スヘシ

(二)損益ノ計算 (信用組合ノ記載例ニ準ス)

(ハ)購買組合

(一)事業ノ狀況 事業年度内ニ於ケル事業ノ繁閑貨物購買高及賣却高ノ昨年トノ比較並ニ組合員購買力ノ増減及其事由、貨物ノ購買價格及賣却價格カ市價ニ比シテ如何ナル程度ニアリシカ、組合員



ノ受ケタル利益ノ如何ナル歩合ナリシカ、重ナル貨物ノ購入ハ如何ナル方法ニ出テシヤ其生産地名及ヒ取引先ノ氏名又ハ商號、又組合ニ於テ加工ヲナシタルモノニアリテハ其方法、其他事業經營等其關係状態ヲ詳記スヘシ

(二) 損益ノ計算 (信用組合ノ記載例ニ準ス)  
 (三) 生産組合

(一) 事業ノ状況 機械器具ノ設備ノ状態ヨリ之ヲ組合員ニ使用セシメタル状況、組合ニ於テ加工ヲナシタルモノニアリテハ其製品ハ市價ニ比シ如何ナル歩合ニアリシカ等事業經營ニ關スル事項ヲ詳細ニ記載スヘシ

(二) 損益ノ計算 (信用組合ノ記載例ニ準ス)  
 (三) 以上ヲ兼ホタル組合

各種組合ノ記載例ニ依リ各別ニ其事實ヲ列記スヘシ

七、各種計算  
 (イ) 信用組合  
 (一) 貸付金及其償還

| 區別  | 前年度末現在高 |    | 本年度貸付高 |    | 本年度償還高 |    | 本年度末現在高 |    |
|-----|---------|----|--------|----|--------|----|---------|----|
|     | 金額      | 件數 | 金額     | 件數 | 金額     | 件數 | 金額      | 件數 |
| 有擔保 |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 無擔保 |         |    |        |    |        |    |         |    |
| 計   |         |    |        |    |        |    |         |    |

注意

- 一、物上擔保貸付ニアラサル貸付ハ無擔保貸付中ニ算入スヘシ
- 二、貸付ノ目的擔保ノ種類ヲ附記スヘシ
- 三、月賦償還等ニヨリ一部ノ償還ヲ受ケタルモノ、件數ハ殘額ヲ一件トシテ算入スヘク償還ノ部分ハ一件トシテ計算セス

(二) 貯金

| 員  | 金額 | 前年度末現在 | 本年度受入高 | 本年度拂戻高 | 本年度末現在高 |
|----|----|--------|--------|--------|---------|
|    |    | 圓十錢風   |        |        |         |
| 員數 |    |        |        |        |         |
| 金額 |    |        |        |        |         |

(三) 豫約者ノ數及其貯金

| 員  | 金額 | 前年度末現在 | 本年度受入高 | 本年度拂戻高 | 本年度末現在高 |
|----|----|--------|--------|--------|---------|
|    |    | 員數     |        |        |         |
| 金額 |    |        |        |        |         |

注意 組合員數ニ付テハ本年度受入高及本年度拂戻高ニハ初メテノ貯金者及悉皆拂戻ヲ受ケタル者以外ノ者ヲモ計上スヘキカ故ニ本年度末現在高ハ上欄ノ差引計算ニ依ラヌ調査記載スヘシ

(四) 利率  
 貸付金

貯金







備考 本年度末現在ハ事業ノ種類ニ依リ必要ナキモノアルヘシ  
 加工又ハ使用ニヨリテ生産セル數量ハ備考トシテ附記スヘシ  
 (ホ)以上ヲ兼タル組合  
 各種組合ノ記載例ニ依リ各別ニ其事實ヲ列記スヘシ  
 八、處務ノ要件

剩餘金處分案

|                   |             |
|-------------------|-------------|
| 一金何圓              | 本年度總益金      |
| 一金何圓              | 本年度總損金      |
| 差引                | 本年度剩餘金      |
| 一金何圓              | 此處分         |
| 一金何圓              | (剩餘金四分ノ一以上) |
| 一金何圓              | (何ニ對シ年何分ノ割) |
| 内何圓(又ハ全部)出資ノ拂込ニ充ツ | 準備金         |
| 一金何圓              | 配當金         |
| 一金何圓              | 特別積立金       |
| 一金何圓              | 何々          |

注意 剩餘金處分案ヲ立ルニ際シテハ定款ニ準據スルコトニ注意ヲ要ス  
 配當金ハ出資ノ拂込ヲ終ラサル組合員ニ對シテハ必ス出資ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス  
 産業組合聯合會

産業組合ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ハ産業組合聯合會ヨリ差出スヘキ書類ノ様式ニ之ヲ準用ス  
 收勸第七二〇三號  
 明治四十二年十二月十三日

各郡市長

内務部長

産業組合法第十五條第二項但書ニ依リ組合原簿變更ノ記載ヲ爲シ得ル場合ハ定款ニ規定セル場合ニ限リ  
 又取纏メ記載シ得ヘキ事項ハ「出資總口數」及「拂込タル出資總額」ニ限リ其他ノ事項ハ變更ノ都度之ヲ記  
 載スヘキモノニ有之前示事項但書ノ事項ヲ取纏メ記載スル旨ノ定款ノ規定一事業年度内ニ増口又ハ拂込  
 出資ノ増額アリタルモノヲ翌年度ニ至リ取纏ムル旨ノ規定及取纏メ期日ヲ明記セサルモノ例ヘハ「毎年  
 十二月中」又ハ「十二月十日ヨリ同月三十日迄」等ノ規定ハ注意ニ適セサルノ趣其筋ヨリ通牒有之候條許  
 可申請又ハ定款變更認可申請ノ際ハ特ニ御調査相煩ハシ度尙又組合又ハ聯合會カ取纏メ期日ヲ規定スル  
 場合ハ左記ニ準シ規定セラレ度依命此段及通牒候也

記

一、産業組合法第十五條第一項第一號及第二號ノ事項ハ毎年何月何日(例令ハ十二月三十一日ト云フカ  
 如シ)之ヲ取纏メ其後二週間内ニ記載スルモノトス

收勸第七三九七號

明治四十二年十二月十三日

各郡市長宛

内務部長

産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ關スル岡山縣ノ質疑ニ對シ別紙ノ通り省議決定通牒相成候旨其筋  
 ヲ通牒有之候ニ付及移牒候也  
 農第一三九六五號

明治四十二年九月十七日付商甲第八三八號ヲ以テ産業組合法第一條ニ所謂加工ノ意義ニ付キ御照會ノ件



了承右加工ハ凡テ動産ニ工作ヲ加フルヲ謂ヒ其工作ノ程度如何ヲ問ハサルモノニ有之御問合セノ場合ノ  
凡テテ含ムモノト被解候尙加工ニ際シ相當ノ助成材料ヲ用フルハ差支無之候モ主タル材料ハ購買組合ニ  
アリテハ其目的タル購買物件販賣組合又ハ生産組合ニ在リテハ組合員ノ生産セシ物タルヲ必要トスル義  
ニ有之候條左様御承知相成度依命此段及回答候也

明治四十二年十二月三日

農商務省農務局長 下岡 忠 治

岡山縣知事 谷口 留五郎 殿

商甲第八三八號

照 會

明治四十一年九月十七日

岡山縣知事 谷口 留五郎

農商務省農務局長 織田 一 殿

産業組合法ニ關シ質疑ノ件

産業組合法第一條ノ加工トハ精米製材罐詰等ノ如ク加工ノ程度低ク工程單純ナルモノヲ指ス義ト被存候  
處製絲製紙醸造織物製造等ノ如ク加工ノ程度高クシテ全ク原形ヲ變スルモノハ包含セサル義ニ候哉何分  
ノ義至急御回報相成度候

發勸第五三四號

明治四十二年十二月二十日

內 務 部 長

各 郡 市 長

各種産業組合ノ設置方ニ關シテハ疊ニ再應及通牒置候次第モ有之候處組合ノ効果ヲ收ムルト否トハ之ヲ  
要スルニ役員其人ヲ得ルト否トニアルハ申迄モ無之既設組合ニ對シ時々吏員ヲ派遣シ實況ヲ監査セシメ  
シニ理事者其人ヲ得サルモノハ事務ノ整理ヲ欠ノミナラヌ甚シキハ事業ノ經營ヲ誤レルモノ往々有之候  
ニ付テハ組合ノ設置ヲ申請セラル、場合ハ三十二年二月內商第一六〇五號通牒事項ノ外特ニ役員其人ヲ

得候哉否ヤ其資産性行經歷ノ一般ヲモ貴官ニ於テ調査ノ上具申相成候様致度依命此段及通牒候也  
收勸第七一五九號

明治四十三年二月九日

內 務 部 長

各 郡 市 長

改正産業組合法施行相成候ニ就テハ信用組合又ハ信用組合ヲ兼營スル組合ニ於テ産業組合法第一條第二  
項ノ規定ニ依リ組合員外ノ者ニシテ組合ニ加入豫約ヲ爲シタル者ノ貯金ノ取扱ヲ爲サムトスルニハ其旨  
必定款中ニ明記ヲ要スル旨其筋ヨリ通牒有之候處無限責任信用組合模範定款中大体別紙ノ通り改訂可然  
被存候條以後ハ右ニ則リ規定セシムル様致度依命此段及通牒候也

追テ既ニ制定ニ係ルモノハ右ニ依リ拆ヲ見テ相當規定セシメラレ度爲念申添候也

(定款略ス)

收商第一一八五號ノ一

明治四十三年三月二十四日

內 務 部 長

各 郡 市 長

四十二年十二月十日(本縣告示第六百六十五號)以テ産業組合事業報告書様式中生産組合ニ關スル分従  
來ノモノニ比シ復雜ノ感有之爲ニ往々疑義ヲ生スル尙有之候ニ付テハ左記ノ各項關係ノ向ヘ特ニ御指示  
相煩ハシ度爲念此段及通牒也

記

(イ)加工表中「本年度委託高」欄ノ「加工料」ハ「委託物品ニ對スル加工料ノ見積高」ヲ「本年度末現在高」ノ

「加工料」ハ「本年度末現在ノ委託物品ニ對スル加工料ノ見積高」ヲ「前年度末現在高」欄ノ「加工料」ハ前  
年度ニ於ケル「本年度末現在高」欄ノモノヲ其儘記入スヘキモノナリ



ロ「本年度使用高」欄ノ「數量」ノ項ニハ其年度ニ於テ貸付ケタル物件ノ數量ヲ「度數」ノ項ニハ其年度ニ於テ實際使用セシメタル度數ヲ「使用料」ノ項ニハ其年度ニ於テ徵收シタル金額及未收入使用料ヲモ記入スヘシ但「本年度使用高」欄ノ「度數」及「使用料」ノ項ニハ前年度末現在高ノ中本年度ニ於テ實際使用セラレタル「度數」及本年度ニ於テ徵收シタル使用料及未收入使用料ヲモ包括シテ記入スヘキモノナリ

ハ「使用」ノ部「本年度末現在高」欄ノ數量ノ項ニハ本年度ニ於テ貸付シ翌年度ニ亘リテ使用セラレヘキ貸付物件ノ數量ヲ「度數」ノ項ニハ其貸付物件カ翌年度ニ亘リテ使用セラレヘキ度數ヲ「使用料」ノ項ニハ其貸付物件ノ數量ト使用度數トニ依リ計上シタル使用料ノ額ヲ記入スヘシ

「前年度末現在高」欄ニハ前年度ニ於ケル「本年度末現在高」欄ノモノヲ其ノ儘記入スヘシ

●産業組合ノ設立及變更申請並諸届書式

- 一、組合ヨリ縣知事ニ差出ス書類ハ凡テ郡役所ヲ經由スヘシ
- 一、設立申請ノ際添付スヘキ定款ハ貳通ヲ要ス
- 一、設立者トハ發起人ノミノ盡義ニアラズ設立當時ノ加盟者全員ヲ包含スルモノナリ
- 一、組合カ規定ニ依リ登記ヲナシタルトキハ直ニ登記シタル事項及其年月日ヲ縣知事ニ届出ヘシ中央會ニ加入シタルトキハ亦同シ但シ組合員名簿ニナシタル登記ハ届出ルニ及ハス

○産業組合設立許可申請

今般産業組合法ニ據リ何々責任何々組合設立致度候間御許可相成度別冊定款相添此段申請候也

明治 年 月 日

設立者  
郡(町)村番地職業何々  
何 某 印

福島縣知事何某殿

以下全員連署

○産業組合設立許可書謄本認證下付ノ儀申請

本組合設立ノ儀何月何日付ヲ以テ御許可相成候ニ付テハ登記申請上必要有之候間認證アル謄本御下付相成度此段申請候也

年 月 日

郡(町)村番地  
何々責任何々組合  
組合長理事 何 某 印

福島縣知事何某殿

(注意) 謄本下付ノ申請ハ設立ノ申請ト同時ニ提出スルモ差支ナシ

○産業組合設立登記結了届(例信用組合)

(其他ノ變更又ハ解散ノ登記届モ之ニ準スヘシ)  
(但組合員名簿ノ變更登記ハ届出ルニ及ハス)

登記シタル事項

- 一、目的 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシム
- 一、名稱 何々責任何々組合
- 一、組織 何々責任
- 一、事務所 郡市(町)村番地
- 一、出資一口ノ金額 金何十圓
- 一、出資拂込ノ方法 第一回拂込ノ金額ハ出資一口ニ付金何圓トス第一回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充



ツルモノ、外出資各口ニ付毎年一月末及六月末金何圓以上宛拂込ムモノトス

- 一、存立時期 何十ヶ年
- 二、設立許可ノ年月日 明治何年何月日
- 三、理事及監事ノ氏名住所

住所 理事 氏名 (理事全員)  
 住所 監事 氏名 (監事全員)

右明治年月日何區裁判所(又ハ某出張所)ニ於テ登記結了致候條此段及御届候也  
 年 月 日 郡(市)町(村)番地 何々責任何々組合

組合長理事 何 某印

福島縣知事何某宛

○産業組合定款變更ノ件認可申請

本組合定款左記ノ通り變更ノ件何月何日第何回通常總會(又ハ臨時總會)ニ於テ決議候條御認可相成度別紙總會ノ決議書相添へ此段申請候也

郡(市)町(村)番地 何々責任何々組合 何 某印  
 組合長理事 何 某印

福島縣知事何某殿

左 記

定款第何條中「.....」トアルヲ.....ト變更ノ件

(別紙)

總會ノ決議書(以下總會ノ決議書ニ總テ之ニ準スヘシ)

明治何年何月何日何所ニ於テ通常(臨時)總會開會出席員何名缺席員何名組合長何某議長席ニ付テ左ノ議案ヲ附記ス

第壹號案定款變更ノ件  
 第何條中「.....」トアルヲ.....ト變更セントス  
 理由.....ナル理由ニ因ル

右滿場一致ヲ以テ可決ス

議長組合長 何 某印  
 監 事 何 某印

明治 年 月 日

○産業組合組織並定款變更ノ件認可申請

本組合ノ組織ヲ有限責任ニ變更シ定款ヲ左記ノ通變更ノ件明治何年何月何日通常(又ハ臨時)總會ニ於テ決議候條御認可相成度別紙理由書總組合員ノ同意書及總會ノ決議書並ニ財産目錄貸借對照表相添へ此段及申請候也

郡(市)町(村)番地 無限責任何々組合 何 某印  
 右組合長理事 何 某印

福島縣知事何某殿

左 記

定款第何條中「.....」トアルヲ.....ト變更ス



理由書

本組合ハ日増ニ隆盛ニ趣キ從テ新加入者續々有之候處無限責任ノ組織ナルカ故ニ數十(百)人ノ總組合員ニ對シ一々同意ヲ求ムルヲ要スルモ斯ノ如キハ手續頗ル繁雜ナルノミナラス本組合ハ農工銀行ヨリ資金ヲ借入ル、ノ必要更ニ無之且第三者ニ信用ヲ博スル上ニ於テ必ス無限責任ノ組織ニ依ルノ必要無之寧ロ有限組織ニ變更シ總テ事業ヲ敏活ニ執行スル方將來組合ノ活動上得策ト被存候是今回組織ヲ變更スル理由ニ有之候

總組合ノ同意證

本組合ノ組織ヲ有限責任ニ變更ノ件ニ同意候也

年 月 日

無限責任何々組合員

何 某印  
(以下連署印)

○産業組合出資一口ノ金額ノ減少並定款變更ノ件認可申請

本組合出資一口ノ金額ヲ何圓ニ減少シ定款ヲ左記ノ通り變更ノ件明治何年月日通常(又ハ臨時)總會ニ於テ決議候條御認可相成度別紙理由書總會ノ決議書財産目錄貸借對照表相添ヘ此段及申請候也

年 月 日

郡(市)(町)村番地

何々責任何々組合

右組合長理事 何 某印

福島縣知事何某殿

(別紙)

理由書、總會ノ決議書、財産目錄、貸借對照表ハ略ス

○産業組合清算結了届

本組合ノ清算事務結了シ明治年月日總會ノ承認ヲ得候條別紙決算報告書及總會ノ承認書(又ハ謄本)相添ヘ此段及御届候也

年 月 日

郡(市)(町)村番地

何々責任何々組合

右清算人 何 某印

福島縣知事何某殿

◎産業組合ノ登記申請書式

一、産業組合ハ登記申請ヲ了シ初テ第三者ニ對抗スルノ資格ヲ獲得スルモノナリ而シテ凡テ登記申請ハ事由ノ發生シタル日ヨリ(設立ノ場合ニハ各組台員カ悉ク第一回ノ拂込ヲ爲シタル日ヨリ)起算シ二週間以内ニ於テ之ヲ爲スヘシ若シ此期間ヲ經過スル時ハ相當ノ過料ニ處セラル、カ故ニ深ク注意セザルヘカラス

一、登記申請ノ書面ハ決シテ略字ヲ用ユヘカラス金錢其他ノ物ノ數量年月日及番號ヲ記載スルニハ正シキ「壹貳參拾」ヲ用ユヘシ且字体ハ草書行書ヲ用ユルナク可成楷書ニテ書損ナキ様町嚙ニ美濃野紙ニ認ムヘシ

一、申請書數葉ニ至ル時ハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヌヘシ但連署者多數ナルトキハ壹人ノ契印ニテ足レリ

一、添付書類ノ謄本ヲ以テスル場合ニハ地方長官ノ認證アルモノヲ除ク外總テ原本ト共ニ提出シ且原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シ理事署名捺印ヌヘシ但原本ハ即時還附ヲ請フコトヲ得ルモノナリ

一、登記ノ申請者ハ委員ノ規定アル場合ヲ除ク外法定代理人一名ニテ足ルヘシ例ヘハ設立ノ登記ニハ理







何區裁判所(何出張所) 御 中

私共儀住所何某ヲ代理人ト相定メ左ノ權限ヲ委任ス  
 一何責任何組合設立許可ナリタルニ付何區裁判所(何出張所)ニ出頭其設立登記申請ニ關スル一切ノ行爲  
 右代理委任狀仍テ如件  
 明治何年何月何日

住所(主タル事務所)  
 何責任何組合  
 理事 何 某印  
 (委任者一同署名捺印スヘシ)

印 鑑 届  
 用紙厚紙 縦五寸 横一寸

印 鑑  
 住所(主タル事務所)  
 何責任何組合  
 住所  
 理事(監事) 何 某  
 何年何月何日生

右及御届候也  
 明治何年何月何日

何區裁判所(何出張所) 御 中

住所(主タル事務所)  
 何責任何組合  
 理事(監事) 何 某印

組合原簿雛形及記載例

第一號

面表紙表

有限責任何々組合ノ組合原簿  
 理事 何 某印  
 監事 何 某印

注意

- 一、組合原簿カ二冊以上ナルトキハ表紙ニ冊數ヲ記載スヘシ
- 二、理事監事カ多數ナルトキハ各一人ノ署名捺印ヲ以テ足ル

| 更 變 | 更 變 | 口數    | 出資ノ總額 | 稱名      |
|-----|-----|-------|-------|---------|
|     |     | 何 口   |       | 有限責任何組合 |
| 更 變 | 更 變 | 總額    | 出資ノ總額 |         |
|     |     | 金 何 圓 |       |         |



注意

- 一、原簿ノ用紙美濃判大ノ紙料ヲ用ツヘシ
- 二、原簿ノ用紙ニハ丁數ヲ記入シ且ツ每葉ノ綴目ニハ契印ヲ爲スヘシ但理事監事カ多數ナルトキハ各一人ノ契印ヲ以テ足ル

第二號

面表紙表

|               |    |
|---------------|----|
| 無限責任何々組合ノ組合原簿 |    |
| 理事 何          | 某印 |
| 監事 何          | 某印 |

注意

- 一、第一號注意事項ノ外無限責任組合ノ區域ヲ定メタル場合ニ於テハ其區域ニ屬スル行政區劃又ハ大字若クハ字ノ名稱ヲ表紙ノ裏面ニ記載スヘシ

甲部

百九十二

|            |          |
|------------|----------|
| 稱名         | 無限責任何々組合 |
| 出資ノ總口數     | 何口       |
| 拂込ミタ出ル資ノ總額 | 金何圓      |
| 變更         | 丁        |
| 變更         |          |
| 變更         |          |

乙部

|        |    |   |   |
|--------|----|---|---|
| 組合員ノ氏名 | 住所 | 何 | 某 |
| 組合員ノ氏名 | 住所 | 何 | 某 |
| 變更     | 丁  |   |   |
| 變更     |    |   |   |
| 變更     |    |   |   |

第三號

面表紙表

|               |    |
|---------------|----|
| 保證責任何々組合ノ組合原簿 |    |
| 理事 何          | 某印 |
| 監事 何          | 某印 |

注意

- 一、第一號注意事項ノ外保證責任組合ノ區域ヲ定メタル場合ニ於テハ其區域ニ屬スル行政區劃又ハ大字若クハ字ノ名稱ヲ表紙ノ裏面ニ記載スヘシ

百九十三



|   |   |   |   |                |        |               |
|---|---|---|---|----------------|--------|---------------|
| 更 | 變 | 更 | 變 | 口ノ出資<br>總額     | 何<br>口 | 稱名<br>保證責任何組合 |
| 更 | 變 | 更 | 變 | 拂込<br>タル出<br>金 | 口      |               |
|   |   |   |   | 圓              |        |               |

|   |   |          |          |   |   |          |          |
|---|---|----------|----------|---|---|----------|----------|
| 更 | 變 | 金額<br>保證 | 住所<br>氏名 | 更 | 變 | 金額<br>保證 | 住所<br>氏名 |
| 更 | 變 | 金額<br>保證 | 住所<br>氏名 | 更 | 變 | 金額<br>保證 | 住所<br>氏名 |
|   |   | 金何圓      | 何 某      |   |   | 金何圓      | 何 某      |
|   |   | 金何圓      | 何 某      |   |   | 金何圓      | 何 某      |

第二號

産三、四、八、九、二、一、四、五、六、七、二〇、二五、六五、六六、七九、八〇、八一、九六、九八、一〇三、一〇五、民四五、  
四七、非訟二四九、五〇、産手八、九、一〇、一一、一二、一六、一四、四三、四四、四八、不施三八、三九、商手六、七、一四、  
二五、四六、總稅六、非稅二

産業組合合併ニ因ル設立登記申請

一、登記ノ目的 産業組合合併ニ因ル設立登記

一、登記ノ事由 組合總會ノ決議(又ハ總組合員ノ同意)ニ因リ明治何年何月何日何都市町村何番地何組  
合ト何都市町村何番地何組合トヲ合併シ更ニ當組合ヲ設立シタルニ付キ左記各項ノ登記ヲ求ム

(イ)目的何組合員ノ生産シタル農産物ニ加工シ又ハ加工セシタル之ヲ販賣ス  
(購置組合其他ノ組合ニアリテモ各其定款ニ規定セル目的ヲ記載スヘシ)

(ロ)名稱 何責任何組合

(ハ)組織 何責任

(ニ)事務所 何縣何都市町村何番地

(ホ)出資一口ノ金額 金何圓

(ハ)出資拂込ノ方法 第一回拂込ノ後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付毎年何月何日  
金何圓宛ヲ拂込ムモノトス(本項ニハ定款所定ノ拂込方法ヲ記載スヘシ)

(ト)存立時期(又ハ解散) 設立許可ノ日ヨリ滿何ケ年(又ハ何々事由)

(チ)設立許可ノ年月日 明治何年何月何日

(リ)理事ノ住所氏名 何府縣何都市町村何番地族稱職業

(理事全員ノ住所氏名ヲ列記スヘシ)

(ス)監事ノ住所氏名 何府縣何都市町村何番地族稱職業

(監事全員ノ住所氏名ヲ列記スヘシ)

何 某  
何 某